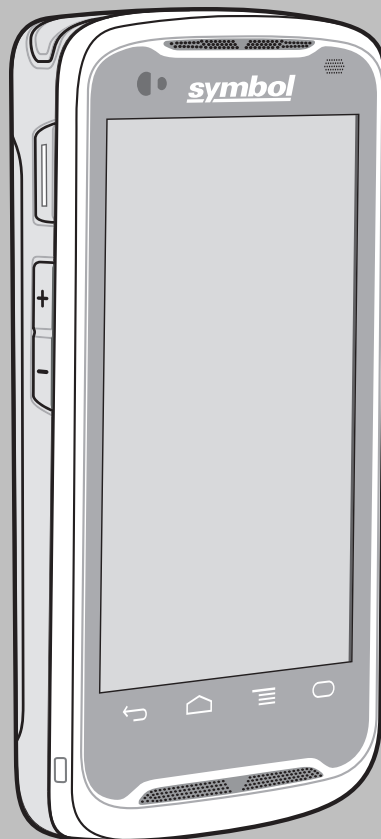


TC55 ユーザー ガイド



著作権

本マニュアルに記載されている製品には、著作権取得済みコンピュータ プログラムが含まれている場合があります。著作権で保護されたコンピュータ プログラムに対する特定の独占的権利が、米国およびその他諸国の法律で保護されています。従って、本マニュアルで説明される製品に含まれるいかなる著作権取得済みコンピュータ プログラムも、書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

© 2015 Symbol Technologies, Inc. All Rights Reserved

本マニュアルのいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

さらに、製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、著作権、特許または特許アプリケーションの対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的な、著作権使用料無料の使用ライセンスについては、この限りではありません。

免責条項:

本マニュアルで説明する特定の機能、設備、性能は、特定のシステムについては適用されない、あるいは特定のシステムで使用するためのライセンスが供与されない場合があります、また、特定のモバイル加入者ユニットや特定のパラメータの設定上の特性によって異なる場合があることに注意してください。詳細については、担当の連絡先にご確認ください。

商標

Zebra および Zebra ヘッド グラフィックは、ZIH Corp の登録商標です。Symbol ロゴは、Zebra Technologies の一部門である Symbol Technologies, Inc. の登録商標です。

改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
A01 改訂版 A	2013 年 10 月 1 日	初期リリース
A01 改訂版 B	2013 年 12 月 12 日	ドック設定と、2G ネットワークへのデータ接続の制限を更新
A02 改訂版 A	2014 年 2 月 17 日	Google モバイル サービスのサポートを追加
A03 改訂版 A	2014 年 4 月 7 日	TC55CH および LTE Data 構成のサポートを追加
A04 改訂版 A	2014 年 8 月 5 日	TC55CH および 3G 音声およびデータ構成のサポートを追加
A04 改訂版 B	2015 年 2 月 10 日	Zebra への商標変更
A05 改訂版 A	2015 年 3 月 30 日	2D イメージおよび Kit Kat のサポートを追加

目次

著作権.....	3
改訂版履歴.....	5
このガイドについて.....	13
マニュアル セット.....	13
構成.....	13
章の説明.....	15
表記規則.....	15
アイコンの表記規則.....	15
関連文書.....	16
サービスに関する情報.....	16
 第 1 章: ご使用の前に.....	19
TC55 の機能.....	19
パッケージの開梱.....	22
設定.....	22
SIM カードの取り付け.....	22
オプションの microSD カードの取り付け.....	25
バッテリーの取り付け.....	27
バッテリーの充電.....	29
メイン バッテリーの充電.....	29
充電 LED のステータス.....	30
充電温度.....	30
TC55 の電源オン.....	31
2,940mAh バッテリーの交換.....	31
4,410mAh バッテリーの交換.....	33
microSD カードの交換.....	35
バッテリー管理.....	37
バッテリー使用量の監視.....	37
低バッテリー通知.....	38
バッテリーの最適な使用方法.....	39
無線通信をオフにする方法.....	39
日時の設定.....	40
ディスプレイの設定.....	40
画面の輝度の設定.....	40
画面回転の設定.....	41
画面のタイムアウトの設定.....	41
フォント サイズの設定.....	42
タッチ キー ライトの設定.....	42
タッチ モード.....	43
一般的なサウンド設定.....	43
LED 通知の設定.....	45
 第 2 章: TC55 の使用.....	47
Google モバイル サービス.....	47
ホーム画面.....	47
ステータス バー.....	49

ステータス アイコン.....	49
通知アイコン.....	51
通知の管理.....	52
アプリケーション ショートカットとウィジェット.....	53
アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面に追加する.....	53
ホーム画面での項目の移動.....	53
アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面から削除する.....	53
フォルダ.....	54
フォルダの作成.....	54
フォルダの名前付け.....	54
フォルダの削除.....	54
ホーム画面の壁紙の変更.....	55
タッチスクリーンの使用方法.....	55
画面キーボードの使用方法.....	56
アプリケーション.....	56
アプリケーションへのアクセス.....	60
現在使用されているアプリケーションの切り替え.....	61
画面のロック解除.....	62
[Single User] (単一ユーザー) モード.....	62
MultiUser モード.....	64
MultiUser ログイン.....	64
MultiUser ログアウト.....	65
デバイスのリセット.....	65
ソフト リセットの実行.....	65
ハード リセットの実行.....	65
サスペンド モード.....	66

第 3 章: 通話..... 69

ダイヤラを使用して電話をかける.....	70
ダイヤラのダイヤル オプション.....	71
連絡先を使用して電話をかける.....	72
通話履歴を使用して電話をかける.....	72
会議通話セッションの確立.....	73
Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかける.....	75
通話への応答.....	76
Bluetooth ヘッドセットを使用して電話に応答する.....	77
通話設定.....	77

第 4 章: アプリケーション..... 81

ファイル ブラウザ.....	81
Messaging (メッセージング).....	82
テキスト メッセージの送信.....	82
マルチメディア メッセージの送信.....	83
連絡先.....	84
連絡先の追加.....	85
連絡先の編集.....	85
連絡先の削除.....	85
ボイス ダイヤラ.....	85
名前を指定した音声通話の発信.....	86
過去の通話のリダイヤル.....	86
数字によるダイヤル.....	86

アプリケーションを開く	87
カメラ (JellyBean).....	87
写真の撮影.....	87
パノラマ写真の撮影.....	88
ビデオの録画.....	89
カメラの設定.....	90
ビデオの設定.....	91
カメラ (KitKat).....	92
写真の撮影.....	93
パノラマ写真の撮影.....	95
ビデオの録画.....	96
TC55 写真設定.....	98
TC55 ビデオ設定.....	99
ギャラリー	100
アルバムの処理.....	101
アルバムの共有.....	102
アルバム情報の取得.....	102
アルバムの削除.....	102
写真の処理.....	102
写真の表示およびブラウズ.....	103
写真の回転.....	103
写真のトリミング.....	103
連絡先アイコンとしての写真の設定.....	104
写真情報の取得.....	105
写真の共有.....	105
写真の削除.....	105
ビデオの処理.....	105
ビデオの再生.....	106
ビデオの共有.....	106
ビデオの削除.....	107
Movie Studio.....	107
DataWedge デモンストレーション.....	108
サウンド レコーダ.....	109
Elemesz.....	110
Elemesz データ収集の無効化.....	110
Elemesz データ収集の有効化.....	111
MLog Manager.....	111
SimulScan デモ.....	111
サンプル フォームのエクスポート.....	112
郵便、運輸、物流サンプル.....	112
製造サンプル.....	114
設定.....	116
詳細設定.....	116
デモのカスタマイズ.....	117
デフォルトのテンプレート.....	118
第 5 章: データ収集.....	121
リニア イメージャ.....	121
イメージング.....	121
デジタル カメラ.....	122
CS3070 Bluetooth スキャナ.....	122
RS507 ハンズフリー イメージャ.....	123

スキャン操作に関する考慮事項.....	123
スキャンモード.....	124
リニア イメージャによるバーコードの読み取り.....	124
2D イメージャを使用したバーコードデータの収集.....	125
内蔵カメラを使用したバーコードデータの収集.....	126
CS3070 Bluetooth スキャナを使用したバーコードデータの収集.....	127
RS507 ハンズフリー イメージャによるバーコードの読み取り.....	128
での DataWedge.....	130
DataWedge の有効化.....	130
DataWedge の無効化.....	130

第 6 章: 無線..... 131

無線ワイドエリア ネットワーク.....	131
モバイル データ接続の共有.....	131
USB テザリング.....	132
Bluetooth のテザリング.....	132
ポータブル Wi-Fi ホットスポット.....	132
データ使用量.....	134
ローミング中のデータの無効化.....	135
2G ネットワークへのデータ接続の制限.....	135
SIM カードのロック.....	136
Verizon ネットワーク モード.....	136
Verizon システム選択.....	137
アクセス ポイント名の編集.....	137
無線ローカル エリア ネットワーク.....	138
Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続.....	138
Wi-Fi ネットワークの設定.....	140
手動での Wi-Fi ネットワークの追加.....	141
プロキシ サーバーの設定.....	142
静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定.....	143
Wi-Fi の詳細設定.....	143
WLAN の設定.....	146
Wi-Fi ネットワークの変更.....	146
WPS を使用した Wi-Fi ネットワークへの接続.....	146
Wi-Fi ネットワークの削除.....	147
Bluetooth.....	147
適応型周波数ホッピング.....	147
[Security].....	148
Bluetooth プロファイル.....	148
Bluetooth の電源の状態.....	149
Bluetooth 無線の電源 – Android.....	149
Bluetooth の有効化.....	149
Bluetooth の無効化.....	149
Bluetooth デバイスを検出する.....	150
Bluetooth の名前の変更.....	151
Bluetooth デバイスへの接続.....	151
Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択.....	151
Bluetooth デバイスのペアリング解除.....	152
CS3070 とのペアリング.....	152
PIN 入力のための CS3070 数値バーコード.....	153
SSI を使用した RS507 ハンズフリー イメージャのペアリング.....	154
RS507 ハンズフリー イメージャのペアリング.....	154

Near Field Communications (NFC).....	155
NFC を使用した情報の共有.....	155
NFC を使用した通信.....	156
NFC 対応 Bluetooth デバイスとのペアリング.....	157
エンタープライズ NFC の設定.....	158
第 7 章: アクセサリ.....	163
TC55 のアクセサリ.....	163
マイクロ USB ケーブル.....	164
高耐久性充電ケーブル.....	165
5 スロット充電専用クレードル.....	167
車載用充電クレードル.....	169
車載用クレードルのフロントガラスへの取り付け.....	169
車載用クレードルからのデバイスの取り外し.....	173
ドック設定.....	174
保護ブーツの取り付け.....	176
保護ブーツへのスタイラスの取り付け.....	177
ホルスター.....	179
第 8 章: メンテナンスとトラブルシューティング.....	183
TC55 の保守.....	183
バッテリーの安全に関するガイドライン.....	183
クリーニング方法.....	184
TC55 のクリーニング.....	185
コネクタのクリーニング.....	185
クレードルのコネクタのクリーニング.....	186
トラブルシューティング.....	186
TC55 のトラブルシューティング.....	186
第 9 章: 技術仕様.....	191
TC55 技術仕様.....	191

このガイドについて

このガイドでは、TC55 とアクセサリの使用方法について説明します。



注: このガイドで示している画面とウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際の画面と異なることがあります。

マニュアルセット

TC55 のマニュアルセットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供しており、次のマニュアルで構成されています。

- 『TC55 Quick Start Guide』 (英語) - デバイスの主な機能の使用方法について説明しています。
- 『TC55 User Guide』 (英語) - デバイスの使用方法について説明しています。
- 『TC55 Integrator Guide』 (英語) - デバイスとアクセサリの設定方法について説明しています。

構成


このガイドは、以下のモデルを対象としています。

構成	無線	ディスプレイ	メモリ	データ収集オプション	オペレーティングシステム
TC55AH プロフェッショナル構成	WLAN: 802.11a/b/g/n (4.1.2) または 802.11 a/b/g/n/d/h/i/k/d/r (4.4.3) WPAN: Bluetooth v4.0 (4.4.3 でのみ Low Energy をサ ポート) および NFC WWAN: LTE	4.3” カラー WVGA	1GB RAM/8GB フラッシュ	リニア イメージ ャとカメラ 2D イメージャとカ メラまたはカメ ラのみ	Android ベース の Android オー プン ソース プ ロジェクト 4.1.2 または 4.4.3
TC55AH 標準構成	WLAN: 802.11a/b/g/n WPAN: Bluetooth v4.0 と NFC WWAN: LTE	4.3” カラー WVGA	1GB RAM/8GB フラッシュ	リニア イメージ ャとカメラ また はカメラのみ	Android ベース の Android オー プン ソース プ ロジェクト 4.1.2、Google モ バイル サービス (GMS) が使用可 能

次ページに続く ...

構成	無線	ディスプレイ	メモリ	データ収集オプション	オペレーティングシステム
TC55BH プロフェッショナル構成	WLAN: 802.11a/b/g/n (4.1.2) または 802.11 a/b/g/n/d/h/i/k/d/r (4.4.3) WPAN: Bluetooth v4.0 (4.4.3 でのみ Low Energy をサ ポート) および NFC WWAN: HSPA+	4.3” カラー WVGA	1GB RAM/8GB フラッシュ	リニア イメージ ャとカメラ 2D イメージャとカ メラまたはカメ ラのみ	Android ベース の Android オープ ン ソース プロ ジェクト 4.1.2 または 4.4.3
TC55BH 標準構成	WLAN: 802.11a/b/g/n WPAN: Bluetooth v4.0 と NFC WWAN: HSPA+	4.3” カラー WVGA	1GB RAM/8GB フラッシュ	リニア イメージ ャとカメラ また はカメラのみ	Android ベース、 Android オープ ン ソース プロ ジェクト 4.1.2、 GMS が使用可 能
LTE Data 対応 TC55CH プロフェッショナル構成	WLAN: 802.11a/b/g/n WPAN: Bluetooth v4.0 と NFC WWAN: CDMA/ EvDO、LTE	4.3” カラー WVGA	1GB RAM/8GB フラッシュ	リニア イメージ ャとカメラ また はカメラのみ	Android ベース、 Android オープ ン ソース プロ ジェクト 4.1.2
3G 音声および データ対応 TC55CH プロフェッショナル構成	WLAN: 802.11a/b/g/n WPAN: Bluetooth v4.0 と NFC WWAN: CDMA/ EvDO	4.3” カラー WVGA	1GB RAM/8GB フラッシュ	リニア イメージ ャとカメラ また はカメラのみ	Android ベース、 Android オープ ン ソース プロ ジェクト 4.1.2

ソフトウェア バージョン

現在のソフトウェア バージョンを確認するには、 >  または  >  [About phone] (デバイス情報) をタッチします。

- **[Serial number] (シリアル番号)** – シリアル番号を表示します。
- **[Model number] (モデル番号)** – モデル番号を表示します。
- **[Android version] (Android バージョン)** – オペレーティング システムのバージョンを表示します。
- **[Kernel version] (カーネル バージョン)** – カーネルのバージョン番号を表示します。
- **[Build number] (ビルド番号)** – ソフトウェアのビルド番号を表示します。

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- [ご使用の前に \(ページ19\)](#) では、TC55 を初めて使用する際の手順について説明します。
- [TC55 の使用 \(ページ47\)](#) では、TC55 の操作手順について説明します。
- [通話 \(ページ69\)](#) では、音声通話の手順について説明します。
- [アプリケーション \(ページ81\)](#) では、TC55 にインストールされているアプリケーションの使用方法について説明します。
- [データ収集 \(ページ121\)](#) では、リニア イメージャまたはカメラを使用したバーコードデータの読み取りについて説明します。
- [無線 \(ページ131\)](#) ささまざまな無線オプションについて説明します。
- [アクセサリ \(ページ163\)](#) では、TC55 用のアクセサリの使用方法について説明します。
- [メンテナンスとトラブルシューティング \(ページ183\)](#) では、クリーニングの手順と、TC55 の操作中に発生する問題に対するトラブルシューティング ソリューションについて説明します。
- [技術仕様 \(ページ191\)](#) では、TC55 の技術仕様について説明します。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- **斜体**は、次の項目の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - 画面上のアイコン
- **太字**は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (・) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要があるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要がある手順 (たとえば、順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

アイコンの表記規則

このマニュアルセットでは、読者にわかりやすいように、視覚的な工夫がなされています。マニュアルセット全体で、次のグラフィック アイコンが使用されています。使用されているアイコンと各アイコンの意味について、以下で説明します。



警告:「警告」という言葉とそれに対応する安全アイコンは、従わなかった場合、死亡または重大な傷害を負う可能性、あるいは重大な製品の損傷が発生する可能性のある情報を意味します。



注意:「注意」という言葉とそれに対応する安全アイコンは、従わなかった場合、軽度または中程度の傷害を負う可能性、あるいは重大な製品の損傷が発生する可能性のある情報を意味します。



注:「注」には、例外や前提条件など、周囲のテキストより重要な情報が記載されています。また、「注」では、追加情報の参照先、操作の完了方法の確認 (たとえば、現在説明している手順に記載されていない場合)、または特定の要素が画面に表示される場所を説明します。「注」に対応する警告レベルはありません。

関連文書

本書では、次の表記規則を使用しています。

- 『TC55 Quick Start Guide』 (英語)、p/n MN000014Axx
- 『TC55 Regulatory Guide』 (英語)、p/n MN000016Axx
- 『TC55 Integrator Guide』 (英語)、p/n MN000017Axx
- 『CS3000 Series Scanner Product Reference Guide』 (英語)、p/n 72E-136088-xx
- 『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』 (英語)、p/n 72E-120802-xx
- 『MSP Client Software Guide』 (英語)、p/n 72E-128805-xx
- 『MSP Release Notes』 (英語)、p/n 72E-100160-xx.

本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、<http://www.zebra.com/support> から入手可能です。

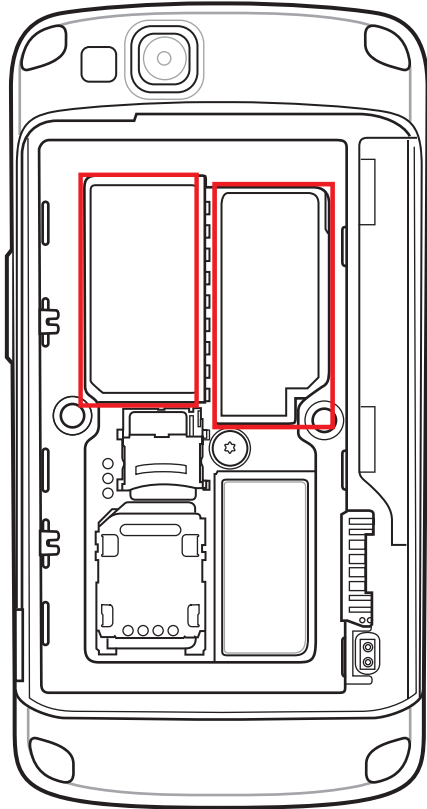
サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、地域担当の Global Customer Support Center (グローバル カスタマー サポート センター) にお問い合わせください。 お問い合わせ先は、<http://www.zebra.com/support> に記載されています。

Global Customer Support Center (グローバル カスタマー サポート センター) へのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号 (製造ラベルに記載)
- モデル番号または製品名 (製造ラベルに記載)
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

図 1: 製造ラベルの場所



当社は、お客様のお問い合わせに対して、サポート合意書に指定された期限までに、電子メール、または電話にて回答を行います。

Global Customer Support Center (グローバル カスタマー サポート センター) が問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。弊社は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切な形で搬送すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用の製品をビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第1章

ご使用の前に

この章では、TC55 の特徴と、最初に使用する場合のセットアップ方法を説明します。

TC55 の機能

図 2: 正面図

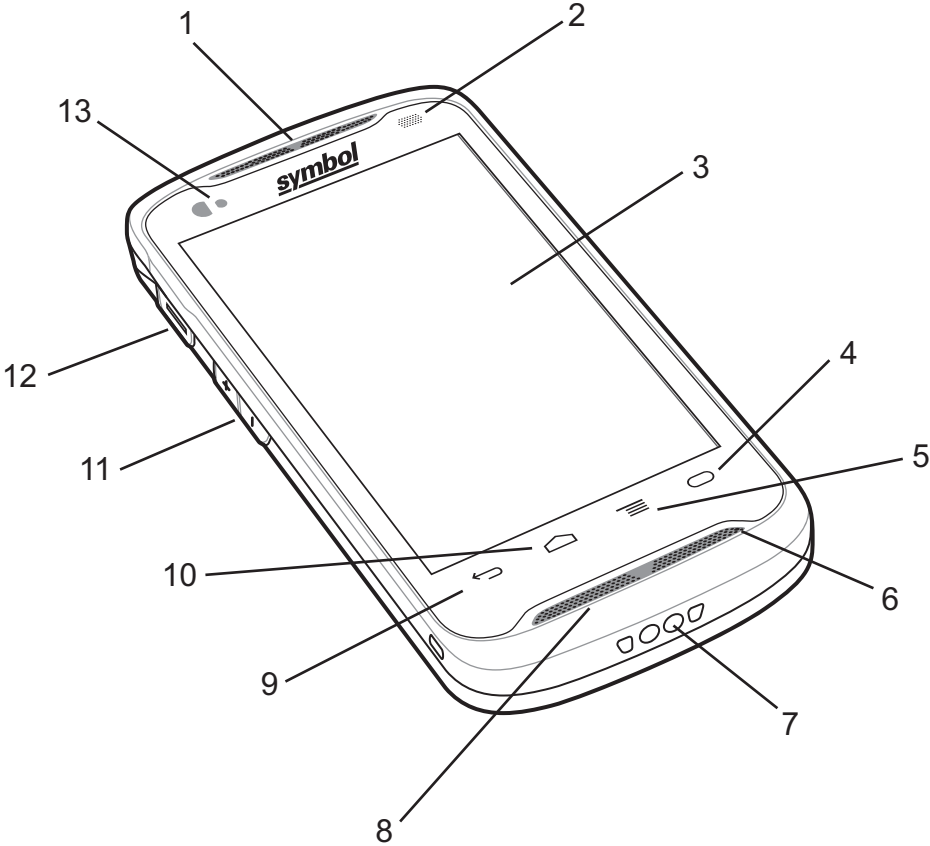


表 1: 正面図の機能

番号	項目	機能
1	レシーバ	ハンドセット モードで音声を出します。

次ページに続く ...





番号	項目	機能
2	LED	<p>読み取り機能を示します。スキャンの実行中は赤色に点灯します。読み取りが正常に完了したら、緑色に点灯します。</p> <p>充電中はバッテリーの充電状態を示します。充電LEDのステータス (ページ30)を参照してください。</p> <p>通知を示します。通知を受信した場合は青色に点灯します。LED通知の設定 (ページ45)を参照してください。</p>
3	タッチ スクリーン	TC55 の操作に必要なすべての情報が表示されます。
4		プログラム可能ボタン - プログラム可能キーの設定を使用して設定できます。たとえば、デフォルトの設定では、電卓アプリケーションが開きます。
5		メニュー ボタン - 現在の画面またはアプリケーションに影響を与える項目からなるメニューを開きます。GMS が搭載された TC55 では、タッチしてその状態を維持すると、最近使用したアプリケーションが表示されます。
6	プライマリ マイク	ハンドセット モードでの通話に使用します。
7	充電用端子	クレードルとケーブルからの電力をデバイスに供給します。
8	スピーカ	ビデオおよび音楽を再生するためのオーディオ出力を提供します。スピーカ モードで音声を出力します。
9		[Back] (戻る) ボタン - 前の画面が表示されます。画面キーボードが開いている場合は、キーボードを閉じます。
10		[Home] (ホーム) ボタン - シングル タッチでホーム画面が表示されます。タッチしてその状態を維持 (長押し) すると、検索アプリケーションが開きます。
11	[Volume Up] (音量上げ)/[Volume Down] (音量下げ) ボタン	音声のボリュームを上げ下げします。
12	プログラム可能ボタン	スキャンアプリケーションが有効な場合のスキャンを示します (デフォルト)。[Button Remap] (ボタン リマップ) 設定を使用してプログラム可能です。詳細については、『 <i>TC55 Integrator Guide</i> 』 (英語) を参照してください。
13	光センサー/近接センサー	周辺光を判断してディスプレイのバックライトの輝度を制御し、ハンドセット モードのときにはディスプレイをオフにします。

図 3: 背面図

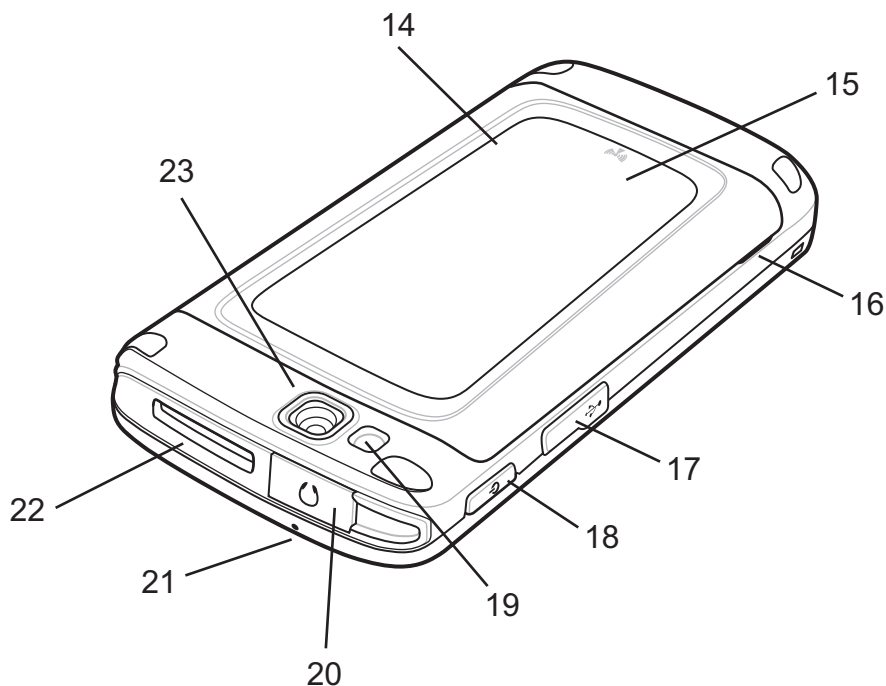


表 2: 背面図の機能

番号	項目	機能
14	バッテリー カバー	バッテリー、SIM、および microSD カードホルダにアクセスできます。
15	NFC アンテナ	他の NFC デバイスや NFC カードとの NFC 通信を実行します。
16	バッテリー カバーの切れ込み	バッテリー カバーが取り外しやすくなります。
17	USB ポート	USB クライアントとホストの間で通信を実行します。
18	電源ボタン	<p>ボタンを押して、その状態を維持すると、TC55 の電源がオンになります。ボタンを押すと、画面がオンまたはオフになります。ボタンを押して、その状態を維持し、次のオプションから 1 つを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Power off] (電源オフ) - TC55 の電源をオフにします。 • [Reset] (リセット) - ソフトウェアが応答を停止した場合に、TC55 を再起動します。 • [Airplane mode] (機内モード) - すべての無線接続が無効になります。
19	フラッシュ[ふらっしゅ]	カメラの照明に使用します。

次ページに続く ...

番号	項目	機能
20	ヘッドセット ジャック	ヘッドセット (3.5mm プラグ) に接続します。 注: 2.5mm ~ 3.5mm のアダプタを 使用しないでください 。ストレートプラグのヘッドセットのみを使用してください。
21	セカンダリ マイク	音声録音や、スピーカ モードでの通信に使用します。
22	スキャナ ウィンドウ	リニア イメージャ (オプション) を使用して、データの読み取りを行います。
23	カメラ	写真やビデオの撮影、バーコード データの収集を行います。

パッケージの開梱

TC55 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

次の同梱品がパッケージに入っていることを確認します。

- TC55
- リチウム イオン バッテリ (2,940mAh または 4,410mAh)
- 充電ケーブル
- クイック スタート ガイド
- 規制ガイド



注: 電源、p/n PWRS-124306-01R は必須であり、別途購入する必要があります。

破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、直ちに Zebra サポート センターにお問い合わせください。連絡先については、[サービスに関する情報 \(ページ 16\)](#)を参照してください。

設定

TC55 を初めて使用する際には、次のことを行います。

- SIM カードを取り付けます。
- microSD カードを取り付けます (オプション)。
- バッテリを取り付けます。
- TC55 を充電します。
- TC55 の電源をオンにします。
- Google アカウントをセットアップします。

SIM カードの取り付け



注意:

SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することやユーザーを適切に接地することなどが含まれます。

**注:**

TC55 にはフルサイズの SIM カードを挿入できます。マイクロまたはナノの SIM カードを使用する場合、サードパーティ製の SIM アダプタが必要です。

LTE Data デバイスが搭載された TC55AH、TC55BH、および TC55CH には、アクティブ化済みの SIM カードが必要です。このカードはサービス プロバイダから入手してください。3G 音声およびデータ デバイスが搭載された TC55CH には、SIM カードは必要ありません。

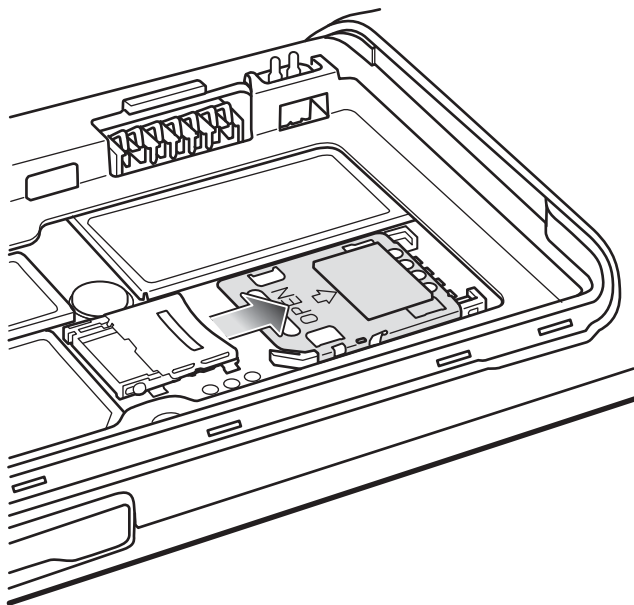
LTE Data デバイスが搭載された TC55CH で、これが新しいアカウントである場合は、アカウントが LTE データ用に設定されていること確認してください。Verizon から SIM カードを入手してください。既存の LTE アカウントをこのデバイスに移動する場合は、現在アクティブな SIM カードをインストールするだけです。追加のアクティブ化は必要ありません。これが新しいアカウントである場合は、デバイスの IMEI 番号 (バッテリーの下にラベルに記載されています) と SIM カード番号をサービス プロバイダに連絡します。サービス プロバイダによってアカウントがアクティブ化されたら、SIM カードを取り付けます。アクティブ化を行うには、TC55CH の LTE 通信状態が良好になっている必要があります。画面の指示に従います。

3G 音声およびデータ デバイスが搭載された TC55CH で、これが新しいアカウントである場合は、デバイスの IMEI 番号 (バッテリーの下にラベルに記載されています) をサービス プロバイダに連絡します。サービス プロバイダによってアカウントがアクティブ化されたら、画面の指示に従ってアクティブ化します。

手順

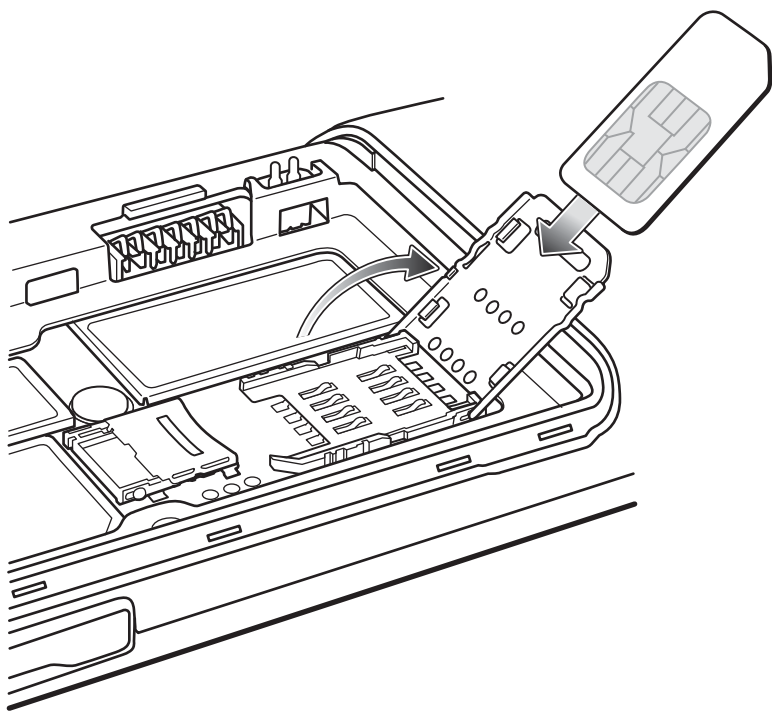
- 1 SIM カードホルダーを TC55 の底面に向かってスライドさせ、ロックを解除します。

図 4: SIM カードホルダーのロック解除



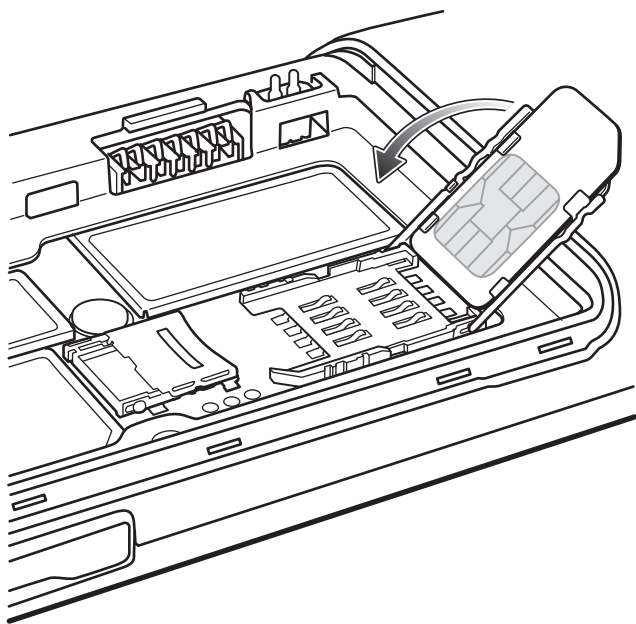
- 2 SIM ドアを持ち上げます。
- 3 SIM カードを挿入します。このとき、接触面と切れ込みを上方向に向けてください。

図 5: SIM カードの取り付け



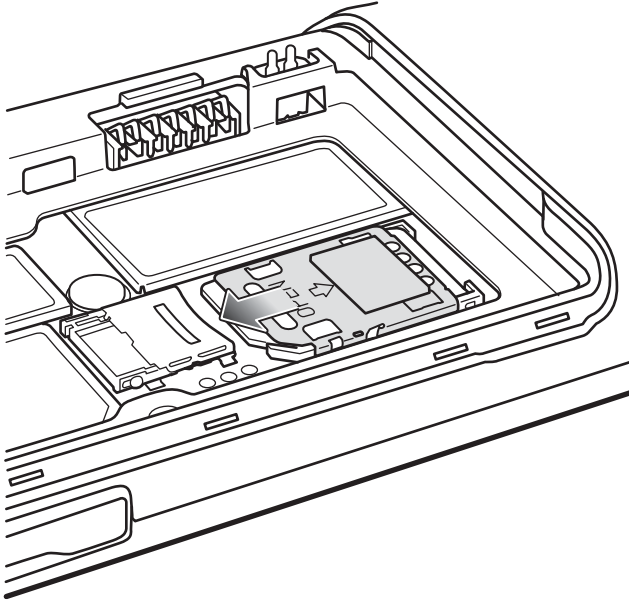
- 4 SIM カードホルダーを閉じます。

図 6: SIM カードホルダーを閉じる



- 5 SIM カードホルダーを TC55 の上方向に向かってスライドさせ、ロックします。

図 7: SIM カードホルダーのロック



オプションの microSD カードの取り付け



注意:

SD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することやユーザーを適切に接地することなどが含まれます。

microSD カードを変えると、TC55 の機能が変わる可能性があります。

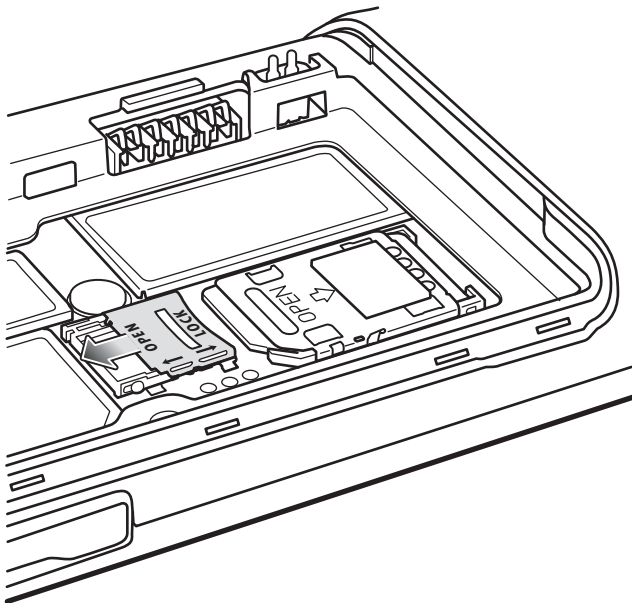


注: TC55 は、最大 32GB の microSD カードをサポートします。

手順

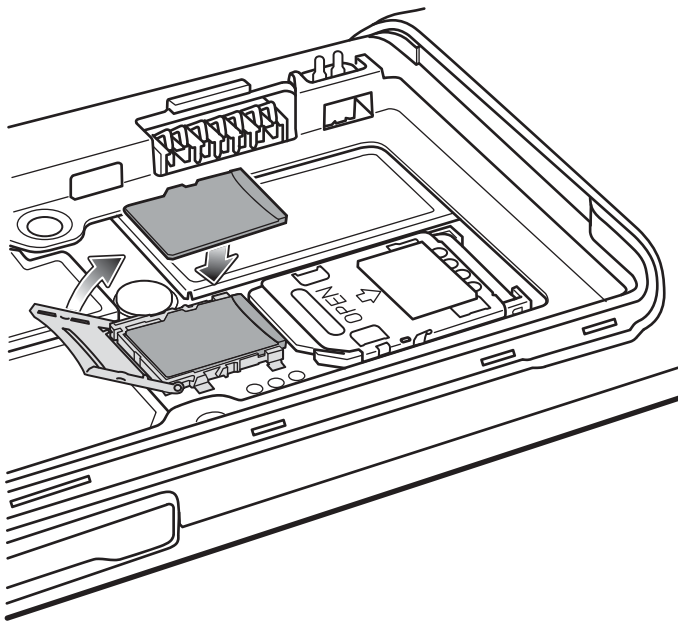
- 1 microSD カード ドアを TC55 の上方向にスライドさせ、ロックを解除します。

図 8: microSD カード ドアのロック解除



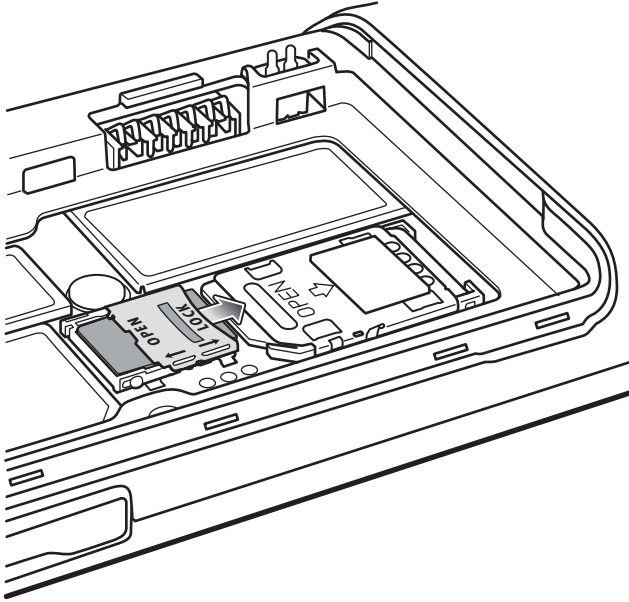
- 2 SD カード ドアを持ち上げます。
- 3 microSD カードをカードホルダーに合わせます。カードの端子が下向きで、カードホルダーの方を向いていることを確認します。
- 4 microSD カードをカードホルダーに挿入します。

図 9: microSD カードの挿入



- 5 SD カード ドアを閉じます。
- 6 SD カード ドアを TC55 の底面に向かってスライドさせ、ロックします。

図 10: SD カード ドアのロック



バッテリーの取り付け

TC55 では、2,940mAh バッテリーと 4,410mAh バッテリーの 2 つのサイズのバッテリーが利用できます。

手順

- 1 バッテリーの下部にある 3 つのツメを、バッテリー コンパートメントの 3 つのスロットに合わせます。
- 2 バッテリーを押し下げ、ロックされるまで回転させます。

図 11: 2,940mAh バッテリーの挿入

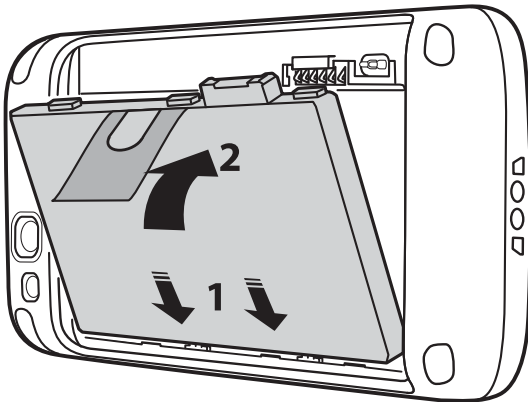
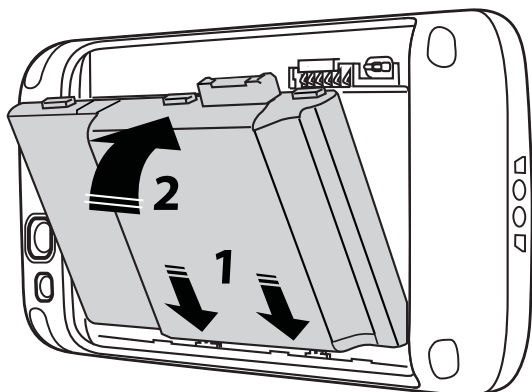
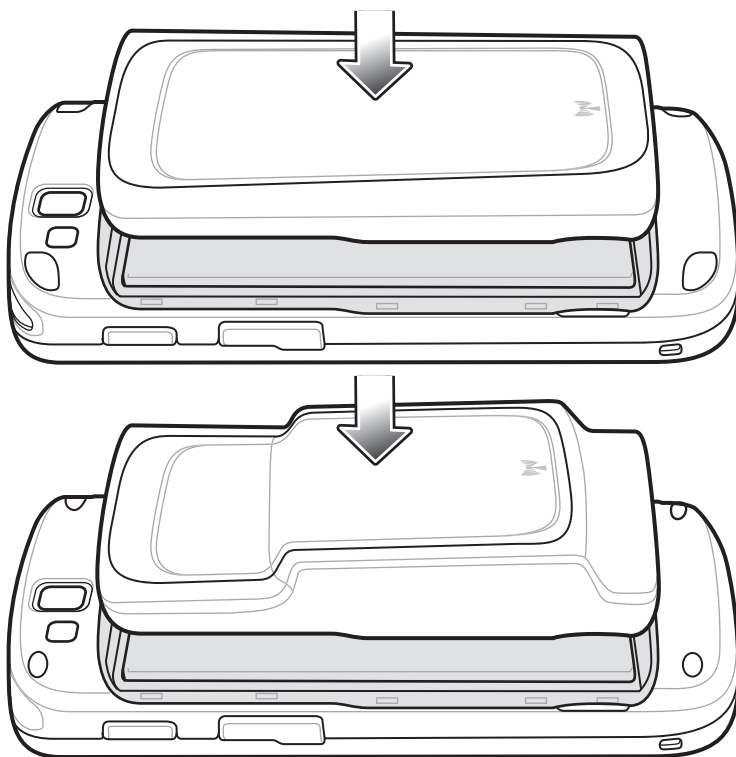


図 12: 4,410mAh バッテリーの挿入



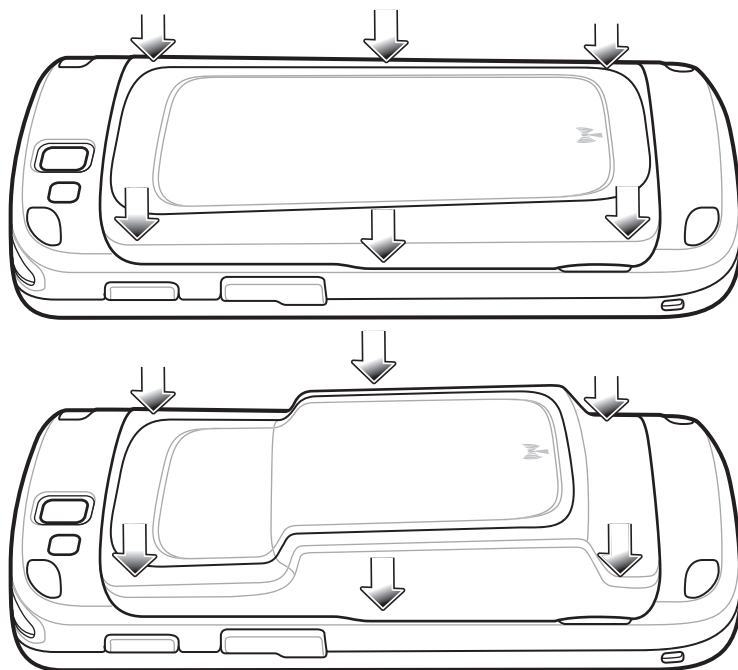
3 バッテリー カバーをデバイスの背面に合わせ、カチッとハマるまで押し下げます。

図 13: バッテリー カバーの取り付け



4 カバーの縁の周囲を押して、バッテリー カバーが正しく取り付けられていることを確認します。

図 14: カバーの固定



バッテリーの充電



注意: バッテリーの安全については、[バッテリーの安全に関するガイドライン\(ページ183\)](#)で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

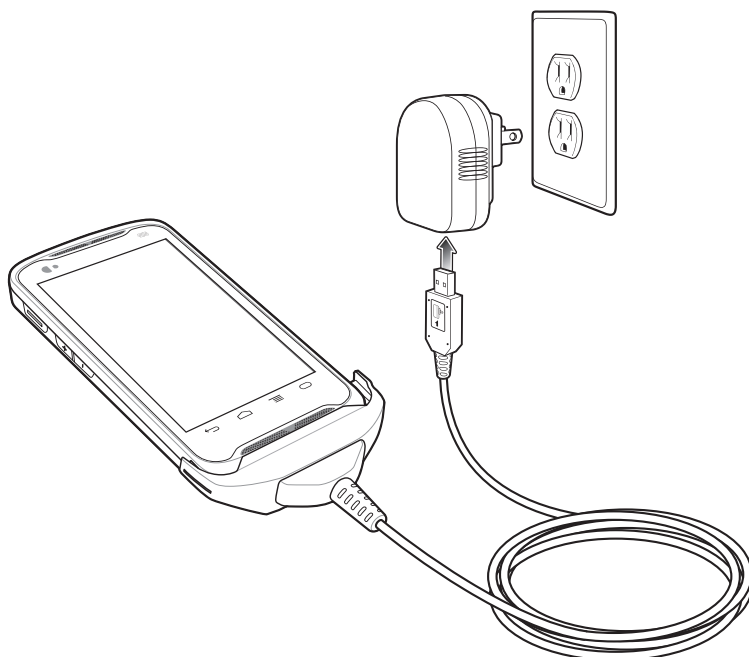
メイン バッテリーの充電

TC55 を初めてご使用になる前に、メイン バッテリーを充電してください。充電が完了すると、LED 発光ダイオードが緑色で点灯します (充電ステータスの表示については、[充電LED のステータス\(ページ30\)](#)を参照)。TC55 を充電するには、高耐久性充電ケーブルと、オプションの電源を使用します。



注: 高耐久性充電ケーブルは、オプションの電源のみに接続します。充電の目的で、高耐久性充電ケーブルをホスト コンピュータに接続しないでください。

図 15: 高耐久性充電ケーブルの接続



TC55 の充電が開始されます。充電中は LED が緑色で点滅し、充電が完了した段階で、緑色で点灯します。2,940mAh バッテリーの充電には約 3 時間かかり、4,410mAh バッテリーの充電には約 4.5 時間かかります。

充電 LED のステータス

表 3: 充電 LED のステータス

ステータス	意味
オフ	TC55 がクレードルに正しく挿入されていません。 TC55 が電源に接続されていません。 ケーブルまたはクレードルに電源が供給されていません。
緑色でゆっくり点滅 (2 秒に 1 回点滅)	TC55 が充電中です。
緑色の点灯	充電が完了しました。
赤色でゆっくり点滅 (2 秒に 1 回点滅)	バッテリーは非常に電力が不足している状態です (通常の低速充電モード)。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーです。 <ul style="list-style-type: none"> 温度が低すぎる、または高すぎる。 充電完了までの時間が長すぎる (通常は、8 時間以上)。

充電温度

バッテリー充電時の温度は、0°C ~ - 40°C (32°F ~ 104°F) です。充電は、TC55 によって精密に制御されています。温度制御を行うため、TC55 やアクセサリは、バッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、TC55 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。

TC55 の電源オン



注: バッテリー カバーが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けられていないと、TC55 の電源がオンになりません。

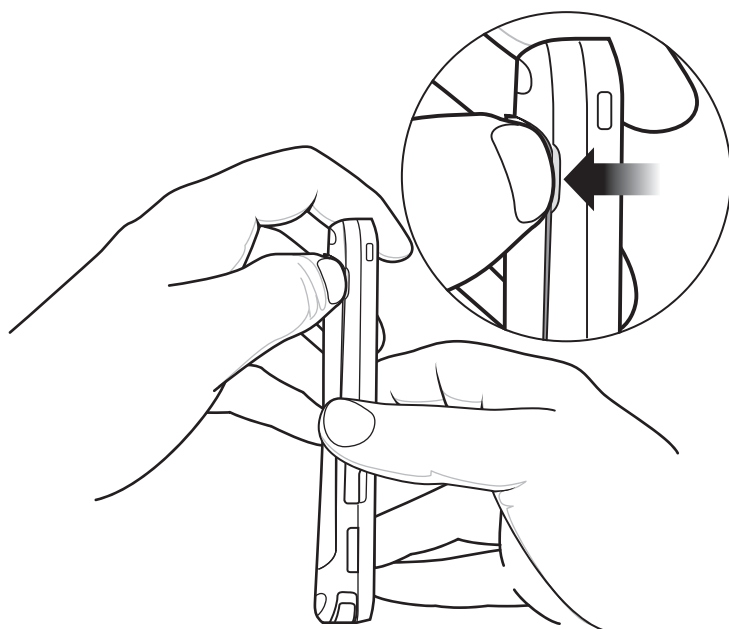
バッテリーが取り付けられていて TC55 の電源がオンになっていない場合は、電源ボタンを押します。LED が緑色で点滅し、デバイスが振動します。TC55 のブート時に、起動画面が約 1 分間にわたって表示されます。

2,940mAh バッテリーの交換

手順

- 1 メニューが表示されるまで電源ボタンを押します。
- 2 **[Power off] (電源オフ)** をタッチします。
- 3 **[OK]** をタッチします。
- 4 切れ込みに親指の爪をかけ、バッテリー カバーを持ち上げます。

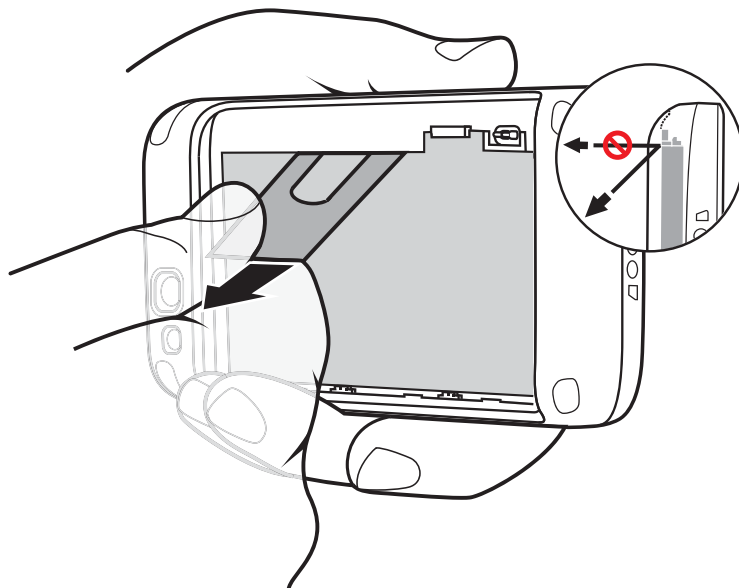
図 16: バッテリー カバーの取り外し



注: バッテリー タブをまっすぐ引き出さないでください。45°の角度で引きます。

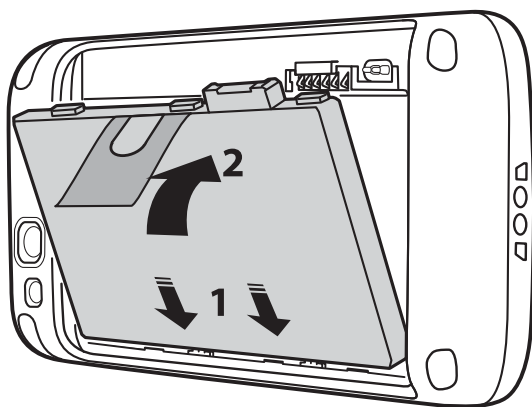
バッテリー タブを 45°の角度で引き下げます。

図 17: 2,940mAh バッテリーの取り外し



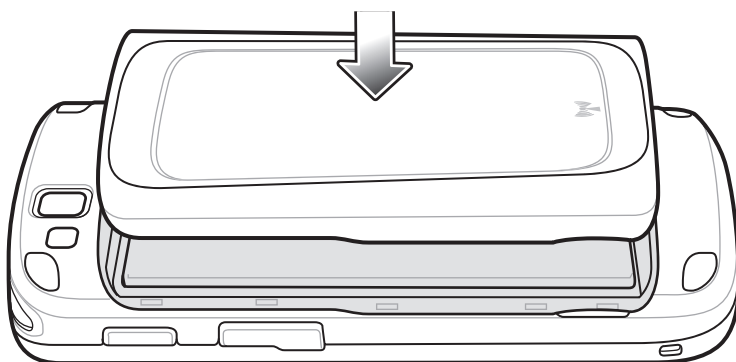
- 6 バッテリーをバッテリー コンパートメントから取り外します。
- 7 交換用バッテリーの下部にある3つのツメを、バッテリー コンパートメントの3つのスロットに合わせます。
- 8 バッテリーを押し下げ、ロックされるまで回転させるようにして動かします。

図 18: 2,940mAh バッテリーの挿入



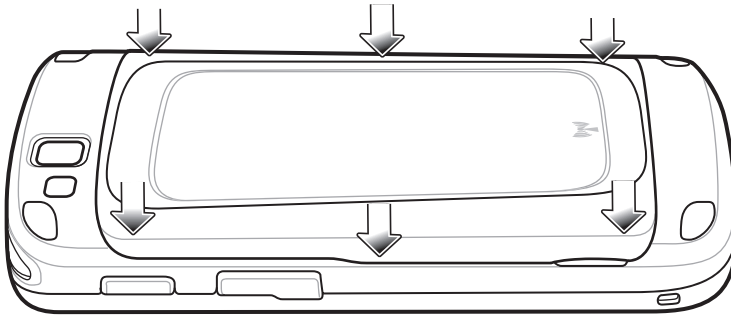
- 9 バッテリー カバーをデバイスの背面に合わせます。

図 19: バッテリー カバーを合わせる



- 10 カバーの縁の周囲を押して、バッテリー カバーが正しく取り付けられていることを確認します。

図 20: バッテリー カバーの固定



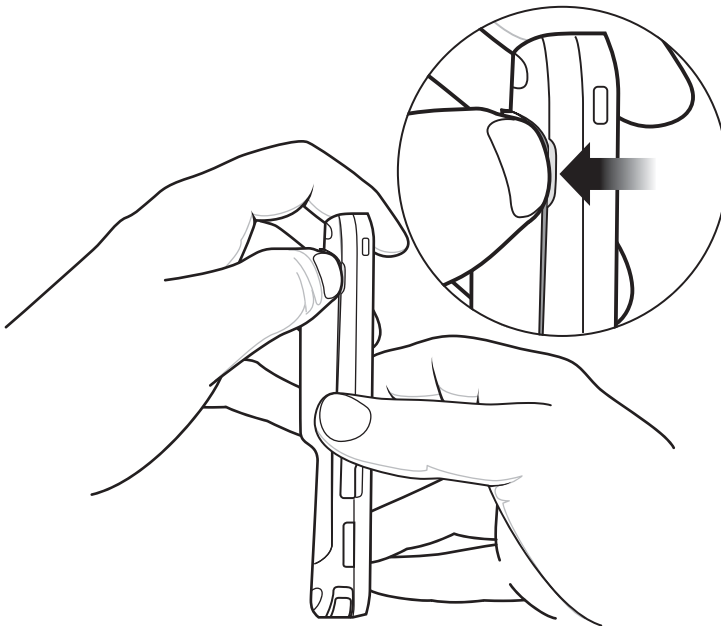
- 11 電源ボタンを押して、TC55 の電源をオンにします。

4,410mAh バッテリーの交換

手順

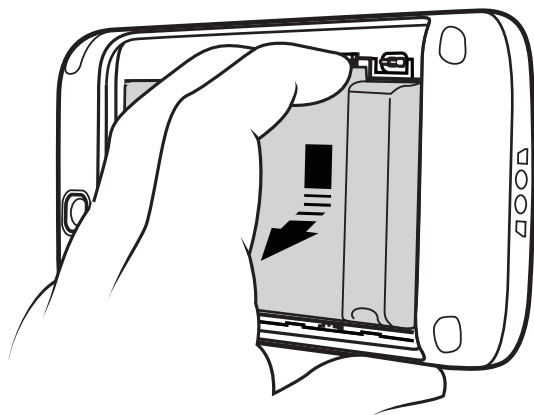
- 1 メニューが表示されるまで電源ボタンを押します。
- 2 **[Power off] (電源オフ)** をタッチします。
- 3 **[OK]** をタッチします。
- 4 切れ込みに親指の爪をかけ、バッテリー カバーを持ち上げます。

図 21: バッテリー カバーの取り外し



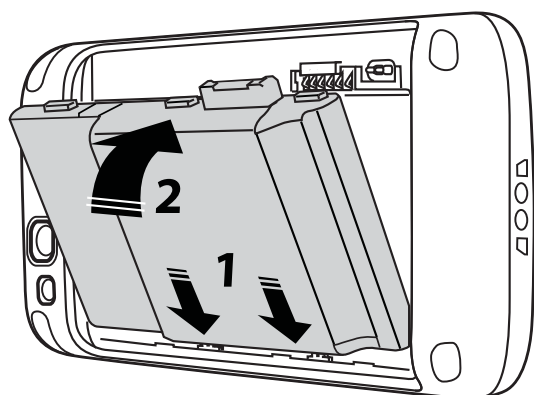
- 5 指を 2 本かけて、バッテリーを下方方向に押します。

図 22: 4,410mAh バッテリーの取り外し



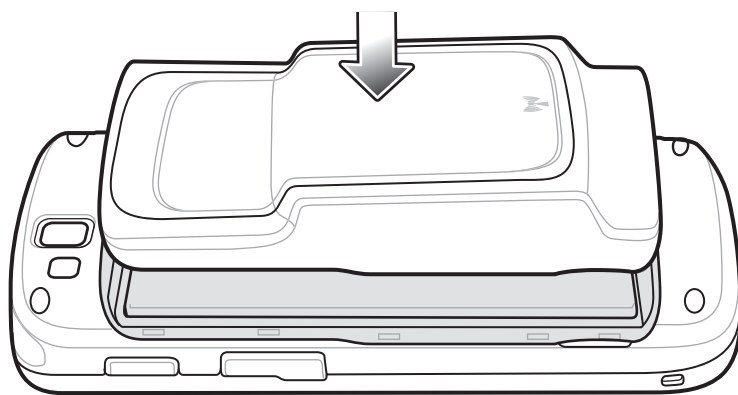
- 6 回転させるようにして、バッテリーをコンパートメントから取り出します。
- 7 交換用バッテリーの下部にある3つのツメを、バッテリー コンパートメントの3つのスロットに合わせます。
- 8 バッテリーを押し下げ、ロックされるまで回転させるようにして動かします。

図 23: 4,410mAh バッテリーの挿入



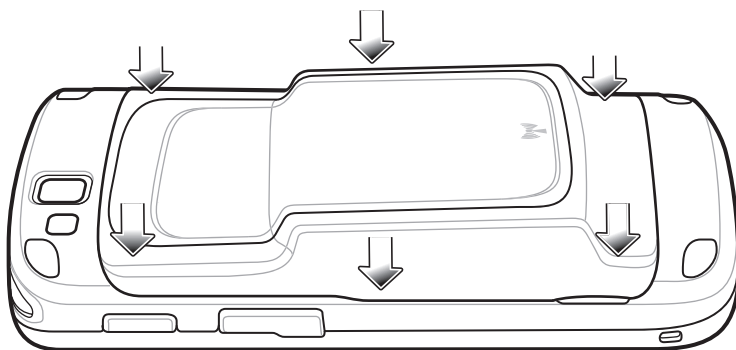
- 9 バッテリー カバーをデバイスの背面に合わせます。

図 24: バッテリー カバーを合わせる



- 10 カバーの縁の周囲を押して、バッテリー カバーが正しく取り付けられていることを確認します。

図 25: バッテリー カバーの固定



11 電源ボタンを押して、TC55 の電源をオンにします。

microSD カードの交換



注意:

SD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することやユーザーを適切に接地することなどが含まれます。

microSD カードを変えると、TC55 の機能が変わる可能性があります。

microSD カードを交換する前に、必ず TC55 をシャットダウンする手順に従ってください。microSD カードの読み取りまたは書き込み中に電源が途絶えるとデータが破損する可能性があります。



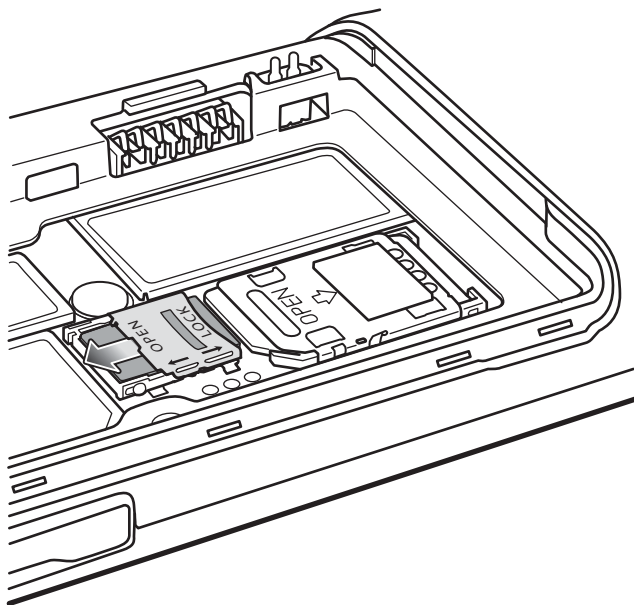
注: TC55 は、最大 32GB の microSD カードをサポートします。

microSD カードを交換するには、次の手順に従います。

手順

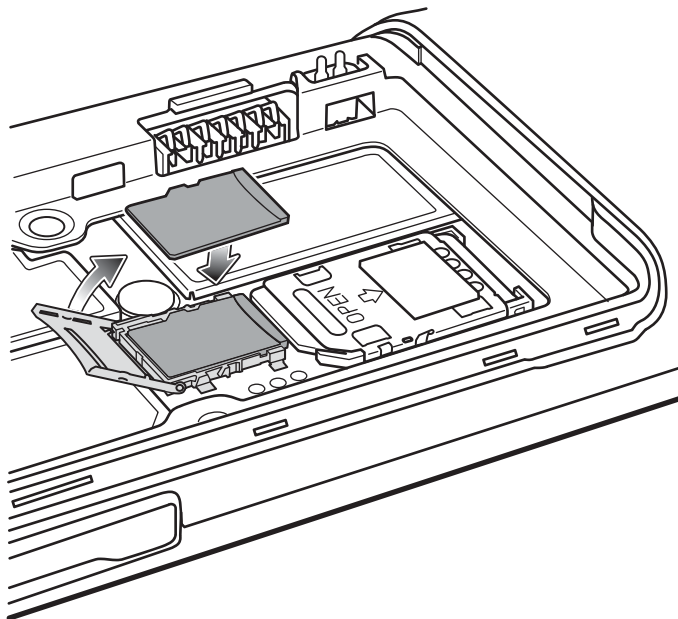
- 1 メニューが表示されるまで電源ボタンを押します。
- 2 **[Power off] (電源オフ)** をタッチします。
- 3 **[OK]** をタッチします。
- 4 デバイスが完全に電源オフ状態になるまで待ちます。
- 5 バッテリー カバーを取り外します。
- 6 バッテリーを取り外します。
- 7 microSD カード カバーを上方にスライドさせてロック解除します。

図 26: microSD カード カバーのロック解除



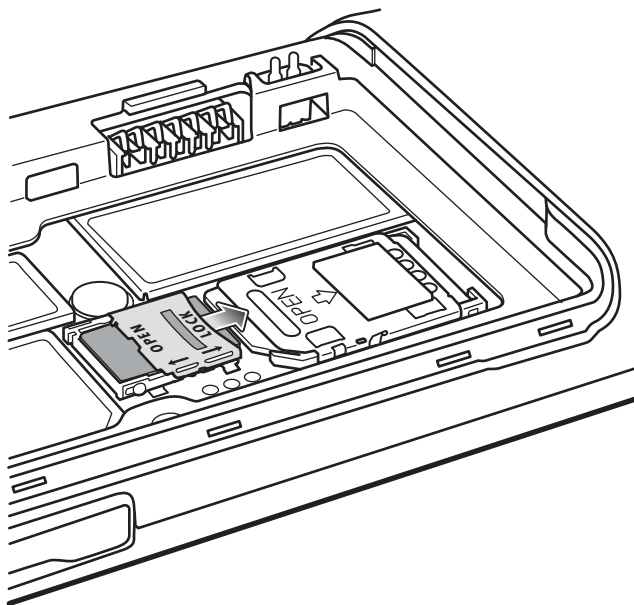
- 8 microSD カード カバーを持ち上げます。
- 9 microSD カードをカードホルダーから取り出します。
- 10 交換用の microSD カードをカードホルダーに合わせます。カードの端子が下向きで、カードホルダーの方を向いていることを確認します。
- 11 microSD カードをカードホルダーに挿入します。

図 27: microSD カードの挿入



- 12 microSD カード カバーを閉じます。
- 13 microSD カード カバーを下方にスライドさせて所定の位置にロックします。

図 28: microSD カード カバーのロック



- 14 バッテリーを交換します。
- 15 バッテリー カバーをデバイスの背面に合わせ、カチッとハマるまで押し下げます。
- 16 電源ボタンを押して、デバイスの電源をオンにします。

バッテリー管理



注:

バッテリー充電レベルを確認する前に、すべての AC 電源 (クレードルまたはケーブル) から TC55 を取り外します。

メイン バッテリーの充電状態を確認するには、 >  または  >  [About phone] (デバイス情報) > [Status] (ステータス) をタッチします。

[Battery status] (バッテリー状態) にはバッテリーの放電状況が示され、[Battery level] (バッテリー レベル) にはバッテリー充電量 (フル充電と比較した割合) がリストされます。

バッテリー使用量の監視

[Battery] (バッテリー) 画面には、どのアプリケーションがバッテリー電力を最も消費しているかがリストされます。またこの画面を使用して、ダウンロードしたアプリケーションの中で電力を消費しすぎているものをオフにすることもできます。




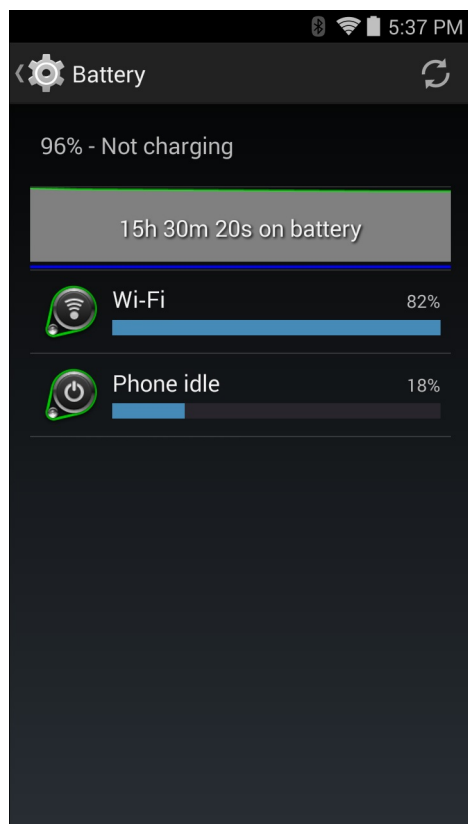
 >  または  > [Battery] (バッテリー) をタッチします。

図 29: [Battery] (バッテリー) 画面



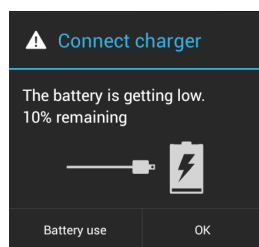
[Battery] (バッテリー) 画面には、バッテリーを使用しているアプリケーションがリストされます。画面上部の放電状況グラフには、最後に充電されたときからのバッテリーの放電率と (充電器に接続された短期間は、図の下部に薄い緑色の線で示されます)、バッテリー電源で稼動している時間が表示されます。

[Battery] (バッテリー) 画面でアプリケーションにタッチすると、その電力消費についての詳細が表示されます。アプリケーションによって、表示される情報は異なります。アプリケーションの中には、電力使用を調整するための設定画面が開くボタンが含まれているものもあります。

低バッテリー通知

バッテリー充電レベルが 20% (2,940mAh バッテリーの場合) または 13% (4,410mAh バッテリーの場合) を下回ったときに、TC55 を電源に接続するように求める通知が表示されます。ユーザーは、次の充電アクセサリのいずれかを使用してバッテリーを充電する必要があります。

図 30: 低バッテリー通知

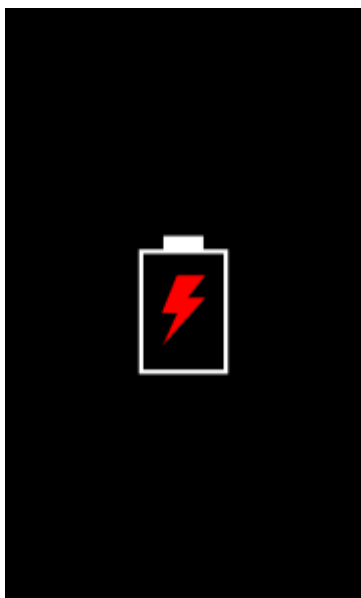


バッテリー充電状態が 10% (2,940mAh バッテリーの場合) または 7% (4,410mAh バッテリーの場合) を下回ったときに、TC55 を電源に接続するように求める通知が表示されます。ユーザーは、次の充電アクセサリのいずれかを使用してバッテリーを充電する必要があります。

バッテリー充電状態が 4% (2,940mAh バッテリーの場合) または 3% (4,410mAh バッテリーの場合) を下回った時点で、TC55 がオフになります。それ以降、ユーザーが TC55 の電源を入れようとすると、次の画面が表示されます。

The user must charge the TC55 using one of the charging accessories to retain data. (データを維持するために、充電アクセサリのいずれかを使用して TC55 を充電する必要があります。)

図 31: バッテリー放電状態の画面



ユーザーは充電アクセサリのいずれかを使用して TC55 を充電する必要があります。

バッテリーの最適な使用方法

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

- TC55 を使用しないときは、常に AC 電源に接続しておきます。
- アイドル状態で一定時間経過したら画面がオフになるように画面を設定します。[画面のタイムアウトの設定 \(ページ 41\)](#)を参照してください。
- 画面の明るさを抑えます。[画面の輝度の設定 \(ページ 40\)](#)を参照してください。
- 無線機能を使用していないときは、すべての無線機能をオフにします。グローバル ポジショニング システム (GPS) のレシーバは、GPS アプリケーションで GPS 無線が使用されている場合にのみオンになります。
- 電子メール、カレンダー、連絡先、および他のアプリケーションの自動同期機能をオフにします。
- **[Power Control] (電源コントロール)** ウィジェットを使用して、無線、画面の輝度、および同期機能のステータスを確認して制御します。
- 音楽、GPS、ビデオ アプリケーションなどのアプリケーションの使用を最小限に抑えて、TC55 がサスペンド状態にならないようにします。

無線通信をオフにする方法


すべての無線をオフにするには、次の手順に従います。



注: または、**[Quick Settings] (クイック設定)** オプションを使用して、デバイスを **[Airplane mode] (航空機モード)** に設定することができます。

手順

- 1 メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。






- 2 **[Airplane mode] (機内モード)** をタッチします。すべての無線がオフであることを示す飛行機のアイコン  がステータス バーに表示されます。

日時の設定

日時は、TC55 がほとんどの WAN ネットワークに接続されているとき、自動的に同期されます。

手動で日時を設定するには、次の手順に従います。

手順

- 1 ホーム画面で、 をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  **[Date & time] (日付と時刻)** をタッチします。
- 4 **[Automatic date & time] (自動日付と時刻)** をタッチして、日付と時刻の自動同期を無効にします。
- 5 **[Automatic time zone] (タイム ゾーンの自動設定)** をタッチして、タイム ゾーンの自動同期を無効にします。
- 6 **[Set date] (日付の設定)** をタッチします。
- 7 スライダを上下に移動し、月、日、年を選択します。
- 8 **[Done] (完了)** をタッチします。
- 9 **[Set time] (時間の設定)** をタッチします。
- 10 スライダを上下に移動し、時、分、午前/午後を選択します。
- 11 **[Done] (完了)** をタッチします。
- 12 **[Select time zone] (タイムゾーンの選択)** をタッチします。
- 13 リストから現在のタイム ゾーンを選択します。
- 14  をタッチします。

ディスプレイの設定

[Display settings] (ディスプレイの設定) を使用して、画面の輝度の変更、バックグラウンドイメージの変更、画面の回転の有効化、スリープ時間の設定、フォント サイズの変更を実行できます。

画面の輝度の設定

画面の輝度を設定するには、次の手順に従います。

手順




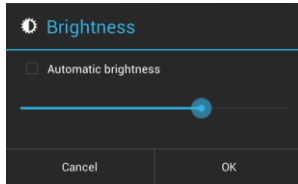

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3 **[Display] (ディスプレイ)** をタッチします。
- 4 **[Brightness] (輝度)** をタッチします。

図 32: [Brightness] (輝度) ダイアログ ボックス







- 5 **[Automatic brightness] (輝度自動調整)** チェックボックスをオンにすると、デバイスは内蔵光センサーを使用して、自動的に輝度を調整するように設定されます。輝度を手動で設定するには、このチェックボックスをオフにします。スライダを使用して、輝度レベルを設定します。
- 6 **[OK]** をタッチします。
- 7  をタッチします。

画面回転の設定

画面の回転を設定するには、次の手順に従います。


手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  **[Display] (ディスプレイ)** をタッチします。
- 4 **[Auto-rotate screen] (画面自動回転)** をオンにすると、TC55 の回転に合わせて TC55 が自動的に向きを切り替えるように設定されます。



注:





ホーム画面は回転しません。

- 5  をタッチします。


画面のタイムアウトの設定

画面のスリープ時間を設定するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  **[Display] (ディスプレイ)** をタッチします。
- 4 **[Sleep] (スリープ)** をタッチします。
- 5 スリープ値を 1 つ選択します。

- **[15 seconds] (15 秒)**
- **[30 seconds] (30 秒)**
- **[1 minute] (1 分)** (デフォルト)
- **[2 minutes] (2 分)**
- **[5 minutes] (5 分)**
- **[10 minutes] (10 分)**
- **30 分**

- 6  をタッチします。

フォント サイズの設定

システム アプリケーションのフォント サイズを設定するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
- 4 [Font size] (フォント サイズ) をタッチします。
- 5 フォント サイズ値を 1 つ選択します。
 - [Small] (小)
 - [Normal] (標準) (デフォルト)
 - [Large] (大)
 - [Huge] (特大)
- 6  をタッチします。

タッチ キー ライトの設定

画面の下にある 4 つのタッチ キーはバックライト付きです。バッテリー電力を節約するために、タッチ キー ライトを設定します。

手順





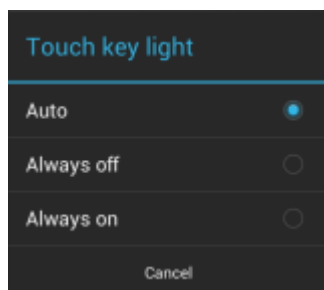

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
- 4 [Touch key light] (タッチ キー ライト) をタッチします。
- 5 次のいずれかのオプションを選択します。
 - [Auto] (自動) - TC55 は、光センサーを使用して、タッチ キー ライトの状態を判断します。明るい場所では、タッチ キー ライトはオンになりません。暗い場所では、タッチ キー ライトはオンになり、約 7 秒後にオフになります。画面にタッチすると、タッチ キー ライトが再度オンになります (デフォルト)。
 - [Always off] (常にオフ) - タッチ キー ライトはオフです。
 - [Always on] (常にオン) - 画面がオンのときはタッチ キー ライトがオンになります。

図 33: [Touch Key Light] (タッチ キー ライト) ダイアログ ボックス



- 6  をタッチします。

タッチモード

TC55 は、指、導電性チップのスタイラス、または手袋をはめた指によるタッチを検出できます。



注:

医療用のラテックス、皮革、綿または羊毛製の手袋を使用できます。

最適なパフォーマンスを得るためには、Zebra 認定スタイラスをご使用ください。

手順





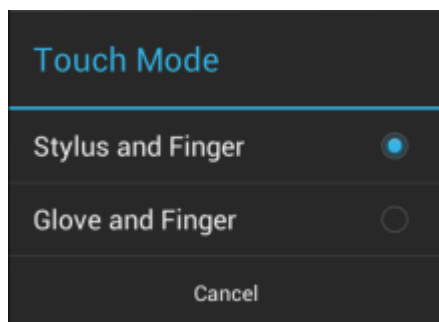

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
- 4 [Touch Mode] (タッチモード) をタッチします。

図 34: [Touch Mode] (タッチモード) ダイアログボックス



- 5 指またはスタイラスを使用する場合は、画面で [Stylus and Finger] (スタイラスと指) をタッチし、指または手袋をはめた指を使用する場合は、画面で [Glove and Finger] (グローブと指) をタッチします。
- 6  をタッチします。

一般的なサウンド設定





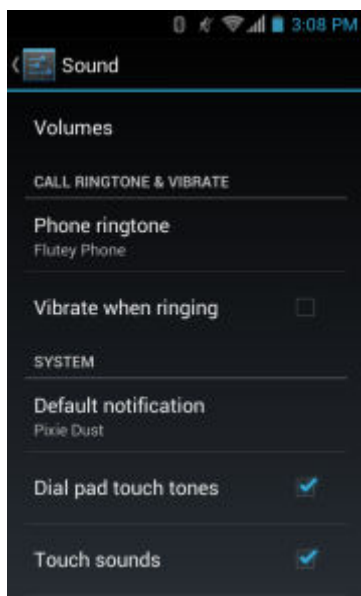
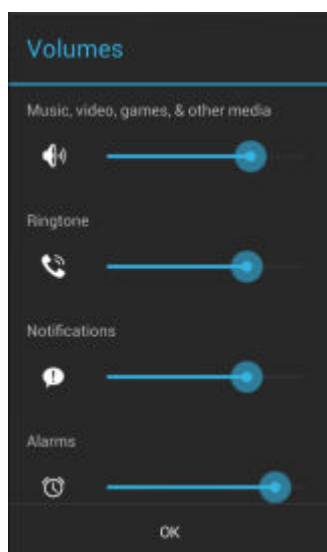
[Sounds] (サウンド) 設定を使用して、メディアおよびアラームの音量を設定します。ホーム画面で、 >  または  >  [Sounds] (サウンド) をタッチします。

図 35: [Sounds] (サウンド) 画面



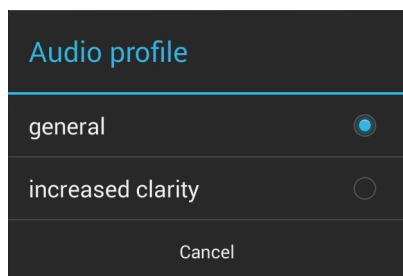
- **[Volumes] (音量)** - メディア、呼び出しトーン、通知およびアラームの音量を変更するのに使用します。

図 36: [Volumes] (音量) ダイアログ ボックス



- **[Audio profile] (音声プロファイル)** – タッチして、音声プロファイルを設定します。[Audio profile] (音声プロファイル) 画面で、[Audio profile] (音声プロファイル) をタッチします。

図 37: [Audio profile] (音声プロファイル) ダイアログ ボックス



- [General] (全般) – 標準の音声設定 (デフォルト)。
- [increased clarity] (鮮明度の増強) – 高周波で音量を上げます。
- 着信音とマナーモード
 - [Phone ringtone] (着信音) - タッチして、着信したときに鳴る着信音を選択します。
 - [Vibrate when ringing] (着信音が鳴るときにバイブレーション) - オンにすると、電話を受けたときにデバイスが振動します (デフォルト – 有効)。
- システム
 - [Dial pad touch tones] (ダイヤルパッド タッチ操作音) - オンにすると、電話キーにタッチしたときに音が鳴ります (デフォルト – 有効)。
 - [Default notification] (デフォルトの通知) - タッチすると、すべてのシステム通知に関して再生されるサウンドを選択できます。
 - [Touch sounds] (タッチ サウンド) - オンにすると、画面上で選択を行ったときに音が鳴ります (デフォルト – 有効)。
 - [Screen lock sounds] (画面ロック音) - オンにすると、画面をロックまたはロック解除したときに音が鳴ります (デフォルト – 無効)。
 - [Vibrate on touch] (タッチで振動) - オンにすると、ソフト キーにタッチしたときや、特定の画面操作を行ったときに、デバイスが振動します (デフォルト – 有効)。

LED 通知の設定

TC55 LED は、システムまたはアプリケーション通知が発生したときに青色に点滅するように設定できます。

手順




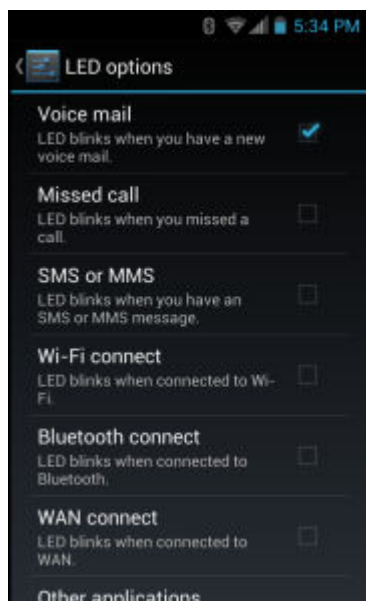

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3 [LED options] (LED オプション) をタッチします。
- 4 有効化するオプションの横にあるチェック ボックスをタッチします。

図 38: [LED Options] (LED オプション) ダイアログ ボックス



5  をタッチします。

第2章

TC55 の使用

この章では、TC55 の画面、ステータス アイコン、通知アイコン、およびコントロールについて紹介し、TC55 の基本的な使用方法を説明します。

Google モバイル サービス



注: このセクションは、Google モバイル サービス (GMS) が搭載された TC55 構成にのみ適用されます。



GMS が搭載された TC55 には、TC55 に機能を追加するアプリケーションとサービスが含まれています。



GMS には次のコンポーネントが含まれています。

- **アプリケーション** - GMS は、Chrome、Gmail、ドライブ、マップなどのさまざまな Google アプリケーションおよび関連ウィジェットを追加します。
- **サービス:**
 - **音声入力** - 接続されたネットワークと切断されたネットワークの両方で多くの言語で自由な形式のテキストを音声入力できます。キーボードのマイクのアイコンをタッチして起動します。
 - **TalkBack サービス** - ユーザー インタフェースのさまざまな部分で音声によるフィードバックを提供します。有効にするには、[Settings] (設定) > [Accessibility] (ユーザー補助) を選択します。
 - **ネットワーク位置情報プロバイダ** - モバイル ネットワーク タワー情報および Wi-Fi アクセス ポイント情報を使用し、GPS を使用せずに位置情報を提供する位置情報プロバイダを追加します。有効にするには、[Settings] (設定) > [Location access] (位置情報アクセス) を選択します。
 - **Widevine DRM** - 保護されたコンテンツの再生を可能にするデジタル著作権管理を有効にします。Play Store からの DRM 情報を使用して有効にします。
 - **Google Cloud Messaging** - サーバーから TC55 にデータを送信できるようにし、同時に同じ接続上でデバイスからメッセージを受信できるようにします。
 - **バックアップと復元** - ユーザー設定とアプリケーションを Google サーバーにバックアップし、工場出荷時の設定にリセットした後でそのサーバーから設定を復元できます。
- **Google アカウント** - Google アカウントを作成し、そのアカウントを使用して、メール、ファイル、音楽、写真、連絡先、カレンダーイベントを同期できます。

ホーム画面

ホーム画面は、TC55 をオンにすると表示されます。設定によって、ホーム画面に表示される内容は異なります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

サスペンドまたは画面タイムアウトの後、ホーム画面にはロック スライダが表示されます。 を  に向けて右にスライドして、画面のロックを解除します。画面のロックの詳細については、[画面のロック解除 \(ページ 62\)](#)を参照してください。

また、 を  に向かって左にスライドすると、**[Camera] (カメラ)** アプリケーションが開きます。

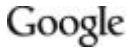
GMS を使用した TC55 では、 の上にスライドして、Google 検索アプリケーションを開きます。

図 39: ホーム画面

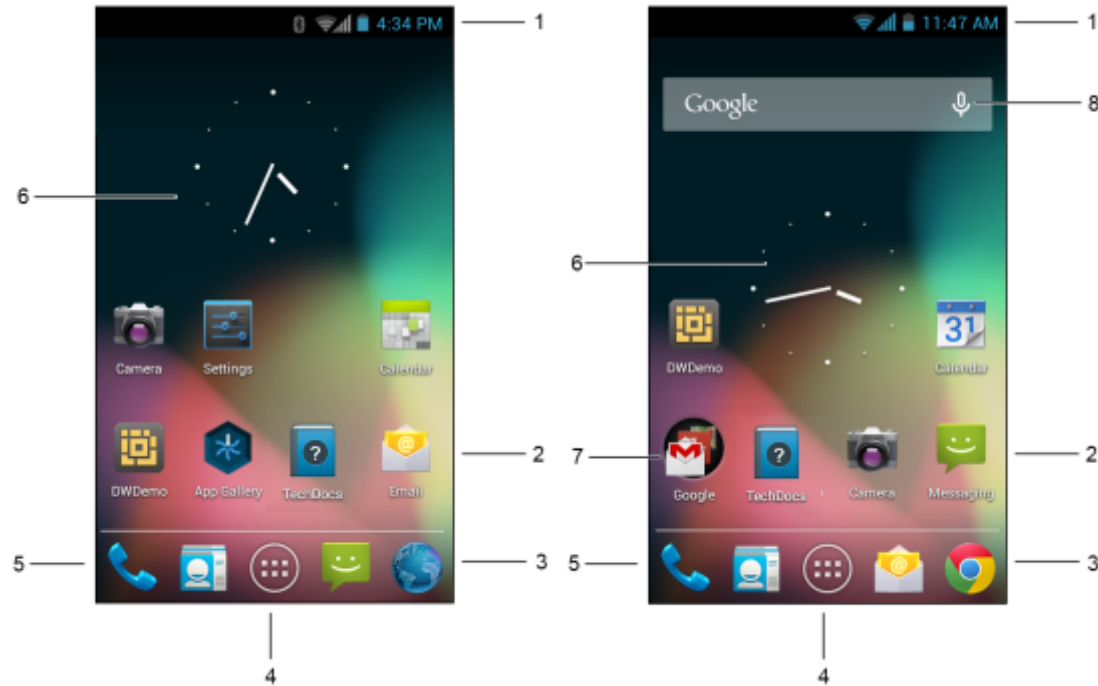


表 4: ホーム画面の項目

項目	説明
1 — ステータス バー	時間、ステータス アイコン (右側)、および通知アイコン (左側) が表示されます。詳細については、 ステータス アイコン (ページ 49) および 通知の管理 (ページ 52) を参照してください。
2 - ショートカット アイコン	TC55 にインストールされているアプリケーションが開きます。詳細については、 アプリケーション ショートカットとウィジェット (ページ 53) を参照してください。
3 - ブラウザ アイコン	[Browser] (ブラウザ) アプリケーションを開きます。GMS が搭載された TC55 で、Chrome ブラウザを開きます。
4 - [All Apps] (すべてのアプリケーション) アイコン	[APPS] (アプリ) ウィンドウを開きます。
5 - [Phone] (電話) アイコン	[Dialer] (ダイヤラ) ウィンドウを開きます。TC55CH 構成では使用できません。

次ページに続く ...

項目	説明
6— ウィジェット	ホーム画面で実行するスタンドアロン型のアプリケーションを起動します。詳細については、 アプリケーション ショートカットとウィジェット (ページ53) を参照してください。
7 - Google フォルダ	GMS が搭載された TC55 で、デバイスで使用可能な Google アプリケーションのリストを開きます。
8 - [Voice Search] (音声検索)	GMS が搭載された TC55 で、ユーザーが TC55 のマイクに話すことで Google 検索を使用できるようにします。

ホーム画面には、ウィジェットとショートカットを配置するための 4 つの追加画面があります。画面を左右にスワイプすると、追加画面が表示されます。

ステータス バー


ステータス バーには、時間、通知アイコン (左側)、およびステータス アイコン (右側) が表示されます。

図 40: 通知アイコンおよびステータス アイコン






表 5: ホーム画面の項目

項目	説明
1	通知アイコン
2	ステータス アイコン

ステータス バーに表示可能な数より多くの通知がある場合は、他にも通知があることを示す  が表示されます。[Notifications] (通知) パネルを開き、すべての通知とステータスを表示します。

ステータス アイコン






表 6: ステータス アイコン

アイコン	説明
	GPS が使用中であることを示します。
	TC55 が場所データを検索していることを示します。
	アラームが有効であることを示します。

[次ページに続く ...](#)

アイコン	説明
	メディアとアラーム以外のすべてのサウンドがサイレンスに設定され、バイブモードが有効になっていることを示します。
	着信音がサイレンスに設定されていることを示します。
	通話中はマイクがミュートになっていることを示します。
	バッテリーが完全に充電された状態であることを示します。
	バッテリーの一部が消耗された状態であることを示します。
	バッテリーの充電が少ないことを示します。
	バッテリーの充電が非常に少ないことを示します。
	バッテリーが充電中であることを示します。
	機内モードがアクティブであることを示します。すべての無線がオフになります。
	Bluetooth がオンになっていることを示します。
	TC55 が Bluetooth デバイスに接続されていることを示します。
	Wi-Fi ネットワークに接続されていることを示します。
	Wi-Fi 信号がないことを示します。
	モバイル ネットワーク信号の強度を示します。
	モバイル ネットワーク信号がないことを示します。
	4G LTE ネットワークに接続されていることを示します。
	4G ネットワークに接続されていることを示します。
	3G ネットワークに接続されていることを示します。
	HSPA ネットワークに接続されていることを示します。

次ページに続く ...

アイコン	説明
	EDGE ネットワークに接続されていることを示します。
	GPRS ネットワークに接続されていることを示します。
	ネットワークからローミングしていることを示します。
	SIM カードが取り付けられていないことを示します。
	補聴器互換性 (HAC) 機能が有効になっていることを示します。

通知アイコン

表 7: 通知アイコン

アイコン	説明
	表示可能な通知が他にもあることを示します。
	データを同期していることを示します。
	電子メールが着信したことを示します。
	GMS が搭載された TC55 では、Google メールが着信したことを示します。
	間近に迫ったイベントを示します。
	オープン Wi-Fi ネットワークを使用できることを示します。
	音楽が再生されていることを示します。
	サインインまたは同期に関する問題が発生したことを示します。
	TC55 がデータをアップロードしていることを示します。
	microSD カードに空き容量がほとんどなくなっていることを示します。
	動画表示の場合は TC55 がデータのダウンロード中であることを示し、静止画表示の場合はダウンロードが完了したことを示します。

次ページに続く ...

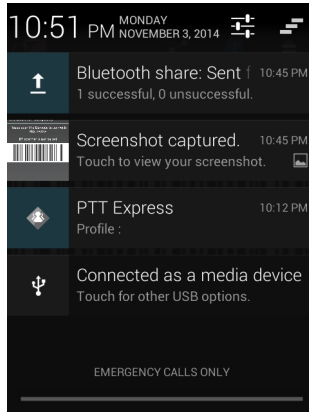
アイコン	説明
	TC55 が USB ケーブルを使用して接続されていることを示します。
	TC55 が仮想プライベート ネットワーク (VPN) を介して接続または切断されていることを示します。
	SD カードを準備しています。
	TC55 で USB デバッグが有効になっていることを示します。
	MultiUser 機能が有効になっていることを示します。
	新しいユーザーがログインしていることを示します。
	TC55 がテキスト メッセージを受信したことを示します。
	不在着信が発生したことを示します(LTE Data のみの TC55CH では使用できません)。
	TC55 が車載モードであることを示します。
	Elemz アプリケーションを使用して診断データが送信されたことを示します。
	Bluetooth テザリングが有効であることを示します。
	USB テザリングが有効であることを示します。
	Wi-Fi ホットスポットが有効であることを示します。
	GMS が搭載された TC55 では、Google ハングアウト チャット通知を示します。
	GMS を搭載した TC55 では、Google+ 通知を示します。

通知の管理


通知アイコンは、新しいメッセージの到着、カレンダー イベント、およびアラームに加えて、進行中のイベントも報告します。通知が行われると、簡単な説明とともにアイコンがステータス バーに表示されます。表示される通知アイコンと説明については、[表 7: 通知アイコン \(ページ 51\)](#)を参照してください。すべての通知のリストを表示するには、**[Notifications] (通知)** パネルを開きます。


[Notifications] (通知) パネルを開くには、画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。

図 41: [Notification] (通知) パネル



通知に応答するには、[Notifications] (通知) パネルを開いて、通知をタッチします。[Notifications] (通知) パネルが閉じます。この後の操作は、通知によって異なります。

すべての通知をクリアするには、[Notifications] (通知) パネルを開き、 をタッチします。イベントベースのすべての通知が削除されます。進行中の通知はそのままリストに残ります。


[Notification] (通知) パネルを閉じるには、[Notifications] (通知) パネルの下部を画面の上部までドラッグするか、 をタッチします。

アプリケーション ショートカットとウィジェット

アプリケーション ショートカットは、ホーム画面に置かれており、アプリケーションにすばやく簡単にアクセスできます。ウィジェットとはホーム画面に置かれた内蔵型のアプリケーションであり、これを使用して、頻繁に使用する機能にアクセスできます。

アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面に追加する

手順

- 1 ホーム画面に移動します。
- 2  をタッチします。
- 3 必要に応じて、右にスワイプし、アプリケーションアイコンまたはウィジェットを探します。
- 4 ホーム画面が表示されるまで、アイコンまたはウィジェットをタッチし続けます。
- 5 アイコンを画面に配置したら、指を離します。

ホーム画面での項目の移動

手順

- 1 画面でフローティングするまで項目をタッチし続けます。
- 2 項目を新しい場所にドラッグします。画面の端で一時停止し、隣接するホーム画面まで項目をドラッグします。
- 3 指を持ち上げ、項目をホーム画面に配置します。

アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面から削除する

手順

- 1 ホーム画面に移動します。

- 2 アプリケーションのショートカットアイコンまたはウィジェットアイコンを、画面でフローティングするまでタッチし続けます。
- 3 アイコンを画面上部の **✕ Remove** にドラッグしたら、指を放します。

フォルダ

フォルダを使用して、同様のアプリケーションを整理します。フォルダをタップして、フォルダ内の項目を開き、表示します。

フォルダの作成

フォルダを作成するには、ホーム画面に 2 つ以上のアプリのアイコンが必要です。

手順

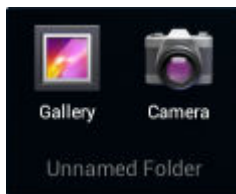
- 1 ホーム画面に移動します。
- 2 1 つのアプリケーションアイコンをタッチし、その状態を維持します。
- 3 アイコンをドラッグし、別のアイコン上に重ねます。
- 4 指を離します。

フォルダの名前付け

手順

- 1 フォルダをタッチします。

図 42: フォルダを開く



- 2 タイトルのエリアをタッチし、キーボードを使用してフォルダ名を入力します。
- 3 **[Done] (完了)** をタッチします。
- 4 ホーム画面の任意の場所をタッチし、フォルダを閉じます。フォルダ名がフォルダの下に表示されます。

図 43: 名前が変更されたフォルダ



フォルダの削除

手順

- 1 フォルダアイコンをタッチして、アイコンが拡大され、デバイスが振動するまで、その状態を維持します。
- 2 アイコンを **✕ Remove** までドラッグして放します。

ホーム画面の壁紙の変更



注: [Live Wallpaper] (ライブ壁紙) を使用すると、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。

手順

- 1 をタッチします。
- 2 [Wallpaper] (壁紙) をタッチします。
- 3 [Choose wallpaper from] (壁紙の選択) メニューから、[Gallery] (ギャラリー)、[Live wallpapers] (ライブ壁紙)、または [Wallpapers] (壁紙) をタッチします。
 - [Gallery] (ギャラリー) - デバイスに保存されている画像を使用する場合に選択します。
 - [Live wallpapers] (ライブ壁紙) - 動画表示の壁紙画像を使用する場合に選択します。
 - [Wallpapers] (壁紙) - 壁紙画像を使用する場合に選択します。
- 4 [Save] (保存) または [Set wallpaper] (壁紙の設定) をタッチします。

タッチスクリーン の使用方法

高感度のマルチタップ スクリーンを使用して、デバイスを操作します。

- **タップ** - タップして次を行います。
 - 画面上の項目を選択します。
 - 画面キーボードを使用して、文字や記号を入力します。
 - 画面ボタンを押します。
- **タップしてその状態を維持** - 次の項目をタップして維持し、以下を行います。
 - ホーム画面の項目をタッチして、それを新しい場所かゴミ箱に移動します。
 - [Apps] (アプリケーション) の項目をタッチして、ホーム画面にショートカットを作成します。
 - ホーム画面をタッチして、ホーム画面をカスタマイズするためのメニューを開きます。
 - ホーム画面の何も表示されていないエリアをタッチし続けると、メニューが表示されます。
- **ドラッグ** - 項目をタップしてしばらくの間その状態を維持した後、画面上の新しい位置まで指を移動します。
- **スワイプ** - 画面上で上下または左右に指を移動して、次を行います。
 - 画面のロックを解除します
 - 別のホーム画面を表示します
 - [Launcher] (起動プログラム) ウィンドウに追加のアプリケーション アイコンを表示します
 - アプリケーションの画面についての詳細情報を表示します
- **ダブルタップ** - Web ページ、マップ、または他の画面を 2 回タップして、ズームインやズームアウトを行います。
- **ピンチ** - 一部のアプリケーションでは、画面上に指を 2 本置いて指の間隔を狭めたり (ズームアウト)、離したり (ズームイン) して、ズームインとズームアウトを行えます。

画面キーボードの使用方法

画面キーボードを使用して、テキスト フィールドにテキストを入力します。キーボード設定を行うには、



> をタッチし、[Android keyboard settings] (Android キーボード設定) を選択します。

テキストの編集

入力したテキストを編集して、メニュー コマンドを使用し、アプリケーション内または複数のアプリケーション間でテキストの切り取り、コピー、および貼り付けを行います。アプリケーションの中には、表示しているテキストの一部またはすべての編集をサポートしていないものや、テキストの選択に独自の方法を提供しているものもあります。

数字、記号、および特殊文字の入力

数字および記号を入力するには、次の手順に従います。

- メニューが表示されるまで最上部の行にあるキーの 1 つをタッチして、数字を選択します。キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。
- Shift キーを 1 本の指でタッチしてその状態を維持しながら、1 つまたは複数の大文字または記号をタッチして入力し、両方の指を放して小文字のキーボードに戻ります。
- にタッチすると、数字と記号のキーボードに切り替わります。
- 数字と記号のキーボードで キーにタッチすると、別の記号が表示されます。

特殊文字を入力するには、数字または記号のキーをタッチして、その他の記号のメニューが開くまでその状態を維持します。

- キーボードの上に、より大きいバージョンのキーが短時間表示されます。
- キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。

アプリケーション

[APPS] (アプリ) 画面には、インストールされているすべてのアプリケーションのアイコンが表示されます。

表 8: アプリケーション (ページ 56) TC55 にインストールされているアプリケーションがリストされます。アプリケーションのインストールとアンインストールの詳細については、『TC55 Integrator Guide』(英語) を参照してください。

表 8: アプリケーション

アイコン	説明
	[App Gallery] (アプリ ギャラリー) - TC55 にインストールできるユーティリティとデモンストラーション アプリケーションへのリンクが表示されます。
	[Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) - バーコードをスキャンして TC55 と RS507 ハンズフリー イメージャをペアリングするために使用します。
	[Browser] (ブラウザ) - インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します。

次ページに続く ...

アイコン	説明
	[Calculator] (電卓) - 基本演算機能および科学演算機能を備えています。
	[Calendar] (カレンダー) - イベントおよび予定を管理するために使用します。
 また  は	[Camera] (カメラ) - 写真を撮ったり、ビデオを録画したりします。
	[連絡先] - 連絡先の情報を管理するために使用します。
	[Chrome] - インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します。 GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Clock] (時計) - アラーム、ストップウォッチ、またはタイマーを設定するために使用します。
	[DataWedge] - カメラまたはオプションのスキャナを使用して、データを取得できるようにします。
	[Downloads] (ダウンロード) - すべてのダウンロード ファイルをリストします。
	[Drive] (ドライブ) - 写真、ビデオ、ドキュメント、およびその他のファイルを個人用ストレージサイトにアップロードします。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[DWDemo] - リニア イメージャまたはカメラを使用したデータ収集機能をデモンストレーションできます。詳細については、 DataWedge デモンストレーション (ページ108) を参照してください。
	[elemex] — 診断情報を Zebra に送信するために使用します。詳細については、 Elemex (ページ110) を参照してください。
	[Email] (電子メール) - 電子メールを送受信するために使用します。
	[File Browser] (ファイル ブラウザ) - TC55 上のファイルを整理および管理します。詳細については、 ファイル ブラウザ (ページ81) を参照してください。
	[Gallery] (ギャラリー) - microSD カードに保存されている写真を表示するために使用します。詳細については、 ギャラリー (ページ100) を参照してください。

次ページに続く ...

アイコン	説明
	[Gmail] - Google 電子メール アカウントを使用して電子メールを送受信するために使用します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Google] - Google 検索アプリケーションを起動します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Google Settings] (Google の設定) - アプリケーションを Google アカウントに接続し、Google Plus アカウント、場所、検索機能、および Android Device Manager を設定するために使用します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Google+] - Google ソーシャル ネットワーク上のユーザーと接続します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Hangouts] (ハングアウト) - テキスト メッセージと写真を使用して友人と通信するために使用します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Maps] (マップ) - 地図上で自分がいる場所を表示するために使用します (公共の乗り継ぎ、交通、または衛星オーバーレイを使用します)。目的の会社や場所を検索します。車、自転車、徒歩、公共の交通機関で移動するユーザーのために、音声ガイド付きのナビゲーションを提供し、渋滞回避情報や迂回ルートも表示します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Messenger] (メッセンジャー) - 友人にメッセージを送信します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Messaging] (メッセージング) - SMS および MMS メッセージを送信します。 Messaging (メッセージング) (ページ 82) 詳細については、
	[MLog Manager] - 診断用にログ ファイルを読み取るために使用します。詳細については、 MLog Manager (ページ 111) を参照してください。
	[Mobi Control Stage] (Mobi コントロール ステージ) – [Mobi Control Stage] (Mobi コントロール ステージ) アプリケーションを開いて、TC55 のステージングを行います。
	[Movie Studio] - ムービー ビデオを作成します。詳細については、 Movie Studio (ページ 107) を参照してください。
	[MSP Agent] (MSP エージェント) - MSP Server から TC55 を管理できます。必要なレベルの管理機能を使用するには、デバイスごとに適切な MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。
	[Music] (音楽) - microSD カードに保存されている音楽を再生します。

次ページに続く ...

アイコン	説明
	[News & Weather] (ニュースと天気) - 現在のニュースと天気を表示します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[People] (連絡先一覧) - 連絡先の情報を管理するために使用します。 連絡先 (ページ 84) 詳細については、
	[Phone] (電話) - 音声通話を発信するために使用します。 通話 (ページ 69) 詳細については、TC55AH および TC55BH のみ。
	[Play Books] (Play ブックス) - 書籍を読むために使用します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Play Games] (Play ゲーム) - ゲームをプレイするために使用します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Play Magazines] (Play マガジン) - 雑誌を購読してオンラインで読むために使用します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Play Movies & TV] (Play ムービー & TV) - デバイスでムービーとビデオを表示します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Play Music] (Play ミュージック) - 音楽を聴くために使用します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Play Store] (Play ストア) - 音楽、ムービー、書籍、Android アプリ、ゲームを Google Play ストアからダウンロードします。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[Rapid Deployment] (高速導入) - 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、初めての使用に向けて TC55 がデバイスをステージングできるようにします。デバイスごとに MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。
	[RxLogger] - デバイスおよびアプリケーション問題を診断するために使用します。詳細については、『 <i>TC55 Integrator Guide</i> 』(英語) を参照してください。
	[Scan mode] (スキャン モード) - スキャンを開始する TC55 ボタンを設定するために使用します(2D イメージャが搭載された TC55 のみ)。
	[Search] (検索) - Google 検索エンジンを使用して、インターネットおよび TC55 を検索します。

次ページに続く ...

アイコン	説明
 または 	[Settings] (設定) - TC55 を設定するために使用します。
	[SimulScan Demo] (SimulScan デモ) - TC55 の文書収集機能をデモンストレーションするために使用します(2D イメージャが搭載された TC55 のみ)。
	[Sound Recorder] (サウンド レコーダ) - 音声を録音するために使用します。
	[StageNow Client] (StageNow クライアント) - 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、初期使用に向けて TC55 がデバイスをステージングできるようにします(2D イメージャが搭載された TC55 のみ)。
	[TechDocs] - オンデバイスのユーザー ガイドを表示します。
	[Voice Dialer] (ボイス ダイヤラ) - 音声で通話を発信するために使用します。TC55AH および TC55BH のみ。
	[Voice Search] (音声検索) - 質問することで検索を実行するために使用します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[YouTube] - YouTube Web サイトでビデオを観るために使用します。GMS が搭載された TC55 のみ。
	[AppLock Administrator] (アプリケーション ロック管理者) - アプリケーション ロック機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。
	[MultiUser Administrator] (MultiUser 管理者) - MultiUser 機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。
	[Secure Storage Administrator] (ストレージ保護管理者) - ストレージ保護機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。

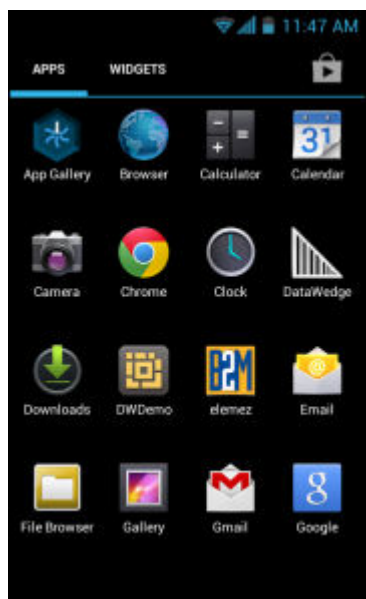
アプリケーションへのアクセス

デバイスにインストールされたすべてのアプリケーションには、[APPS] (アプリ) ウィンドウを使用してアクセスできます。

手順

- 1  をタッチします。


図 44: [APPS] (アプリ) ウィンドウ



- 2 [APPS] (アプリ) ウィンドウを左右にスライドすると、その他のアプリケーションアイコンが表示されます。アプリケーションを開くには、アイコンをタッチします。



注: ホーム画面にショートカットを作成する方法の詳細については、[アプリケーション ショートカットとウィジェット \(ページ53\)](#)を参照してください。

- 3 GMS が搭載された TC55 で、 をタッチして、Google Play ストアにアクセスし、新しいアプリケーションを購入してダウンロードし、インストールします。

現在使用されているアプリケーションの切り替え

手順



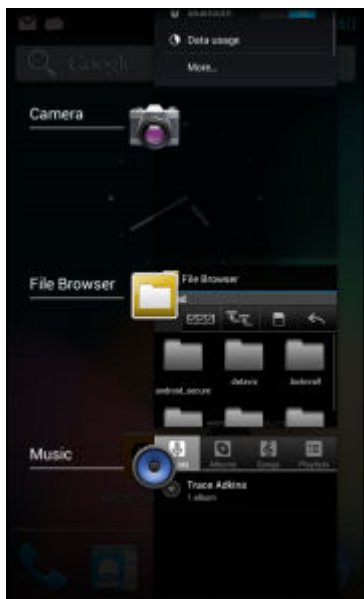

- 1  その状態を維持します。または、GMS を搭載した TC55 で  をタッチしてその状態を維持します。現在使用されているアプリケーションのアイコンが表示されたウィンドウが画面に表示されます。

図 45: 現在使用されているアプリケーション



- 2 ウィンドウを上下にスライドすると、現在使用されているすべてのアプリケーションを表示できます。
- 3 左右にスワイプしてリストからアプリケーションを削除し、強制的にアプリケーションを終了します。
- 4 アイコンをタッチして開くか、を押して  現在の画面に戻ります。



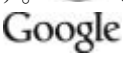
画面のロック解除

[Lock screen] (画面のロック) を使用して、TC55 上のデータへのアクセスを保護します。電子メールアカウントによっては、画面をロックする必要があります。ロック機能の設定の詳細については、『*TC55 Integrator Guide*』(英語) を参照してください。ロック機能は、[Single User] (単一ユーザー) モードと [Multiple User] (複数ユーザー) モードで動作が異なります。

[Single User] (単一ユーザー) モード

画面がロックされた場合にデバイスのロックを解除するには、パターン、PIN、またはパスワードが必要です。電源ボタンを押して、画面をロックします。定義済みのタイムアウト時間が経過した場合もデバイスはロックされます。

デバイスをウェイクアップするには、電源ボタンを押して放します。

[Lock] (ロック) 画面が表示されます。  を  に向けて右にスライドして、画面のロックを解除します。GMS を使用した TC55 では、 の上にスライドして、Google 検索アプリケーションを開きます。

[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能が有効な場合は、[Lock] (ロック) 画面ではなく、[Pattern] (パターン) 画面が表示されます。

[PIN] または [Password] (パスワード) 画面のロック解除機能が有効な場合は、画面をロック解除した後に、PIN またはパスワードを入力します。

図 46: ロック画面

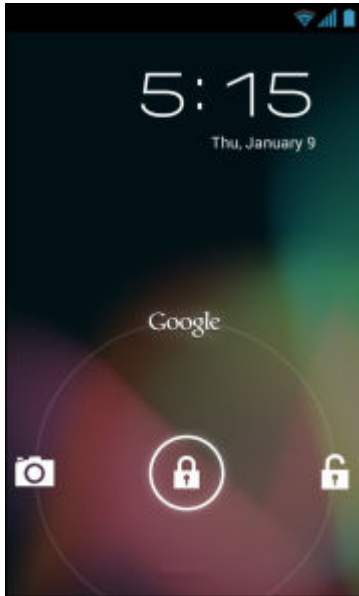


図 47: [PIN] 画面

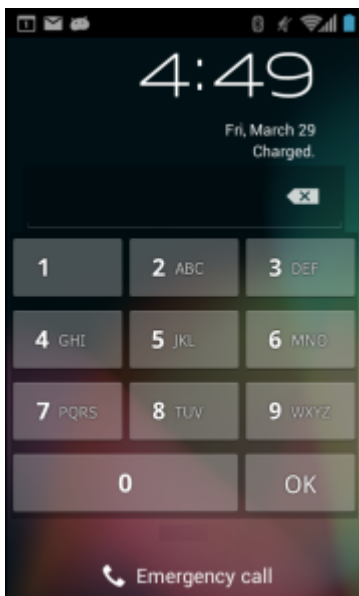


図 48: [Pattern] (パターン) 画面

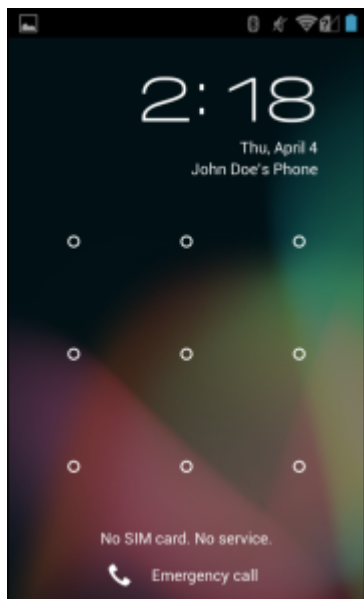
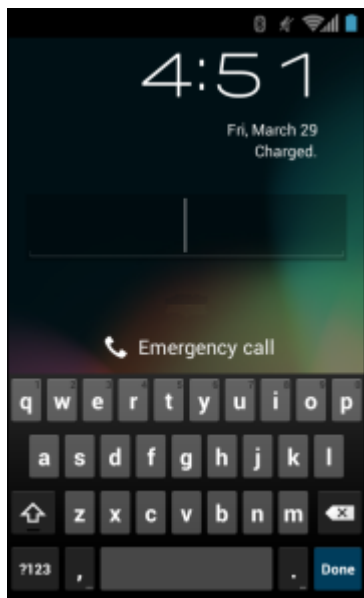


図 49: [Password] (パスワード) 画面



MultiUser モード

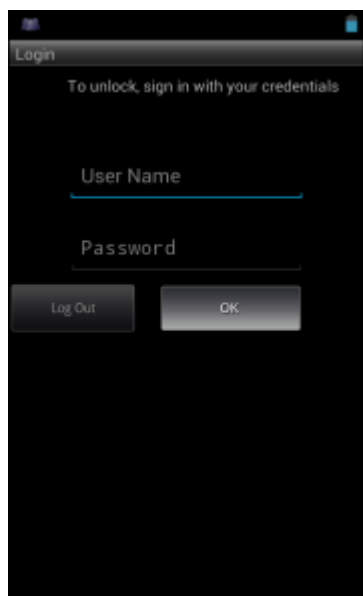
MultiUser ログインを使用すると、複数のユーザーがデバイスにログインし、各ユーザーがさまざまなアプリケーションや機能へのアクセス権を持つことができます。これが有効になっている場合は、電源がオンになった後、リセットされた後、またはサスペンドモードからデバイスがウェイクアップした後に [Login] (ログイン) 画面が表示されます。

MultiUser ログイン

手順

- 1 [Login] (ログイン) テキスト フィールドに、ユーザー名を入力します。

図 50: [Multiple User Log In] (複数ユーザーのログイン) 画面



- 2 [Password] (パスワード) テキスト フィールドに、パスワードを入力します。
- 3 [OK] をタッチします。サスペンドから再開した後、ユーザーはパスワードを入力する必要があります。

MultiUser ログアウト

手順

- 1 画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。
- 2 [MultiUser is active] (MultiUser が有効) をタッチします。
- 3 [Logout] (ログアウト) をタッチします。
- 4 [Login] (ログイン) 画面が表示されます。

デバイスのリセット

ソフト リセットとハード リセットという 2 つのリセット機能があります。

ソフト リセットの実行

アプリケーションが応答を停止した場合は、ソフト リセットを実行します。

手順

- 1 メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
- 2 [Reset] (リセット) をタッチします。
- 3 デバイスが再起動します。

ハード リセットの実行



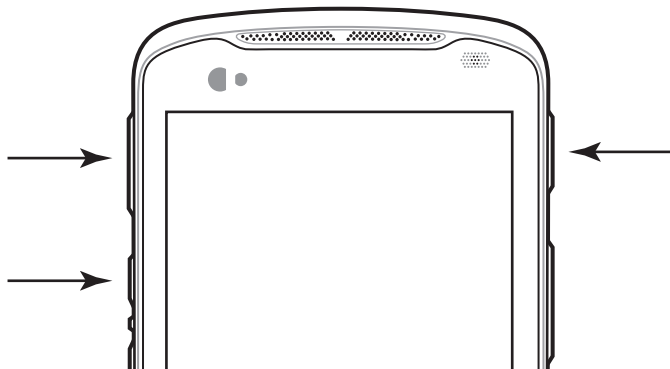
注意: TC55 に SD カードが取り付けられている状態でハード リセットを実行すると、SD カードの損傷やデータ破損が発生する可能性があります。

TC55 が応答を停止した場合は、ハードリセットを実行します。

手順

- 1 電源ボタン、プログラム可能ボタンおよび音量を上げるボタンを同時に押します。

図 51: 3 つのボタン リセット



- 2 TC55 が再起動します。

サスペンドモード

ユーザーが電源ボタンを押したときや、([Display settings] (ディスプレイの設定) ウィンドウで設定した) 一定の期間にわたって非アクティブな状態が続いた場合に、TC55 はサスペンドモードになります。

TC55 をサスペンドモードからウェイクアップするには、電源ボタンを押します。

[Lock] (ロック) 画面が表示されます。🔒 を 🔓 に向けて右にスライドして、画面のロックを解除します。[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能が有効な場合は、[Lock] (ロック) 画面ではなく、[Pattern] (パターン) 画面が表示されます。「画面のロック解除」を参照してください。

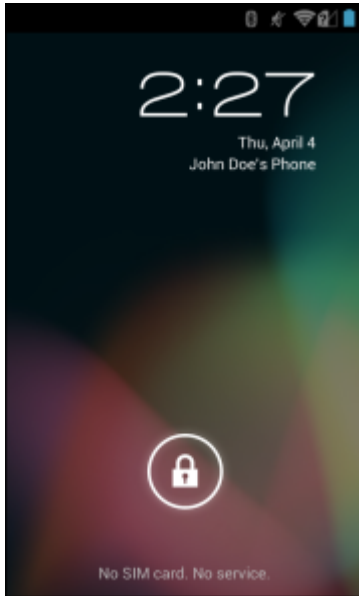


注:

正しくない PIN、パスワードまたはパターンを 5 回入力すると、再試行するまで 30 分待たなければなりません。

PIN、パスワードまたはパターンを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。

図 52: ロック画面



第 3 章

通話



注: 音声通話は、[LTE Data Only] (LTE Data のみ) 構成の TC55CH では使用できません。

[Phone] (電話) アプリケーション、**[People] (連絡先一覧)** アプリケーションまたはその他のアプリケーション、あるいは連絡先情報を表示するウィジェットから電話をかけます。

緊急通話

サービスプロバイダは、あらゆる状況下で通話可能な1つまたは複数の緊急電話番号(110や119など)を用意しています。この番号には、電話がロックされている場合やSIMカードが装着されていない場合、電話が有効でない場合でも電話をかけることができます。サービスプロバイダは、追加の緊急番号をSIMカードにプログラムすることができます。ただし、SIMカードに保存されている番号を使用するには、デバイスにSIMカードが装着されている必要があります。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。



注: 緊急番号は、国によって異なります。一部の地域で電話機にあらかじめ設定されている緊急番号が使用できないことがあります。また、ネットワーク、環境、または干渉の問題により、緊急通話が行えないこともあります。

音声モード

デバイスは、3つの通話音声モードを備えています。

- **ハンドセットモード:** デバイスの前面上部にあるレシーバから音声が出力され、デバイスをハンドセットとして使用できます。これがデフォルトのモードです。
- **スピーカモード:** デバイスをスピーカフォンのように使用できます。
- **ヘッドセットモード:** Bluetoothヘッドセットまたは有線ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetoothヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。Bluetoothヘッドセットをデバイスに接続する方法については、[Bluetooth \(ページ147\)](#)を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、音量を適切に設定してください。Bluetoothヘッドセットを接続すると、スピーカフォンはミュートになります。

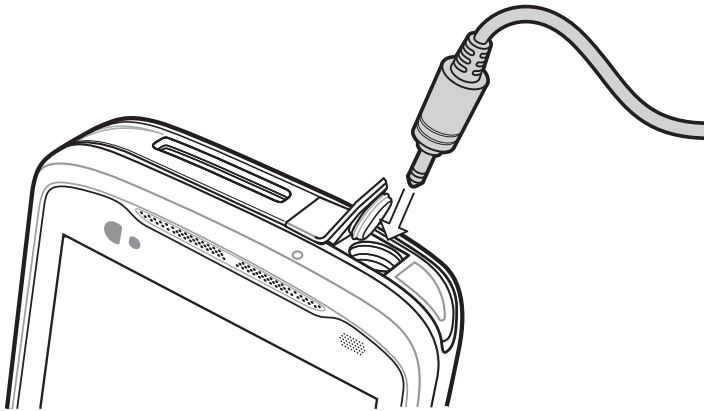
有線ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、有線ヘッドセット(3.5mmプラグ付き)を使用して音声通信を行うことができます。ヘッドセットを装着する前に、音量を適切に設定してください。有線ヘッドセットを接続すると、スピーカフォンはミュートになります。

ヘッドセットカバーを持ち上げ、ヘッドセットプラグを差し込みます。

有線ヘッドセットによる通話を終了するには、通話が終了するまでヘッドセット ボタンを押し続けます。

図 53: 有線ヘッドセット プラグの差し込み



音量の調節

音量ボタンを使用して、通話中以外のときの着信音の音量と、通話中における音量を調節します。



注: 通話音量は、通話中に調節してください。通話していないときに音量を調節すると、呼び出し音および通知音の音量が変わります。

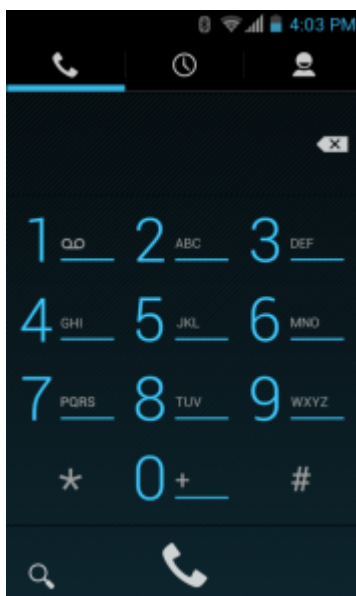
ダイヤラを使用して電話をかける

ダイヤラ タブを使用して電話番号をダイヤルします。

手順

- 1 ホーム画面で  をタッチします。

図 54: ダイヤラ画面





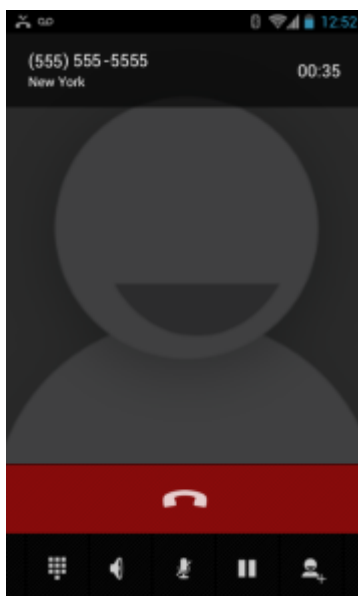






- 2  ダイヤラの上にあるタブをタッチします。
- 3 キーをタッチし、電話番号を入力します。
- 4  ダイヤラの下にある をタッチし、通話を開始します。


図 55: 通話中



条件 ...	対処 ...
ダイヤラを表示したい。	 をタッチします。
スピーカをオンにしたい。	 をタッチします。
通話をミュートしたい。	 をタッチします。
通話を保留にしたい。	 をタッチします。
通話に別の人を追加したい。	 をタッチします。

- 5  通話を終了するには、 をタッチします。

ダイヤラのダイヤル オプション

ダイヤラでは、ダイヤルした連絡先番号を保存するオプション、ダイヤル文字列に一時停止と待機を挿入するオプション、また通話設定を行うオプションを利用できます。これらのオプションにアクセスするには、少なくとも 1 桁を入力します。以下のオプションにアクセスするには、 をタッチします。

- **[Add to contacts] (連絡先の追加)** - ダイヤルした番号を **[People] (連絡先一覧)** アプリケーションに追加します。

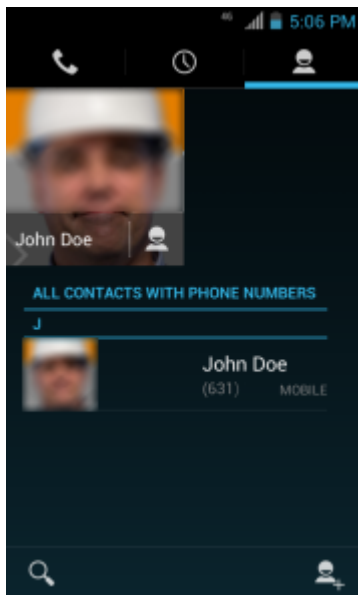
- **[Add 2-sec pause] (2 秒間の一時停止を追加)** - 2 秒間一時停止してから次の数字をダイヤルします。連続して複数の一時停止を追加できます。
- **[Add wait] (待機を追加)** - 残りの桁の送信の確認を待機します。
- **[Settings] (設定)** - **[Call settings] (通話設定)** 画面を開きます。


連絡先を使用して電話をかける

手順

- 1 ホーム画面で  をタッチします。
- 2  タブをタッチします。

図 56: **[Dialer Contacts] (ダイヤラの連絡先) タブ**






- 3 連絡先をタッチして、通話を開始します。
- 4 通話を終了するには、 をタッチします。

通話履歴を使用して電話をかける

通話履歴は、発信、着信、または不在着信したすべての通話のリストです。通話履歴は、番号のリダイヤル、電話の折り返し、または連絡先に番号を追加するのに便利です。

通話の横にある矢印アイコンが通話のタイプを示します。複数の矢印は複数の通話を示しています。

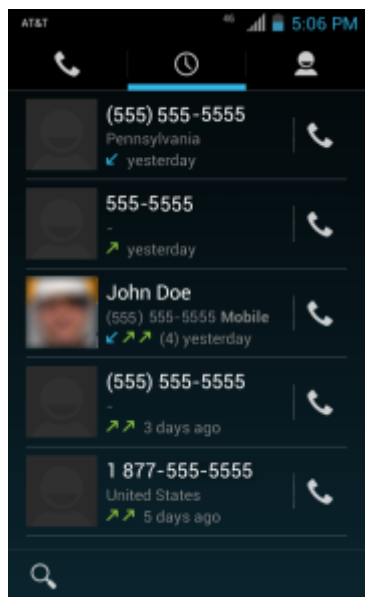
-  - 不在着信
-  - 受信した着信
-  - 発信



手順

- 1 ホーム画面で  をタッチします。

- 2  タブをタッチします。

図 57: [Call History] (通話履歴) タブ



- 3  をタッチして、通話を開始します。
- 4  をタッチして、通話を終了するには、






会議通話セッションの確立

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。



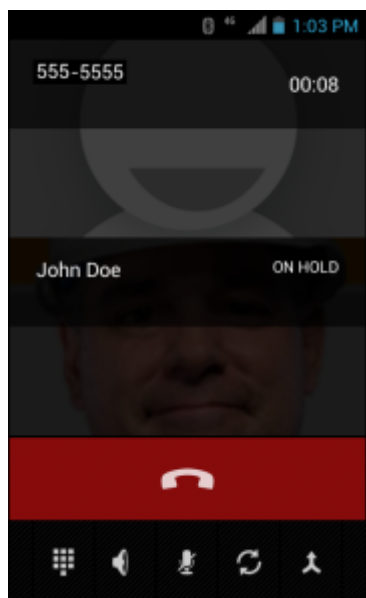
注: 一部のサービスでは、会議通話機能を使用できないことがあります。また、会議通話の数が異なることがあります。会議通話機能を使用できるかどうかについては、サービスプロバイダにお問い合わせください。

手順

- 1  ホーム画面で をタッチします。
- 2  ダイヤラの上にある タブをタッチします。
- 3 キーをタッチし、電話番号を入力します。
- 4  ダイヤラの下にある をタッチし、通話を開始します。
- 5  電話が接続された時点で、 をタッチします。
最初の通話が保留になります。
- 6 キーをタッチし、2 番目の電話番号を入力します。
- 7  ダイヤラの下にある をタッチし、通話を開始します。

- 8 電話がつながると、最初の通話が保留になり、2 番目の通話が有効になります。

図 58: 2 つの通話




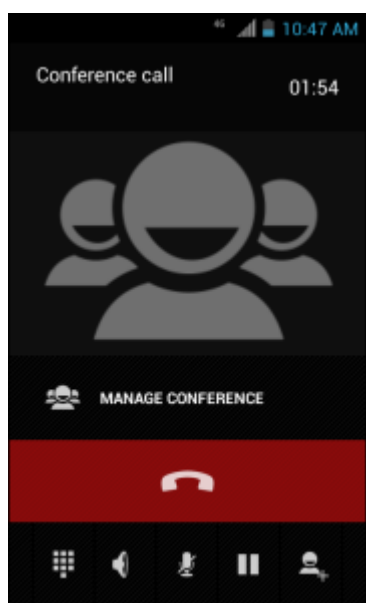



- 9  アイコンをタッチし、3 者による会議通話を作成します。

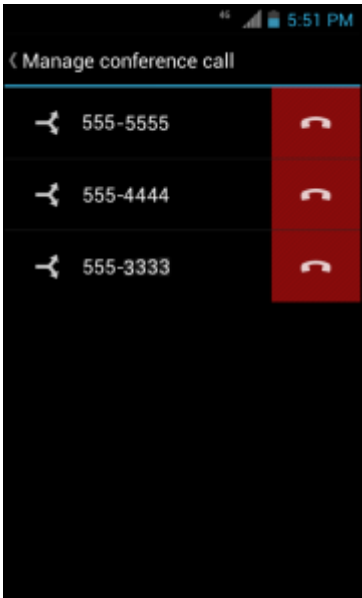
図 59: 通話の結合




- 10 別の通話を追加するには、 をタッチします。
会議が保留になります。
- 11 キーをタッチし、2 番目の電話番号を入力します。
- 12  をタッチし、通話を開始します。
- 13 3 番目の通話を会議に追加するには、 アイコンをタッチします。


14 [Manage Conference] (会議の管理) をタッチし、すべての通話者を表示します。

図 60: 通話の結合解除



15 会議から 1 人の通話者を除外するには、その通話者の隣にある  をタッチします。



注: 会議通話の最中に 1 人の通話者とのみプライベートの話をするには、[Manage Conference] (会議の管理) をタッチし、目的の通話者をタッチします。すべての通話先相手を再度参加させるには、 をタッチします。

Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかける

手順

- Bluetooth ヘッドセットをデバイスとペアリングします。
- Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。
Bluetooth ヘッドセットから「Speak now」と聞こえ、[Voice Dialer] (ボイス ダイヤラ) 画面が表示されます。
- コマンドを音声で伝えます。

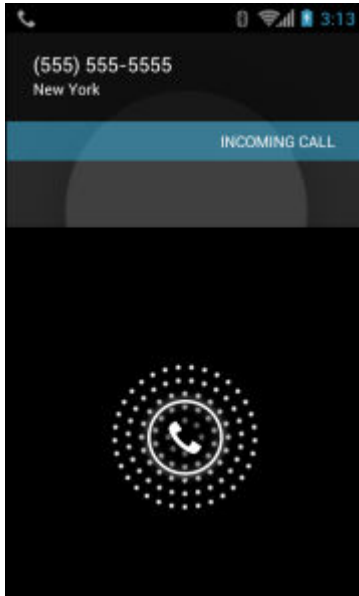
条件 ...	対処 ...
名前で連絡先に電話をかける。	「Call (名前)」と発声します。
番号で電話をかける。	「Dial (番号)」と発声します。
ボイスメールを送る。	「Call voicemail」と発声します。
過去の発信者に電話をかける。	「Redial」と発声します。

- 通話を終了するには、Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。

通話への応答

電話がかかってきたとき、**[Incoming Call] (着信)** 画面が開き、発信者 ID と **[People] (連絡先一覧)** アプリケーション内にある発信者に関する追加情報が表示されます。

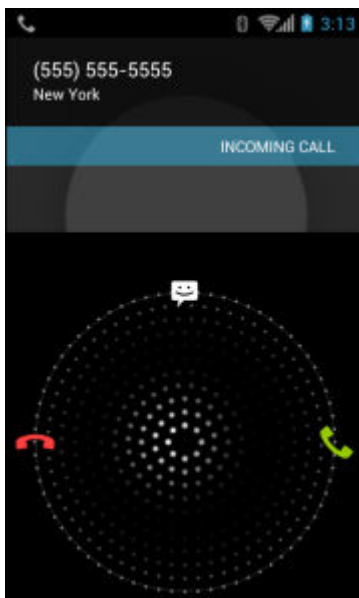
図 61: **[Incoming Call] (着信)** 画面






すべての着信は、**電話**アプリケーションの **[Call log] (コール ログ)** タブで記録されます。電話に出られない場合、通知を受信します。電話に応答する前に着信音を無音にするには、デバイスの横にある音量を下げるボタンを押します。

着信したときは、白い電話アイコンをタッチし、次のいずれかのアイコンまでスライドします。

図 62: **[Select Answer] (応答の選択)** オプション

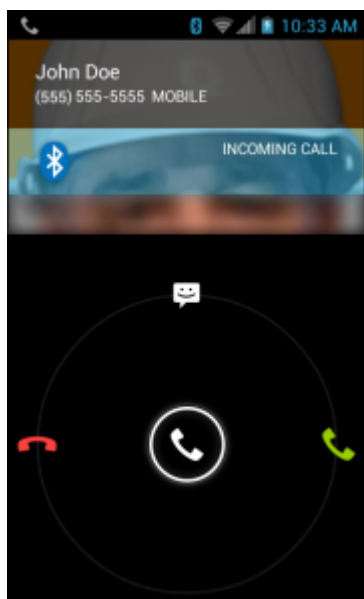


-  [Answer call] (通話に応答) - 発信者との通話を開始します。
-  [Send to voice mail] (音声メールに転送) - 音声メール メッセージを残すように発信者に依頼します。
-  [Send a message] (メッセージを送信) - クイック テキスト応答のリストを開きます。いずれかをタッチし、発信者に直ちに送信します。

Bluetooth ヘッドセットを使用して電話に応答する

電話がかかってきたとき、[Incoming Call] (着信) 画面が開き、発信者 ID と [People] (連絡先一覧) アプリケーション内にある発信者に関する追加情報が表示されます。

図 63: [Incoming Call] (着信) 画面



すべての着信は、電話アプリケーションの [Call log] (コール ログ) タブで記録されます。電話に出られない場合、通知を受信します。電話に応答する前に着信音を無音にするには、デバイスの横にある音量を下げるボタンを押します。

着信したときは、Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押して応答します。

通話を終了するには、Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。

通話設定



注: すべての構成ですべてのオプションが使用できるわけではありません。

通話設定を使用して、通話機能に関連したオプションを変更します。

- 着信音
 - [Phone ringtone] (着信音) - タッチして、着信したときに鳴る着信音を選択します。

- **[Vibrate when ringing] (着信音が鳴るときにバイブレーション)** - オンにすると、電話を受けたときにデバイスが振動します。
- **その他の通話設定**
 - **[Ringtone Settings] (着信音の設定)** - Bluetooth ヘッドセットを使用するとき、着信音が聞こえるパスを選択します。オプション: **[Bluetooth]** または **[Speaker and Bluetooth] (スピーカおよび Bluetooth)** (デフォルト)。注: このオプションを設定するには、Bluetooth ヘッドセット接続が必要です。
 - **[Voicemail] (ボイスメール)** - タッチして、ボイスメール設定を行います。
 - + **[Service] (サービス)** - ボイスメール サービスにサービス プロバイダまたはその他のプロバイダを設定します。
 - + **[Setup] (設定)** - タッチして、ボイスメールにアクセスするために使用する電話番号を更新します。
 - + **[Ringtone] (着信音)** - タッチして、ボイスメールを受信したときに鳴る着信音を選択します。
 - + **[Vibrate] (マナーモード)** - タッチして、マナーモード オプションを選択します。オプション: **[Always] (常時)**、**[Only when silent] (サイレントの場合のみ)**、または **[Never] (なし)** (デフォルト)。
 - **[Text message service center] (テキスト メッセージ サービス センター)** - タッチして、テキスト メッセージにアクセスするために使用する電話番号を更新します。
 - **[Dial pad touch tones] (ダイヤルパッド タッチ操作音)** - オンにすると、電話キーにタッチしたときに音が鳴ります。
 - **[Quick responses] (クイック レスポンス)** - タッチして、通話に応答する代わりに使用するクイック レスポンスを編集します。
 - **[Fixed Dialing Numbers] (発信先固定)** - Fixed Dialing (発信先固定) では、**[Fixed Dialing] (発信先固定)** リストに指定された電話番号または市外局番以外をダイヤルできないように電話を制限することができます。
 - **[TTY/HAC mode] (TTY/HAC モード)** - タッチして、TTY/HAC 設定を行います。TC55 に付属するオプションのテレタイプライタ (TTY) デバイスを使用して、通話の送受信を行います。TTY デバイスのプラグを TC55 のヘッドセット ジャックに接続して、TC55 がいずれかの TTY モードで動作するように設定します (TC55AH および TC55BH のみ)。




注:

TSB-121 準拠ケーブル (TTY メーカー製) を使用して、TTY デバイスを TC55 に接続します。

正しく動作させるためには、TC55 の音量を中間レベルに設定します。誤った文字の数が多い場合は、エラー率を最小限にするために音量を必要に応じて調整してください。

最適なパフォーマンスを得るためには、TC55 は TTY デバイスから 30cm (12 インチ) 以上離れている必要があります。TC55 と TTY デバイスの距離が近すぎると、エラー率が高くなる場合があります。

- + **[TTY/HAC off] (TTY/HAC オフ)** (デフォルト) - TTY および HAC をオフにします。
- + **[TTY Full] (TTY フル)** - TTY 文字を送受信します。
- + **[TTY HCO] - TTY 文字を送信しますが、受信はイヤホンで聞くことによって行います。**
- + **[TTY VCO] - TTY 文字を受信しますが、送信はマイクで話すことによって行います。**
- + **[HAC On] (HAC オン)** - 補聴器互換性 (HAC) をオンにします。  アイコンがステータス バーに表示されます。
- **[TTY mode] (TTY モード)** - タッチして、TTY 設定を行います。TC55 に付属するオプションのテレタイプライタ (TTY) デバイスを使用して、通話の送受信を行います。TTY デバイスのプラグを TC55 のヘッドセット ジャックに接続して、TC55 がいずれかの TTY モードで動作するように設定します (TC55CH のみ)。


**注:**

TSB-121 準拠ケーブル (TTY メーカー製) を使用して、TTY デバイスを TC55 に接続します。

正しく動作させるためには、TC55 の音量を中間レベルに設定します。誤った文字の数が多い場合は、エラー率を最小限にするために音量を必要に応じて調整してください。

最適なパフォーマンスを得るためには、TC55 は TTY デバイスから 30cm (12 インチ) 以上離れている必要があります。TC55 と TTY デバイスの距離が近すぎると、エラー率が高くなる場合があります。

- + **[TTY off] (TTY オフ)** (デフォルト) - TTY をオフにします。
- + **[TTY Full] (TTY フル)** - TTY 文字を送受信します。
- + **[TTY HCO]** - TTY 文字を送信しますが、受信はイヤホンで聞くことによって行います。
- + **[TTY VCO]** - TTY 文字を受信しますが、送信はマイクで話すことによって行います。

- **[Hearing aids] (補聴器)** - 補聴器互換性 (HAC) をオンにします。  アイコンがステータス バーに表示されます (TC55CH のみ)。

- **[DTMF tones] (DTMF トーン)** - タッチして、DTMF トーンの長さを設定します。オプション: **[Normal] (通常)** (デフォルト) または **[Long] (長)**。

- **[GSM call settings] (GSM 通話設定)** - (TC55AH および TC55BH のみ)

- + **[Call forwarding] (自動転送)** - 自動転送を使用して、着信を別の電話番号に転送します。



注: 自動転送は、すべてのネットワークで利用できるわけではありません。利用できるかどうかについては、サービスプロバイダに確認してください。

- **[Always forward] (常に転送)** - すべての通話を別の電話番号に転送するように設定します。
- **[Forward when busy] (ビジーのとき自動転送)** - 回線がビジーのときのみ通話を転送する電話番号を入力します。
- **[Forward when unanswered] (応答なしのとき自動転送)** - 電話に応答がないときのみ通話を転送する電話番号を入力します。
- **[Forward when unreachable] (圏外のとき自動転送)** - 電話がオフのときまたはユーザーが圏外にいるときのみ通話を転送する電話番号を入力します。
- + **[Call barring] (発着信制限)** - 発着信制限を使用して、特定のタイプの着信および発信をブロックします。ブロックする着信および発信のタイプを選択します。
- + **追加設定**
 - **[Caller ID] (発信者 ID)** - 発信者 ID により発信しているのが誰なのかを特定できます。オプション: **[Network default] (ネットワークのデフォルト)** (デフォルト)、**[Hide number] (番号を非表示にする)**、**[Show number] (番号の表示)**。
 - **[Call waiting] (割込通話)** - オンにすると有効になります。

• **[CDMA call settings] (CDMA 通話設定)** (TC55CH のみ)

- **[Voice privacy] (音声プライバシー)** - 強化されたプライバシー モードを有効にします。

• **インターネット通話設定**

- **[Accounts] (アカウント)** - デバイスに追加されたアカウントのインターネット通話を受信する、SIP アカウントを表示または変更する、またはインターネット通話アカウントを追加する場合に選択します。
- **[Use Internet calling] (インターネット通話の使用)** - すべての通話にインターネット通話を使用するか、またはインターネット通話アドレスへの通話にのみ使用するか (デフォルト設定)、または通話ごとに確認します。Wi-Fi ネットワークに接続していて、インターネット通話を使用するデバイスにインターネット通話アカウントが追加されている必要があります。

第4章

アプリケーション

このセクションでは、デバイスにインストールされているアプリケーションについて説明します。

ファイル ブラウザ

ファイル ブラウザ アプリケーションを使用して、デバイス上のファイルを表示および管理します。





[File Browser] (ファイル ブラウザ) を開くには、 >  をタッチします。


図 64: ファイル ブラウザの画面




アドレス バー (1) に、現在のフォルダのパスが表示されます。パスとフォルダ名を手動で入力するには、現在のフォルダのパスをタッチします。

複数のファイル/フォルダを選択するには、 (2) をタッチします。


内部ストレージのルート フォルダを表示するには、 (3) を使用します。








microSD カードのルート フォルダを表示するには、 (4) を使用します。

前のフォルダを表示するか、アプリケーションを終了させるには、 (5) を使用します。

項目に何らかの操作を行うには、その項目をタッチして、その状態を維持します。[File Operations] (ファイル操作) メニューの次のオプションから 1 つを選択します。


- [Information] (情報) - ファイルまたはフォルダについての詳細情報を表示します。
- [Move] (移動) - ファイルまたはフォルダを新しい場所に移動します。
- [Copy] (コピー) - 選択したファイルをコピーします。
- [Delete] (削除) - 選択したファイルを削除します。
- [Rename] (名前変更) - 選択したファイルを名前変更します。
- [Open as] (次のタイプとして開く) - 選択したファイルを特定のファイルタイプとして開きます。
- [Share] (共有) - ファイルを他のデバイスと共有します。

追加機能を開くには、 をタッチします。

- 現在のフォルダ内に新しいフォルダを作成するには、 > [New Folder] (新しいフォルダ) をタッチします。
- ファイルまたはフォルダを検索するには、 > [Search] (検索) をタッチします。
- リストを名前、タイプ、サイズ、または日付ごとに分類するには、 > [Sort] (分類) をタッチします。
- 現在のフォルダの内容を再表示するには、 > [Refresh] (最新表示) をタッチします。
- フォルダの表示方法をタイルからリスト形式に変更するには、 > [List View] (リスト表示) をタッチします。
- [Large] (大)、[Normal] (中)、または [Small] (小) など、アイコンのサイズを変更するには、 > [Change Size] (サイズの変更) をタッチします。
- アプリケーションのバージョン情報を表示するには、 > [About File Browser] (ファイルブラウザのバージョン情報) をタッチします。

Messaging (メッセージング)

SMS と MMS の各メッセージを送受信するには、[Messaging] (メッセージング) を使用します。ホーム画面

または [All Apps] (すべてのアプリケーション) 画面で、 をタッチします。

テキスト メッセージの送信

手順

1


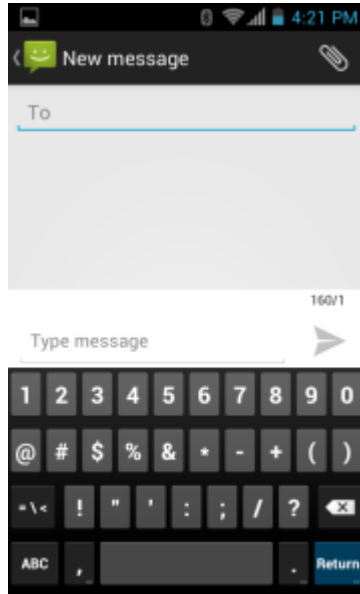

メインの [Messaging] (メッセージング) 画面で、 をタッチします。

図 65: [New Text Message] (新しいテキスト メッセージ) 画面



- 2 [To] (宛先) フィールドに、名前または携帯電話番号を入力します。
- 3 [Type message] (メッセージを入力) フィールドにテキスト メッセージを入力します。
160 文字制限カウンタに残りの文字数が表示されます。その制限を超えると、新しいメッセージが作成されます。このメッセージは、受信側で前のメッセージと結合されます。
メッセージの作成中に [Back] (戻る) ボタンを押すと、メッセージが下書きとして [Messaging] (メッセージング) 画面に保存されます。メッセージの作成を再開するには、会話をタッチします。
- 4  をタッチして、メッセージを送信します。

マルチメディア メッセージの送信

手順


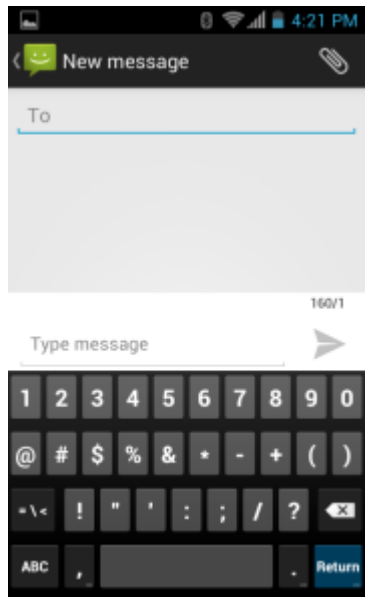
- 1
メインの [Messaging] (メッセージング) 画面で、 をタッチします。

図 66: [New Multimedia Message] (新しいマルチメディア メッセージ) 画面



2 [To] (宛先) フィールドに、名前または携帯電話番号を入力します。

3



をタッチして、選択したメディア ファイルを添付します。

- [Pictures] (画像)。添付する画像を選択します。
- [Capture picture] (画像の撮影)。カメラが開き、画像を撮影して添付します。
- [Videos] (ビデオ)。添付するビデオを選択します。
- [Capture video] (ビデオの撮影)。ビデオカメラが開き、ビデオを録画して、メッセージに添付します。
- [Audio] (オーディオ)。添付するサウンド ファイルを選択します。
- [Record audio] (音声の録音)。サウンド レコーダが開き、話されたメッセージを録音して、メッセージに添付します。
- [Slideshow] (スライドショー)。画面を開き、テキスト、画像、ビデオ、および音声録音を最大 10 枚のスライドのスライドショーにまとめてメッセージに添付します。
- [vCard]。連絡先の情報を送信します。


4



をタッチして、メッセージを送信します。


連絡先

[People] (連絡先一覧) アプリケーションを使用して連絡先を管理します。

ホーム画面または [Apps] (アプリ) 画面で、 をタッチします。[People] (連絡先一覧) が開き、連絡先のメイン リストが表示されます。連絡先は、画面の上部で、[Groups] (グループ)、[All contacts] (すべての連絡先)、[Favorites] (お気に入り) という 3 つの方法で表示できます。タブをタッチすると、連絡先の表示方法が変化します。上下にスワイプして、リストをスクロールします。



連絡先の追加

手順

- 1 **[People] (連絡先一覧)** アプリケーションで、 をタッチします。
- 2 複数の連絡先をもつ複数のアカウントがある場合は、使用するアカウントをタッチします。
- 3 連絡先の名前とその他の情報を入力します。フィールドをタッチして入力を開始し、下にスワイプしてすべてのカテゴリを表示します。
- 4 1つのカテゴリに複数のエントリを追加する場合は (個人の住所を入力した後に会社の住所を追加する場合など)、そのフィールドの **[Add new] (新規追加)** をタッチします。電子メールアドレスの **[Home] (ホーム)** または **[Work] (仕事)** など、事前に設定されたラベルが付けられたメニューを開くには、連絡先の項目の右にあるラベルをタッチします。または、独自のラベルを作成するには、メニューで **[Custom] (カスタム)** をタッチします。
- 5 **[Done] (完了)** をタッチします。



連絡先の編集

手順

- 1 **[People] (連絡先一覧)** アプリケーションで、 タブをタッチします。
- 2 編集する連絡先をタッチします。
- 3  をタッチします。
- 4 **[Edit] (編集)** をタッチします。
- 5 連絡先情報を編集します。
- 6 **[Done] (完了)** をタッチします。

連絡先の削除

手順

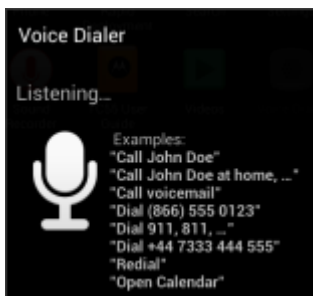
- 1 **[People] (連絡先一覧)** アプリケーションで、 タブをタッチします。
- 2 編集する連絡先をタッチします。
- 3  をタッチします。
- 4 **[Delete] (削除)** をタッチします。
- 5 **[OK]** をタッチして確定します。

ボイス ダイアラ

ボイス ダイアラは、ユーザーがデバイスを簡単に操作できるようにするための自然なヒューマン インタフェースを提供する音声ダイアログ システムです。通話、連絡先情報の検索、プログラムの起動、予定表の確認を行うことができます。

ボイス ダイアラを開始するには、**[Voice Dialer] (ボイス ダイアラ)** をタップするか、または Bluetooth ヘッドセットの **[Call] (通話)** ボタンを押します。

図 67: [Voice Dialer] (ボイス ダイヤラ) ウィンドウ



ユーザーは、以下のコマンドのいずれかを発声します。

- 「Call」 (通話)
- ダイヤル
- 「Redial」 (リダイヤル)
- 「Open」 (開く)

名前を指定した音声通話の発信

手順

- 1 ボイス ダイヤラを起動します。
- 2 「Call John Doe」と話しかけます。
- 3 [Voice Dialer] (音声ダイヤラ) ダイアログ ボックスに表示される [Call John Doe] (誰々さんに電話) をタッチします。
通話が始まります。

過去の通話のリダイヤル

手順

- 1 ボイス ダイヤラを起動します。
- 2 「Redial」と発声します。
- 3 [Voice Dialer] (ボイス ダイヤラ) ダイアログ ボックスで、[Redial] (リダイヤル) をタッチします。
通話が始まります。

数字によるダイヤル

手順

- 1 ボイス ダイヤラを起動します。
- 2 「Dial (電話番号)」と発声します。



注: 数字を言うのが早過ぎると、アプリケーションが発声内容を認識しない可能性があるので注意してください。

- 3 [Voice Dialer] (ボイス ダイヤラ) ダイアログ ボックスで、表示される数字をタッチします。
通話が始まります。

アプリケーションを開く

手順

- 1 ボイス ダイアラを起動します。
- 2 「Open (アプリケーション名)」と発声します。
- 3 **[Voice Dialer] (ボイス ダイアラ)** ダイアログ ボックスで、アプリケーション名をタッチします。
アプリケーションが開きます。

カメラ (JellyBean)

このセクションでは、内蔵デジタル カメラを使用した写真の撮影とビデオの録画について説明します。



注: microSD カードが取り付けられている場合、TC55 では、microSD カードに写真とビデオが保存されます。microSD カードが取り付けられていない場合、TC55 では、内部ストレージに写真とビデオが保存されます。

写真の撮影



注:
カメラ設定の説明については、[カメラの設定 \(ページ 90\)](#)を参照してください。

写真を撮影するには、次の手順に従います。

手順



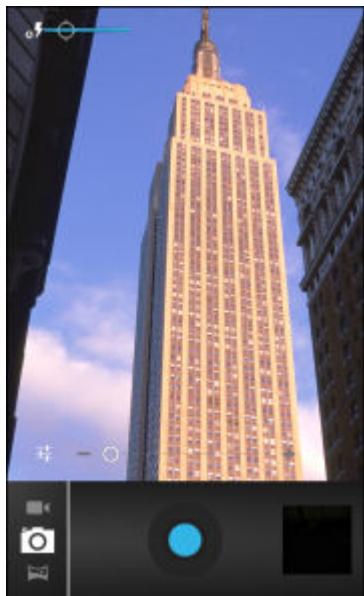



- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。

図 68: カメラ モード




- 3 必要な場合は、オプション バーをタッチし、 をタッチします。

4  をタッチし、カメラ設定を使用して露出、フラッシュ、およびその他の設定を調整します。詳細については、[カメラの設定\(ページ90\)](#)を参照してください。



5  をタッチしてズーム レベルを調整します。


6 被写体を画面のフレームに合わせます。

7  をタッチします。

カメラが自動的に画像のピントを合わせます。画像のピントが合ったら、四隅のフォーカス インジケータが緑色に変わり、カメラは写真を撮影して、シャッター音が鳴ります。



注: シャッター音を無効にするには、通知音をオフにします。  >  [Sound] (サウンド) > [Volumes] (音量) をタッチし、[Notifications] (通知) スライダを左端までスライドさせます。

または、写真を撮影する前に、 をタッチして、先にピントを合わせてから、指を離してピントの合った写真を撮影します。


撮影した写真が短時間表示された後、サムネイルとして右上隅に表示されます。


8 サムネイルをタッチすると、[Gallery] (ギャラリー) に写真が表示されます。詳細については、[ギャラリー\(ページ100\)](#)を参照してください。

パノラマ写真の撮影

パノラマ モードでは、被写体全体をゆっくりパンすることにより、1 つの幅広い画像を撮影できます。

手順

1  をタッチします。

2  をタッチします。


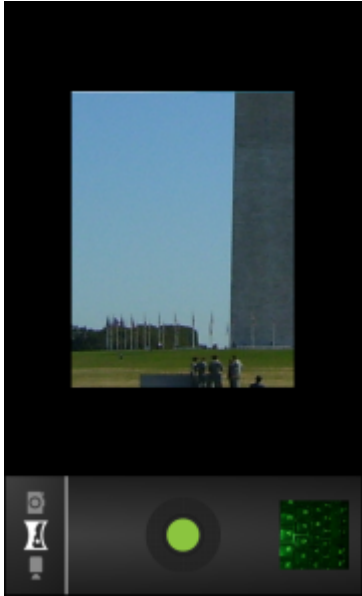


3 オプション バーをタッチして、 をタッチします。

図 69: パノラマ モード



- 4 撮影する被写体の片側をフレームに合わせます。
- 5  をタッチし、撮影する領域全体をゆっくりパンします。撮影中は、小さな白い正方形がボタン内に表示されます。
パンの速度が速すぎると、「Too fast」(速すぎます) というメッセージが表示されます。
- 6  をタッチして、撮影を終了します。直ちにパノラマが表示され、画像の保存中は進捗状況インジケータが表示されます。
- 7 サムネイルをタッチすると、[Gallery] (ギャラリー) に写真が表示されます。 [ギャラリー \(ページ100\)](#) を参照してください。

ビデオの録画

ビデオを録画するには、次の手順に従います。

手順










- 1  >  の順にタッチします。
- 2 オプション バーをタッチして、 をタッチします。

図 70: ビデオ モード
















- 3  をタッチし、ビデオ設定を使用して露出、フラッシュ、およびその他の設定を調整します。詳細については、[ビデオの設定 \(ページ 91\)](#) を参照してください。
- 4  をタッチしてズーム レベルを調整します。
- 5 カメラとフレームを被写体に向けます。
- 6  をタッチして、録画を開始します。
デバイスがビデオの録画を開始します。ビデオの残り時間が画面の左上に表示されます。
- 7  をタッチして、録画を終了します。
 注: 以前に録画したビデオは右上のサムネイルに表示されます。
- 8 サムネイルにタッチすると、[Gallery] (ギャラリー) アプリケーションにアクセスできます。[ギャラリー \(ページ 100\)](#) を参照してください。

カメラの設定


カメラモードの場合は、[Camera] (カメラ) 設定が画面に表示されます。変更する設定に対応する  をタッチします。


 をタッチして、カメラ設定のオプションを表示します。











-  [Settings] (設定) - タッチすると、次の設定が表示されたスクローリング リストが開きます。
 - [Store location] (場所の保存) - デバイスのグローバル ポジショニング システム (GPS) を使用して、各写真に場所情報を組み込みます。オプション: [On] (オン) または [Off] (オフ) (デフォルト)。

- **[Picture size] (写真サイズ)** - タッチして、写真のサイズ (ピクセル単位) を設定します。オプション: **[8M pixels] (8M ピクセル)** (デフォルト)、**[5M pixels] (5M ピクセル)**、**[3.2M pixels] (3.2M ピクセル)**、**[2M pixels] (2M ピクセル)**、**[1M pixels] (1M ピクセル)**、**[VGA] (VGA)**、または **[QVGA] (QVGA)**。
- **[Picture quality] (画質)** - タッチして、写真画質の設定を選択します。オプション: **[最高画質]** (デフォルト)、**[高画質]**、または **[ノーマル]**。
- **[Focus Mode] (フォーカス モード)** - タッチして、カメラのフォーカス設定を選択します。オプション: **[Continuous] (連続)**、**[Macro] (マクロ)**、**[Infinity] (無限遠)**、または **[Auto] (自動)** (デフォルト)。
- **[Select ISO] (ISO の選択)** - カメラの感光性を設定します。オプション: **[ISO Auto] (ISO 自動)** (デフォルト)、**[ISO100]**、**[ISO200]**、**[ISO400]**、**[ISO800]**。
- **[ZSL]** - ボタンが押されたときに、カメラが直ちに写真を撮影するように設定します。オプション: **[On] (オン)** または **[Off] (オフ)** (デフォルト)。
- **[Shutter sound] (シャッター音)** - タッチして、ユーザーがカメラ ボタンを押したときに発生する音を設定します。オプション: **[On] (オン)** または **[Off] (オフ)** (デフォルト)。
- **[Restore defaults] (初期設定に戻す)** - **[Restore defaults] (初期設定に戻す)** をタッチすると、すべてのカメラ設定が初期設定値に戻ります。
- **SCN [Scene mode] (シーン モード)** - タッチして、特定のシーンに合わせて事前に作成されているカメラ設定の組み合わせを選択します。オプション: **[Auto] (自動)** (デフォルト)、**[Night] (夜間)**、**[Portrait] (縦置き)**、**[Landscape] (横置き)**、**[Steady Photo] (静止画像)** または **[Sports] (スポーツ)**。
-  **[Exposure] (露出)** - タッチして、露出設定を調整します。オプション: **+3**、**+2**、**+1**、**0** (デフォルト)、**-1**、**-2**、または **-3**。
-  **[White balance] (ホワイト バランス)** - タッチして、最も自然な色調になるように、光の加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 -  **[Auto] (自動)** - ホワイト バランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 -  **[Incandescent] (白熱灯)** - 白熱灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Daylight] (昼光)** - 昼光に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Fluorescent] (蛍光灯)** - 蛍光灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Cloudy] (曇り)** - 曇天の環境に適するようにホワイト バランスを調整します。
-  **[Flash mode] (フラッシュ モード)** - タッチして、背面カメラが露出計を使用してフラッシュが必要かどうかを判別するか、あるいは、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
 -  **[Auto] (自動)** - 露出計に従って、カメラが自動的にフラッシュを調整します。
 -  **[On] (オン)** - 写真を撮影するときにフラッシュが有効になります。
 -  **[Off] (オフ)** - フラッシュを無効にします (デフォルト)。
 -  **[Torch] (トーチ)** - 継続的にフラッシュをオンにします。

ビデオの設定

ビデオ モードの場合は、**[Video] (ビデオ)** 設定が画面に表示されます。変更する設定に対応する  をタッチします。

 をタッチして、ビデオ設定のオプションを表示します。

-  **[Settings] (設定)** - タッチすると、次の設定が表示されたスクローリング リストが開きます。
 - **[Store location] (場所の保存)** - デバイスのグローバル ポジショニング システム (GPS) を使用して、各写真に場所情報を組み込みます。オプション: **[On] (オン)** または **[Off] (オフ)** (デフォルト)。
 - **[Restore defaults] (初期設定に戻す)** - **[Restore defaults] (初期設定に戻す)** をタッチすると、すべてのビデオ設定が初期設定値に戻ります。
- **[Video quality] (ビデオ画質)** - タッチして、次のビデオ画質を選択します。
 - **[HD 1080p]** - 高解像度 1080p。
 - **[HD 720p]** - 高解像度 720p。
 - **[SD 480p]** - 標準解像度 480p。
- **[Time lapse interval] (コマ送り間隔)** - タッチして、コマ送り写真のフレーム レートを設定するための時間間隔を選択します。オプション: **[Off] (オフ)** (デフォルト)、**[1s]**、**[1.5s]**、**[2s]**、**[2.5s]**、**[3s]**、**[5s]**、または **[10s]**。
-  **[White balance] (ホワイト バランス)** - タッチして、最も自然な色調になるように、光の加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 -  **[Auto] (自動)** - ホワイト バランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 -  **[Incandescent] (白熱灯)** - 白熱灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Daylight] (昼光)** - 昼光に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Fluorescent] (蛍光灯)** - 蛍光灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Cloudy] (曇り)** - 曇天の環境に適するようにホワイト バランスを調整します。
-  **[Flash mode] (フラッシュ モード)** - タッチして、背面カメラが露出計を使用してフラッシュが必要かどうかを判別するか、あるいは、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
 -  **[On] (オン)** - 写真を撮影するときにフラッシュが有効になります。
 -  **[Off] (オフ)** - フラッシュを無効にします (デフォルト)。

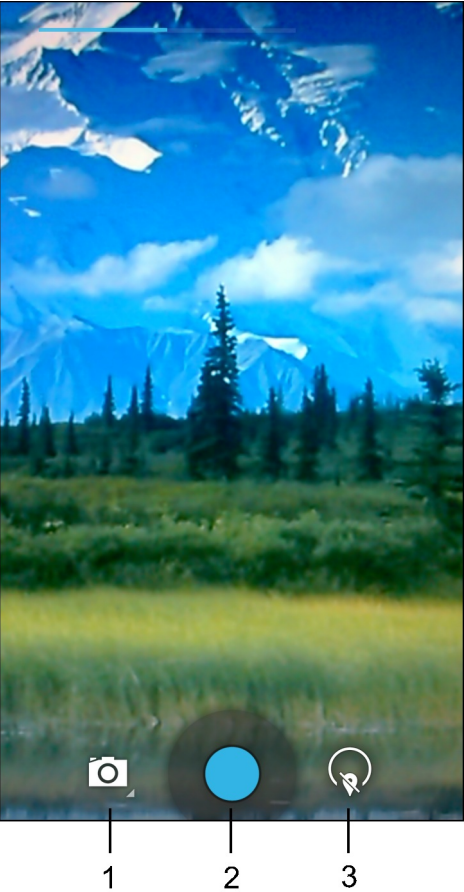
カメラ (KitKat)

このセクションでは、内蔵デジタル カメラを使用した写真の撮影とビデオの録画について説明します。



注: microSD カードが取り付けられている場合、TC55 は microSD カードに写真とビデオを保存します。microSD カードが取り付けられていない場合、TC55 は内部ストレージに写真とビデオを保存します。

図 71: [Camera Photo] (カメラでの撮影) 画面



1	[Camera Options] (カメラのオプション) — タッチして、カメラ、ビデオ、またはパノラマ モードを選択します。
2	[Shutter button] (シャッター ボタン) - タッチして、写真またはパノラマ写真を撮影したり、ビデオを録画したりします。
3	[Photo Settings] (写真設定) – タッチして、カメラ設定を選択します。

写真の撮影



注:
カメラ設定の説明については、[TC55 写真設定 \(ページ98\)](#)を参照してください。

手順



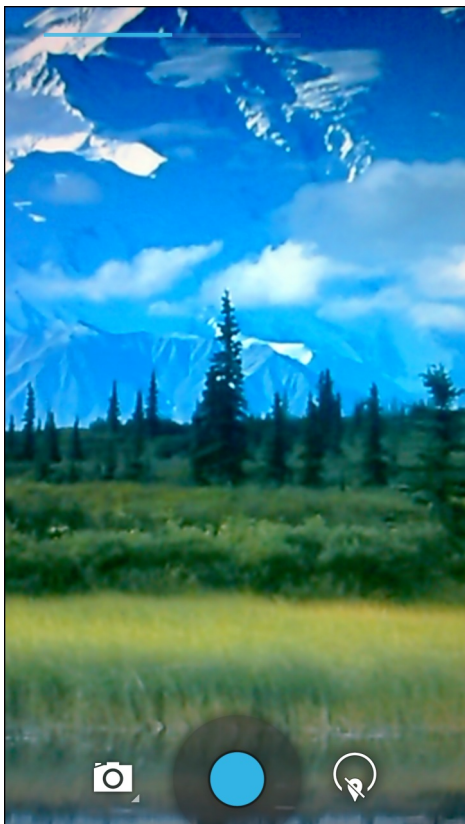
- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。

図 72: カメラ モード




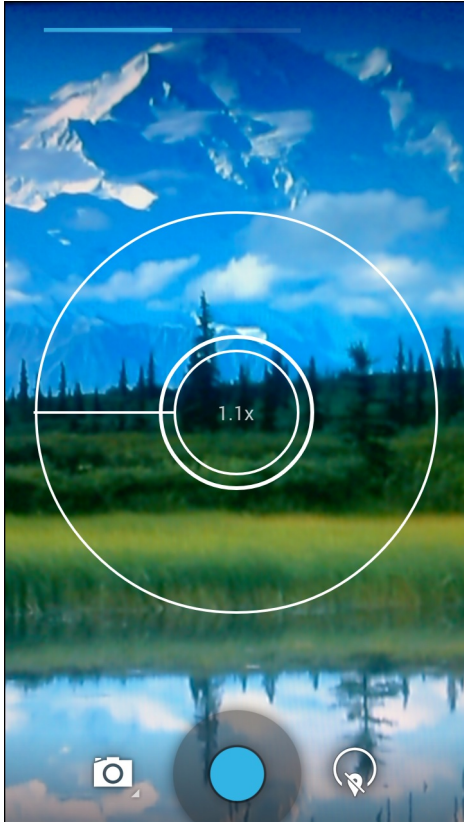
- 3 必要に応じて、カメラのオプションアイコンをタッチして、 をタッチします。
- 4 被写体を画面のフレームに合わせます。
- 5 ズームインまたはズームアウトを行うには、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、離したりします。ズームを操作するオプションが画面に表示されます。

図 73: カメラのズーム



6 フォーカスする画面の領域をタッチします。フォーカス用の円が画面に表示されます。ピントが合うと、2本の水平バーが緑色に変わります。

7 ●をタッチします。

カメラで写真が撮影され、シャッター音が鳴ります。

または、写真を撮影する前に、●をタッチして、先にピントを合わせてから、指を離してピントの合った写真を撮影します。

撮影した写真は短時間、サムネイルとして右上隅に表示されます。

パノラマ写真の撮影

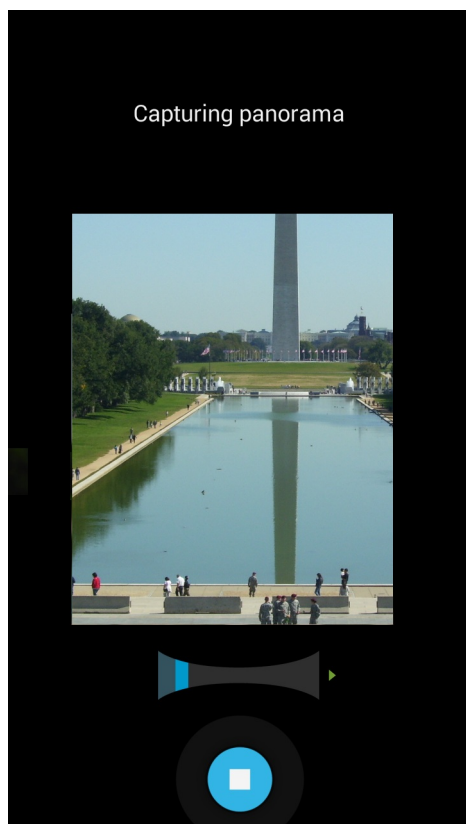
パノラマモードでは、被写体全体をゆっくりパンすることにより、1つの幅広い画像を撮影できます。




手順

1  をタッチします。

2  をタッチします。

図 74: パノラマ モード



- 3 オプション バーをタッチして、 をタッチします。
- 4 撮影する被写体の片側をフレームに合わせます。
- 5  をタッチし、撮影する領域全体をゆっくりパンします。撮影中は、小さな白い正方形がボタン内に表示されます。
パンの速度が速すぎると、「Too fast」 (速すぎます) というメッセージが表示されます。
- 6  をタッチして、撮影を終了します。直ちにパノラマが表示され、画像の保存中は進捗状況インジケータが表示されます。

ビデオの録画

ビデオを録画するには、次の手順に従います。

手順



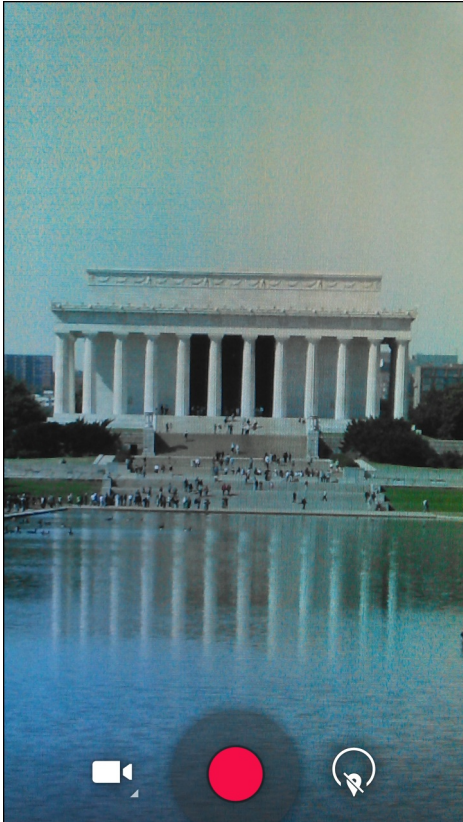
- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。

図 75: ビデオ モード




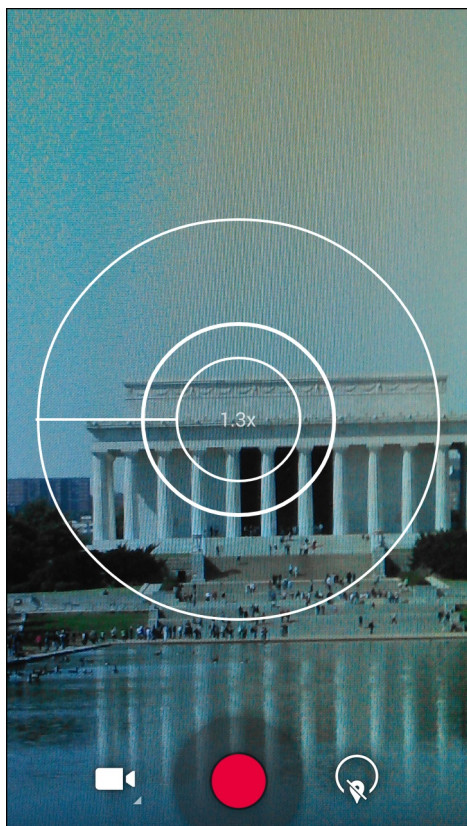
- 3 オプション バーをタッチして、 をタッチします。
- 4 カメラとフレームを被写体に向けます。
- 5 ズームインまたはズームアウトを行うには、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、離したりします。ズームを操作するオプションが画面に表示されます。

図 76: カメラのズーム



- 6 ● をタッチして、録画を開始します。

デバイスがビデオの録画を開始します。ビデオの残り時間が画面の左上に表示されます。

- 7 ◼ をタッチして、録画を終了します。

撮影したビデオは短時間、サムネイルとして右上隅に表示されます。

TC55 写真設定

写真モードの場合は、写真設定が画面に表示されます。☰ をタッチして、写真設定のオプションを表示します。

☰ をタッチして、写真設定のオプションを表示します。










図 77: 背面の写真設定オプション



- ・ 最初に ☰ をタッチすると、以下のオプションが表示されます。
 - [Store location] (場所の保存) - 画像メタデータの一部として写真が撮影された場所を保存するようにカメラを設定します (デフォルトでは無効)。
 - [Picture size] (写真サイズ) - タッチして、写真のサイズ (ピクセル単位) を設定します。オプション: [8M pixels] (8M ピクセル) (デフォルト)、[5M pixels] (5M ピクセル)、[3M pixels] (3M ピクセル)、[2M pixels] (2M ピクセル)、[1M pixels] (1M ピクセル)、[VGA] または [QVGA]。

- **[Select Picture Format] (ピクチャ形式を選択)** - タッチして、写真の形式を設定します。オプション: **[Jpeg]** (デフォルト)、**[RAW] (未加工)** または **[YUV420SP]**。
- **[Picture quality] (画質)** - タッチして、写真画質の設定を選択します。オプション: **[最高画質]** (デフォルト)、**[高画質]**、または **[ノーマル]**。
- **[ZSL]** - ボタンが押されたときにカメラが直ちに写真を撮影するように設定します (デフォルトでは無効)。

- 次に  をタッチすると、以下のオプションが表示されます。



- **[Scene mode] (シーンモード)** - タッチして、特定のシーンに合わせて作成されたカメラ設定の組み合わせを事前を選択します。オプション: **[Auto] (自動)** (デフォルト)、**[Night] (夜間)**、**[Portrait] (縦置き)**、**[Landscape] (横置き)**、**[Steady Photo] (静止画像)** または **[Sports] (スポーツ)**。
- **[Focus Mode] (フォーカスモード)** - タッチして、カメラのフォーカス設定を選択します。オプション: **[Auto] (自動)** (デフォルト)、**[Infinity] (無限遠)**、**[Macro] (接写)** または **[CAF] (連続オートフォーカス)**。
- **[Flash mode] (フラッシュモード)** - タッチして、背面カメラが露出計を使用してフラッシュが必要かどうかを判別するか、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
 - +  **[Off] (オフ)** - フラッシュを無効にします。
 - +  **[Auto] (自動)** - 露出計に従って、カメラが自動的にフラッシュを調整します (デフォルト)。
 - +  **[On] (オン)** - 写真を撮影するときにフラッシュが有効になります。
 - +  **[Torch] (トーチ)** - 継続的にフラッシュをオンにします。
- **[Exposure] (露出)** - タッチして、露出設定を調整します。オプション: **[+2]**、**[+1]**、**[0]** (デフォルト)、**[-1]** または **[-2]**。
- **[White balance] (ホワイトバランス)** - タッチして、最も自然な色調になるように、光の加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 - +  **[Incandescent] (白熱灯)** - 白熱灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 - +  **[Fluorescent] (蛍光灯)** - 蛍光灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 - +  **[Auto] (自動)** - ホワイトバランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 - +  **[Daylight] (日光)** - 日光に適するようにホワイトバランスを調整します。
 - +  **[Cloudy] (曇り)** - 曇天の環境に適するようにホワイトバランスを調整します。



TC55 ビデオ設定






ビデオモードの場合は、ビデオ設定が画面に表示されます。○をタッチして、ビデオ設定のオプションを表示します。

○をタッチして、写真設定のオプションを表示します。

図 78: ビデオ設定オプション

- 最初に  をタッチすると、以下のオプションが表示されます。
 - **[Store location] (場所の保存)** - ビデオメタデータの一部としてビデオが撮影された場所を保存するようにカメラを設定します (デフォルトでは無効)。
 - **[Flash mode] (フラッシュモード)** - 選択して、フラッシュをオンにします (デフォルトでは無効)。
- 次に  をタッチすると、以下のオプションが表示されます。

- **[Video quality] (ビデオ画質)** - タッチして、次のビデオ画質を選択します。
 - + **[HD 1080p]** - 高解像度 1080p (デフォルト)。
 - + **[HD 720p]** - 高解像度 720p。
 - + **[SD 480p]** - 標準解像度 480p。
- **[Time lapse] (時間経過)** - タッチして、コマ撮り撮影のフレーム レートを設定する時間間隔を選択します。オプション: **[Off] (オフ)** (デフォルト)。スイッチを **[ON] (オン)** にスライドし、時間間隔を設定します。
- **[White balance] (ホワイト バランス)** - タッチして、最も自然な色調になるように、光の加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 - +  **[Incandescent] (白熱灯)** - 白熱灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 - +  **[Fluorescent] (蛍光灯)** - 蛍光灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 - +  **[Auto] (自動)** - ホワイト バランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 - +  **[Daylight] (昼光)** - 昼光に適するようにホワイト バランスを調整します。
 - +  **[Cloudy] (曇り)** - 曇天の環境に適するようにホワイト バランスを調整します。
- **[Flash mode] (フラッシュ モード)** - 選択して、フラッシュをオンにします (デフォルトでは無効)。

ギャラリー



注:

デバイスでは、jpeg、gif、png、および bmp の画像形式がサポートされています。

デバイスでは、H.263、H.264、および MPEG4 シンプル プロファイルのビデオ形式がサポートされています。

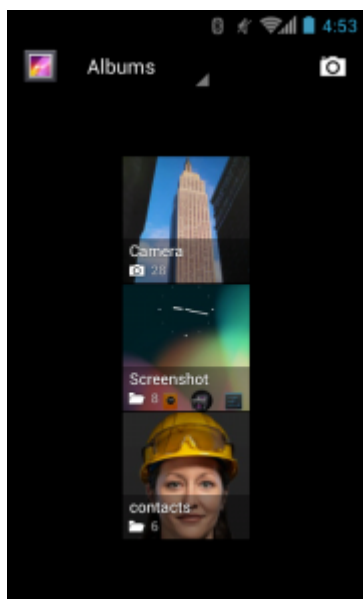
[Gallery] (ギャラリー) を使用して、次を行えます。


- 写真を表示する
- ビデオを再生する
- 写真の基本編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

Gallery (ギャラリー) アプリケーションを開くには、 >  をタッチするか、カメラ アプリケーションで右上のサムネイル画像をタッチします。

[Gallery] (ギャラリー) には、microSD カードに保存されたすべての写真とビデオが表示されます。

図 79: [Gallery] (ギャラリー) - アルバム



- アルバムにタッチすると、アルバムが開き、コンテンツが表示されます。アルバム内の写真とビデオは時系列で表示されます。
- アルバム内の写真かビデオにタッチすると、それが表示されます。
-  アイコン (左上隅) をタッチすると、メインの [Gallery] (ギャラリー) 画面に戻ります。

アルバムの処理

アルバムには、画像やビデオがフォルダに分類されています。アルバムにタッチして、開きます。写真やビデオは時系列のグリッド表示でリストされます。アルバムの名前は画面の上部に表示されます。




図 80: アルバム内の写真



左右にスワイプすると、画面間で画像をスクロールできます。




アルバムの共有

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてその状態を維持します。
- 4 必要に応じて、他のアルバムをタッチします。
- 5  をタッチします。[Share] (共有) メニューが開きます。選択したアルバムを共有するために使用するアプリケーションをタッチします。
- 6 選択したアプリケーションの指示に従います。

アルバム情報の取得




手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてその状態を維持します。
- 4  をタッチします。
- 5 [Details] (詳細情報) をタッチします。

アルバムの削除

microSD カードからアルバムとそのコンテンツを削除するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてその状態を維持します。
- 4 削除するその他のアルバムにチェックマークを付けます。その他のアルバムが選択されていることを確認します。
- 5  をタッチします。
- 6 [Delete selected item?] (選択した項目を削除しますか?)メニューで、[OK] をタッチしてアルバムを削除します。

写真の処理

[Gallery] (ギャラリー) を使用して、microSD カード内の写真を表示し、写真の編集および共有を行います。

写真の表示およびブラウズ

写真を表示するには、次の手順に従います。

手順



- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 写真をタッチします。


図 81: 写真の例



- 5 アルバム内の次の写真または前の写真を表示するには、左または右にスワイプします。
- 6 デバイスを回転させると、写真が縦向き (ポートレート) または横向き (風景) で表示されます。写真は新しい向きで表示されます (保存は行われません)。
- 7 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
- 8 画面をダブルタップしてズームインするか、2本の指を画面において指の間隔を狭めたり、離したりして、ズームインやズームアウトを行います。
- 9 写真の見えない部分を表示するには、写真をドラッグします。

写真の回転

手順

- 1 写真をタッチして、コントロールを表示します。
- 2  をタッチします。
- 3 **[Rotate Left] (左に回転)** または **[Rotate Right] (右に回転)** をタッチします。
写真は新しい方向で自動的に保存されます。

写真のトリミング

手順

- 1 **[Gallery] (ギャラリー)** で、写真をタッチしてコントロールを表示します。


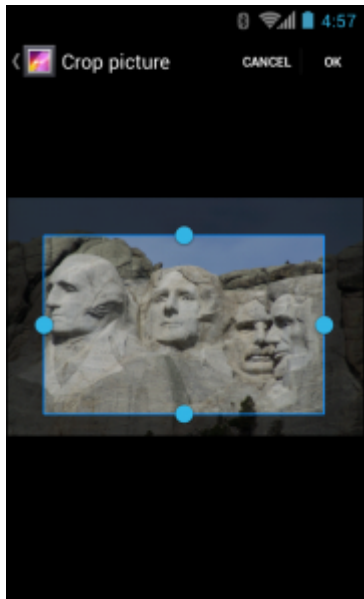
- 2  をタッチします。
- 3 **[Crop] (トリミング)** をタッチします。青色のトリミング ツールが表示されます。
- 4 トリミング ツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
 - トリミング ツールの内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。
 - トリミング ツールの縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。
 - トリミング ツールの角をドラッグすると、トリミング部分が一定の比率でサイズ変更されます。




図 82: トリミング ツール



- 5 **[OK] [Save] (保存)** をタッチして、トリミングした写真のコピーを保存します。元のバージョンは保持されます。




連絡先アイコンとしての写真の設定

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 写真にタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。
- 6 **[Set picture as] (写真の設定)** をタッチします。
- 7 **[Contact photo] (連絡先用の写真)** をタッチします。
- 8 **[People] (連絡先一覧)** アプリケーションで、連絡先をタッチします。
- 9 青色のボックスをタッチし、写真を適切にトリミングします。
- 10 **[OK]** をタッチします。




写真情報の取得

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 写真にタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。
- 6 **[Details] (詳細情報)** をタッチします。
- 7 **[Close] (閉じる)** をタッチします。

写真の共有

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 写真にタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。
- 6 選択した写真を共有するために使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージに写真が添付されます。

写真の削除

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 写真にタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。
- 6  をタッチします。
- 7 **[Delete] (削除)** をタッチします。
- 8 **[OK]** をタッチして、写真を削除します。

ビデオの処理

[Gallery] (ギャラリー) を使用して、microSD カード内のビデオを表示し、ビデオを共有します。

ビデオの再生

手順



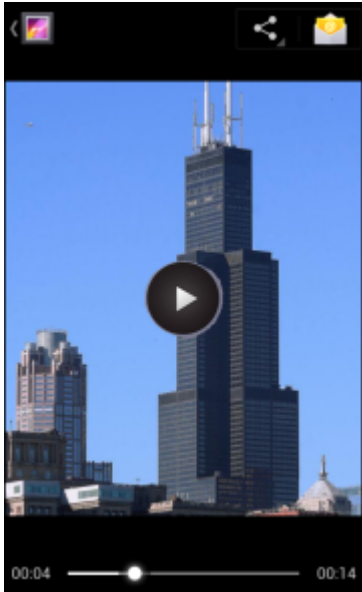

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 ビデオにタッチします。




図 83: ビデオの例



- 5  をタッチします。ビデオの再生が開始されます。
- 6 画面をタッチすると、再生コントロールが表示されます。

ビデオの共有

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 ビデオにタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。[Share] (共有) メニューが表示されます。
- 6 選択したビデオを共有するために使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージにビデオが添付されます。

ビデオの削除

手順

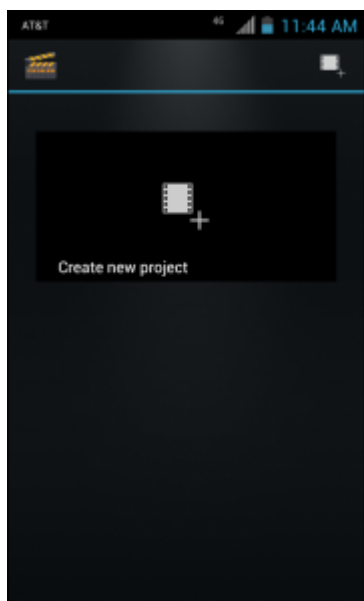
- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 アルバムにタッチして、開きます。
- 4 ビデオにタッチして、開きます。
- 5  をタッチします。
- 6  をタッチします。
- 7 [Delete] (削除) をタッチします。
- 8 [OK] をタッチします。

Movie Studio

Movie Studio は、ビデオ編集アプリケーションです。ビデオや写真を撮影またはアップロードすると、Movie Studio が自動的に音楽とエフェクトを追加して、美しく編集されたムービーに変換してくれます。Movie Studio は次のような機能を備えています。

- デバイスからビデオ、写真、音楽の各ファイルを選択します。
- ビデオ クリップの切り取りと編集を行います。
- ビデオから中間部分を削除します。
- 1 つのビデオ ファイルを複数のクリップに分割します。
- ビデオ エフェクト (フェードイン、フェードアウト、グレースケール、ネガ、スローモーション) を追加します。
- ムービーへのバックグラウンド ミュージックの追加と編集を行います。
- 複数の画像を追加してスライドショー ムービーにします。

図 84: Movie Studio アプリケーション



DataWedge デモンストレーション

データ読み取り機能のデモンストレーションを実行するには、[DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) を使用します。

図 85: [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) ウィンドウ

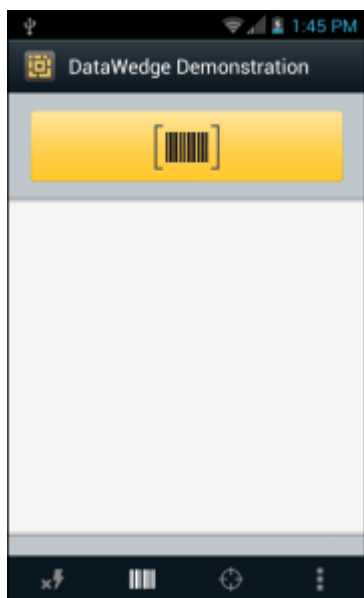
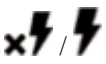





表 9: [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) のアイコン

アイコン	説明
	カメラを使用してバーコードデータを読み取るときに、フラッシュのオンとオフを切り替えます。薄暗い場所ではフラッシュを使用します。
	データ読み取り機能をイメージとカメラの間で切り替えます。デバイスにイメージが付いていない場合は、カメラ アイコンのみがアクティブになります。
	カメラを使用してバーコードデータを読み取るときに、通常のスキャン モードとピククリスト モード間で切り替えます。
	アプリケーション情報を表示するため、またはアプリケーションの DataWedge プロファイルを設定するためのメニューを開きます。



注:

DataWedge の設定の詳細については、『*TC55 Integrator Guide*』(英語) を参照してください。

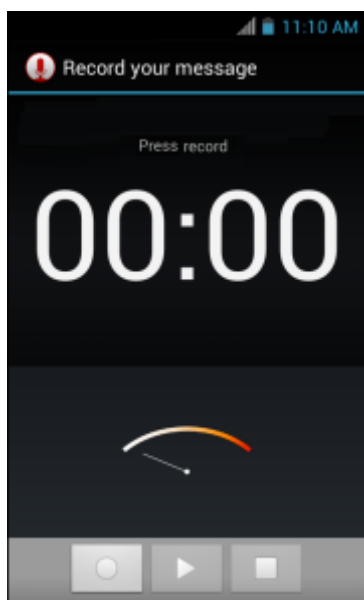
データ読み取りを有効にするには、プログラム可能ボタンを押すか、黄色のスキャン ボタンをタッチします。読み取ったデータは、黄色のボタンの下にあるテキスト フィールドに表示されます。

サウンド レコーダ

[Sound Recorder] (サウンド レコーダ) を使用して、音声メッセージを録音します。

録音は microSD カード (取り付けられている場合) または内蔵ストレージに保存され、Music アプリケーション内の "My Recordings" というタイトルの再生リストで使用できます。

図 86: サウンド レコーダ アプリケーション



Elemenez

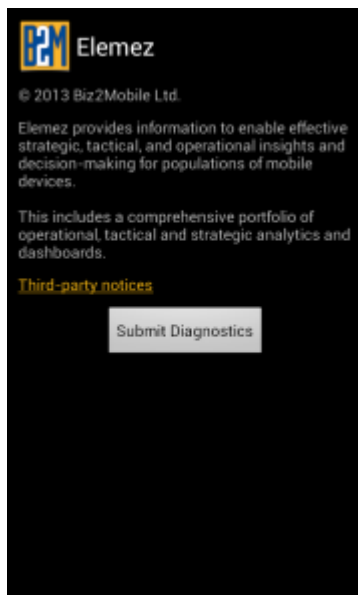


注:

Elemenez は、バックグラウンドで特定のデバイス情報を収集し、製品機能の向上に役立てる目的でその情報を送信します。この機能は無効にできます。[Elemenez データ収集の無効化 \(ページ 110\)](#)を参照してください。

Elemenez を使用して、診断 情報を Zebra に送信します。[Submit Diagnostics] (診断の送信) ボタンをタッチしてデータを送信します。



図 87: Elemenez アプリケーション



Elemenez データ収集の無効化

ユーザーは、バックグラウンドで特定のデータを収集して送信する **Elemenez** アプリケーションを無効化することができます。




手順

- 1 ホーム画面で、 をタッチします。
- 2 [Manage Apps] (アプリの管理) をタッチします。
- 3 [ALL] (すべて) タブが表示されるまで、左または右にスワイプします。
- 4 リストをスクロールし、[Elemenez] をタッチします。
- 5 [App info] (アプリ情報) 画面で、[Uninstall updates] (更新のアンインストール) をタッチします。
- 6 [Uninstall updates] (更新のアンインストール) ダイアログ ボックスで、[OK] をタッチします。
- 7 [OK] をタッチします。
- 8 アンインストールが完了した後、[OK] をタッチします。
- 9 [All] (すべて) タブで、リストをスクロールし、[Elemenez] をタッチします。
- 10 [Disable] (無効化) をタッチします。
- 11 [Disable built-in app?] (組み込みアプリを無効化しますか?) ダイアログ ボックスで、[OK] をタッチします。
- 12  をタッチします。

Elemez データ収集の有効化

ユーザーは、Elemez アプリケーションを再び有効化して、バックグラウンドで特定のデータを収集し、送信するように設定できます。

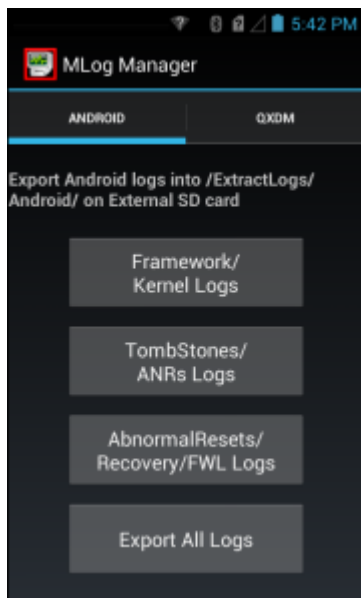
手順

- 1 ホーム画面で、☰をタッチします。
- 2 [Manage Apps] (アプリの管理) をタッチします。
- 3 [ALL] (すべて) タブが表示されるまで、左または右にスワイプします。
- 4 リストをスクロールし、[Elemez] をタッチします。
- 5 [App info] (アプリ情報) 画面で、[Enable] (有効化) をタッチします。
- 6  をタッチします。
- 7  をタッチします。
- 8  をタッチします。
- 9 [Enable Elemesz] (Elemesz の有効化) をタッチします。

MLog Manager

MLog Manager を使用して、診断用のログ ファイルを収集します。アプリケーションの設定の詳細については、『TC55 Integrator Guide』を参照してください。

図 88: MLog Manager



SimulScan デモ



注: 一部の構成では SimulScan デモを利用できません。

SimulScan アプリケーションは、SimulScan をサポートするデバイスに組み込まれた、追加設定なしのデモンストレーション アプリケーションです。アプリケーションを使用すると、郵便/運輸/物流、および製造の 2 つの最も人気がある垂直市場での使用事例を用いることで、プリセールス担当者がお客様に SimulScan の多種多様な機能を紹介できます。運輸/物流の事例では、OCR および OMR 機能を利用します。製造の事例では、MultiCode 20 機能を利用します。SimulScan では、お客様はテンプレート ビルダを使用してテンプレートを作成してから、デバイスをテストすることが可能です。

図 89: SimulScan デモのホーム画面



サンプル フォームのエクスポート

[Postal, Transportation & Logistics] (郵便、運輸、物流) または [Manufacturing] (製造) のデモを実行するために、デバイスに保存されたサンプル フォームを印刷します。

手順

- 1 [SimulScan Demo] (SimulScan デモ) アプリケーションを起動します。
- 2 [SimulScan Demo] (SimulScan デモ) のホーム画面で、[HOW TO USE THIS DEMO] (このデモの使用方法) をタッチします。
- 3 下にスクロールして、[Export sample forms] (サンプル フォームのエクスポート) ボタンをタッチします。デバイスで、フォームが内部ストレージの \simulscan\samples フォルダにコピーされます。
- 4 USB 充電ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
- 5 内部ストレージの \simulscan\samples フォルダからコンピュータにファイルをコピーします。
- 6 フォームを印刷します。

郵便、運輸、物流サンプル

郵便、運輸、物流サンプルには、次のフォームを使用します。

図 90: 郵便、運輸、物流フォーム

POSTAL/TGL. Shipment Air Waybill (non negotiable)

123-45678A

1 Payer account number and insurance details
 Charge to ☒ Shipper ☐ Receiver ☐ 3rd party
 List of payment options are available in all countries.
 Payer Account No. 001-12345678
 Shipment Insurance see reverse
☒ Via insurance value (in local currency) 1400

2 Non-Document Shipments Only (Customs Requirements)
 Attach the original and four copies of a Proforma or Commercial Invoice
 Shipper's VAT/GST number 564451112
 Receiver's VAT/GST or Shipper's EIN/SSN 1111577738
 Harmonized Commodity Code if applicable
 Destination duties/taxes if left to ship receiver pays duties/taxes
☐ Receiver ☐ Shipper ☐ Other
 Declared Value for Customs (as on commercial/proforma invoice)

3 From (Shipper)
 Shipper's account number 155-22263
 Company name Pure Theory Ltd
 Address 1638 Landsdown Drive
 Fitzrovia, London
 England
 WC2 1AB
 Contact name Scott Andrews
 Phone, Fax or E-mail required 0207 553633

4 To (Receiver)
 Company name TFW Solutions
 Delivery address We cannot deliver to a PO Box
 Solvalla
 Travbaneplan
 12A 64 Bromma
 Postcode/Zip Code required 286 32
 Country Sweden
 Contact person Arden Peterson
 Phone, Fax or E-mail required +46 8 123 89 67

5 Shipper's agreement
 (Signature required)
 Unless otherwise agreed in writing, I/we agree to the Terms and Conditions of Carriage between me/us and (1) such Terms and Conditions and, where applicable, the Convention only and/or excluded liability for loss, damage or delay and (2) this agreement does not protect each or any of us against goods (see reverse)
 Signature
 Date 10 / 10 / 13

For more information visit our website or call our local office

手順

- 1 フォームを平らな表面に置きます。
- 2 デバイス上で、[SimulScan Demo] (SimulScan デモ) アプリケーションを起動します。
- 3 画面の右上隅にある [Menu] (メニュー) アイコンをタッチします。
- 4 [Postal, Transportation & Logistics] (郵便、運輸、物流) をタッチします。
- 5 [Start SimulScan] (SimulScan の開始) をタッチします。
- 6 画面下の画像コントロールを使用して、フラッシュ、音声、ズーム レベルを制御します。

図 91: 画像コントロール



- 7 カメラをフォームの上に配置します。フォームの境界線全体が画面に表示されることを確認します。
- 8 デバイスをしっかり押さえます。

- 9 デバイスでフォームが検出されると、[Tap Screen to Scan] (画面をタップしてスキャン) というメッセージが画面に表示されます。
- 10 画面をタップして、データ収集を開始します。完了すると、デバイスからビープ音が鳴り、フォームのデータが表示されます。

図 92: 郵便のデータ画面

Field	Parsed Data
Barcode	123456-789A
Charge To	<input checked="" type="checkbox"/>
Account Number	155-22263
Shipper Name	<div>▲ Check Result</div> Pure Theory Ltd
Shipper Address	<div>▲ Check Result</div> 1631 LaDWS@Bwn Drive Fitzrovia, London

Rescan Accept

- 11 エラーを修正する場合は、テキスト ボックスをタッチします。注: 多数のエラーがある場合は、[Rescan] (再スキャン) をタッチして収集を再度実行します。
- 12 [Accept] (承諾) をタッチし、データが正しいことを確認します。[Results summary] (結果のサマリー) 画面が表示されます。
- 13 [OK] をタッチします。

製造サンプル

郵便、運輸、物流サンプルには、次のフォームを使用します。

図 93: 製造フォーム

手順

- 1 デバイスからコンピュータにサンプル フォームをコピーします。詳細については、
- 2 このフォームを印刷します。
- 3 フォームを平らな表面に置きます。
- 4 デバイス上で、[SimulScan Demo] (SimulScan デモ) アプリケーションを起動します。
- 5 画面の右上隅にある [Menu] (メニュー) アイコンをタッチします。
- 6 [Manufacturing] (製造) をタッチします。
- 7 [Start SimulScan] (SimulScan の開始) をタッチします。
- 8 デバイスの先端を文書の方に向け、文書上の収集対象を中央に合わせます。
- 9 デバイスをしっかり押さええます。
- 10 デバイスがデータ収集を開始します。完了すると、デバイスからビープ音が鳴り、ドキュメントのデータが表示されます。

図 94: 製造データ

Field	Parsed Data
Part Number	P5290261-69
Supplier	V4305156059
Quantity	Q000128
Serial Number	1SX1000114
Country	MEX

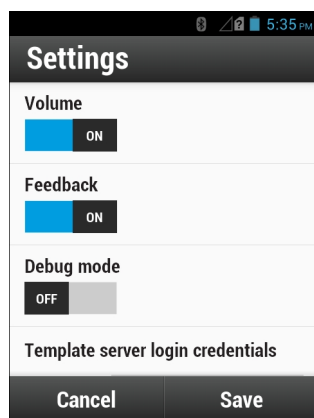
- 11 エラーを修正する場合は、テキスト ボックスをタッチします。多数のエラーがある場合は、[Rescan] (再スキャン) をタッチして収集を再度実行します。

- 12 **[Accept] (承諾)** をタッチし、データが正しいことを確認します。**[Results summary] (結果のサマリー)** 画面が表示されます。
- 13 **[OK]** をタッチします。

設定

[SimulScan Demo] (SimulScan デモ) アプリケーションを設定するには、**[Menu] (メニュー)** アイコン > **[Settings] (設定)** をタッチします。

図 95: **[Settings] (設定)** 画面



- **[Volume] (音量)** - 音声通知をオン/オフにするためにスイッチを切り替えます。
- **[Haptic] (ハプティック)** - 振動通知をオン/オフにするスイッチを切り替えます。
- **[Debug mode] (デバッグ モード)** - デバッグ モードを有効/無効にするためにスイッチを切り替えます。
- **[Template server login credentials] (テンプレート サーバーのログイン認証情報)** - テンプレート サーバーにアクセスするための認証情報を入力します。

詳細設定


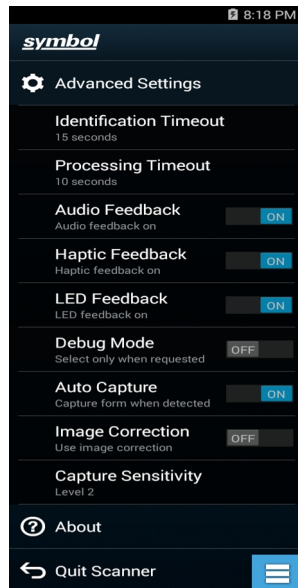
データ収集オプションを設定するには、**[Advanced Settings] (詳細設定)** を使用します。データ収集画面で、画面の右下隅にある  をタッチします。

図 96: [Advanced Settings] (詳細設定) 画面



- **[Identification Timeout] (特定タイムアウト)** - 対象となる文書の特特定がタイムアウトする時間を設定します。オプション: [2 seconds] (2 秒)、[5 seconds] (5 秒)、[10 seconds] (10 秒)、[15 seconds] (15 秒)、[20 seconds] (20 秒)、または [25 seconds] (25 秒)。
- **[Processing Timeout] (処理タイムアウト)** - 対象となる文書が特定された後、処理がタイムアウトする時間です。
- **[Audio feedback] (オーディオフィードバック)** - 正常に完了した解析に関するオーディオフィードバックのオンとオフを切り替えます。
- **[Haptic feedback] (ハプティックフィードバック)** - 正常に完了した解析に関するハプティックフィードバックのオンとオフを切り替えます。
- **[LED Feedback] (LED フィードバック)** - 正常に完了した解析に関する LED フィードバックのオンとオフを切り替えます。
- **[Debug mode] (デバッグモード)** - 有効になっている場合、収集されたフォーム、リージョンの画像、リージョンの値、およびその他のデータを 1 度のセッションでストレージに書き込むことができます。管理者から指示された場合にのみ使用します。
- **[Auto Capture] (自動収集)** - 検出されたフォームを自動的に収集する場合は、[On] (オン) に設定します。手動で、つまりユーザーが画面をタップするかトリガー ボタンを押したときにフォームを収集する場合は、[Off] (オフ) に設定します。
- **[Image Correction] (画像修正)** - 文書にしわが寄っているか曲がっていて、高度な画像修正が必要な場合にオンにします。
- **[Capture Sensitivity] (収集感度)** - 文書の識別精度を高めるには、処理を行う前にこの機能の感度を上げます。
- **[About] (バージョン情報)** - SimulScan エンジンのバージョン番号を表示します。
- **[Quit Scanner] (スキャナの終了)** - [Advanced Settings] (詳細設定) 画面を終了します。

デモのカスタマイズ

カスタマイズしたデモを作成する前に、次を実行します。

- テンプレートビルダ ツールを使用してテンプレートを作成します。
- 会社のロゴと画像をデバイスの保存場所にコピーします。

手順

- 1 **[Menu] (メニュー)** アイコンをタッチします。

- 2 **[Custom Demo Setup] (カスタム デモの設定)** をタッチします。

図 97: カスタム デモ設定画面

- 3 **[Name] (名前)** テキスト ボックスにカスタム デモの名前を入力します。この名前はドロップダウン メニューに表示されます。
- 4 **[Custom Demo Setup] (カスタム デモの設定)** テキスト ボックスに、デモのタイトルを入力します。これはデモ画面のタイトル ボックスに表示されます。
- 5 **[Image] (画像)** フィールドをタッチして、SD カードから画像を選択します。
- 6 **[Logo] (ロゴ)** フィールドをタッチして、SD カードからロゴ画像を選択します。
- 7 **[Introduction] (イントロダクション)** テキスト ボックスに、デモ画面に表示するテキストを入力します。
- 8 **[Header color] (ヘッダー色)** テキスト ボックスに、ヘッダーの色の値を 16 進数で入力します。
- 9 **[Icon color] (アイコン色)** テキスト ボックスに、メニュー アイコンとボタンテキストの色の値を 16 進数で入力します。
- 10 **[Key Features] (主要機能)** テキスト ボックスに、**[Key Feature] (主要機能)** の見出しの下に表示するテキストを入力します。このテキストは、箇条書きで表示されます。
- 11 **[SimulScan Document Capture Template] (SimulScan 文書収集テンプレート)** フィールドでいずれかのテンプレートをタッチして選択します。
- [Browse external storage] (外部ストレージの参照)** - デバイスに読み込まれたテンプレートを選択します。
 - [Default templates] (デフォルトのテンプレート)** - いずれかのデフォルトのテンプレートを選択します。
 - [Select from server] (サーバーから選択)** - SimulScan サーバーからテンプレートを選択します。
- 12 **[Done] (完了)** をタッチします。カスタマイズされたサンプルが画面に表示されます。
- 13 **[Start SimulScan] (SimulScan の開始)** をタッチして、デモを開始します。

デフォルトのテンプレート

次のテンプレートが使用できます。

- **デフォルト - BankCheck.xml** - このテンプレートは、銀行小切手の MICR E-13B フォント (19 ~ 40 文字) を読み取る場合に使用します。
- **デフォルト - Barcode 1.xml** - このテンプレートは、1 つのサポートされるバーコードを読み取る場合に使用します。
- **デフォルト - Barcode 10.xml** - このテンプレートは、最大 10 個のサポートされるバーコードを読み取る場合に使用します。

- **デフォルト - Barcode 2.xml** - このテンプレートは、2つのサポートされるバーコードを読み取る場合に使用します。
- **デフォルト - Barcode 4.xml** - このテンプレートは、最大4個のサポートされるバーコードを読み取る場合に使用します。
- **デフォルト - Barcode 5.xml** - このテンプレートは、最大5個のサポートされるバーコードを読み取る場合に使用します。
- **デフォルト - BookNumber.xml** - このテンプレートは、OCR-B ISBNの10または13桁の図書番号を読み取る場合に使用します。
- **デフォルト - DocCap + Optional Barcode** - このテンプレートは、ページ全体の画像を読み取り、そのフォーム内に存在するサポートされているバーコードをデコードする場合に使用します。読み取った領域は、実線の枠線またはバックグラウンドのコントラストで定義された、読み取り幅内で最大の長方形の領域です。OCRまたはOMRコンテンツは、このモードでは読み取られません。読み取られた領域は、修正、傾き補正、鮮明化などの処理がさらに施されたうえで、画像として戻されます。
- **デフォルト - DocCap + Required Barcode** - このテンプレートは、ページ全体の画像を読み取り、フォーム内に存在するサポートされているバーコードをデコードする場合に使用します。読み取った領域は、実線の枠線またはバックグラウンドのコントラストで定義された、読み取り幅内で最大の長方形の領域です。OCRまたはOMRコンテンツは、このモードでは読み取られません。読み取られた領域は、修正、傾き補正、鮮明化などの処理がさらに施されたうえで、画像として戻されます。
- **デフォルト - TravelDoc.xml** - このテンプレートは、OCR-B Type A および Type B フォントのパスポートとビザを読み取る場合に使用します。
- **デフォルト - Unstructured Multi-Line** - このテンプレートは、最大7行のテキストを読み取る場合に使用します。
- **デフォルト - Unstructured Single Line** - このテンプレートは、1行のテキストを読み取る場合に使用します。

第5章

データ収集

TC55 では、以下の方法でデータを読み取ることができます。

- 内蔵リニア イメージャ
- 内蔵 2D イメージャ
- 内蔵デジタル カメラ
- オプションの CS3070 Bluetooth スキャナ
- オプションの RS507 ハンズフリー Bluetooth イメージャ



注: DataWedge は、デフォルトで TC55 にインストールされ、有効に設定されています。

リニア イメージャ

内蔵リニア イメージャ搭載のデバイスは、次の機能を備えています。

- 最も一般的な 1-D コード タイプを含む、各種バーコード シンボル体系の読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な照準機能。

イメージャは、デジタル カメラの技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

イメージング

イメージャ搭載の TC75TC55 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 画像を収集して、各種画像処理アプリケーションで処理するためにホストにダウンロードする機能。
- (十字およびドット照準) 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能半導体レーザー照準機能。

イメージャは、イメージングの技術を使用してバーコードの画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からバーコード データを抽出します。

動作モード

統合イメージャ搭載の TC55 は、次の 3 つの動作モードをサポートしています。各モードは、スキャン ボタンを押して有効にします。

- **読み取りモード:** このモードでは TC55 は、読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。スキャン ボタンを押している間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャはこのモードのままになります。



注: ピック リスト モードを有効にするには、DataWedge で構成するか、または API コマンドを使用してアプリケーション内で設定します。

- **ピック リスト モード:** このモードでは、TC55 の読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合に、選択的にバーコードを読み取ることができます。選択的に読み取るには、目的のバーコードに照準の十字またはドットを合わせて、そのバーコードのみを読み取ります。この機能は、複数のバーコードが含まれているピック リストや、複数のタイプ (1D または 2D) のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。

デジタル カメラ

内蔵カメラ ベースのバーコード スキャン ソリューションを備えたデバイスには、次の機能があります。

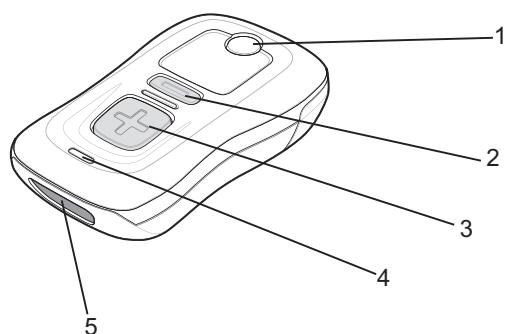
- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、QR、PDF417、および 2D マトリックス コード タイプを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にするクロスヘア レクチル。
- 読み取り幅内の多数のバーコードから特定のバーコードを読み取るピックリスト モード。

このソリューションでは、高度なカメラ技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

CS3070 Bluetooth スキャナ

CS3070 Bluetooth レーザー スキャナはバーコード データを読み取り、Bluetooth を介してそれをデバイスに送信します。このスキャナは、スキャナがキーボードをエミュレートするデバイスへの Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) 接続をサポートします。

図 98: CS3070 Bluetooth スキャナ



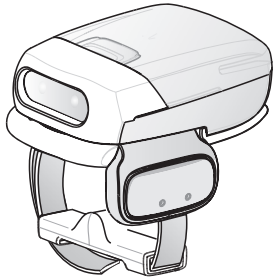
- 1 Bluetooth ボタン/LED
- 2 削除ボタン
- 3 スキャン ボタン
- 4 LED
- 5 スキャナ ウィンドウ

CS3070 の設定に関する詳細については、『CS3000 Series Scanner Product Reference Guide』(英語) を参照してください。

RS507 ハンズフリー イメージャ

RS507 ハンズフリー イメージャは、一次元と二次元のバーコードのウェアラブル バーコード スキャンソリューションです。スキャナは、デバイスへの Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) 接続 (スキャナがキーボードをエミュレートします) をサポートしています。

図 99: RS507 ハンズフリー イメージャ



詳細については、『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』を参照してください。

スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能ないくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- 範囲
 - スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。
 - 範囲内でスキャンすることで、すばやく連続して読み取ることができます。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取ることができません。スキャナを近づけたり、遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。
- 角度
 - スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。バーコードに当たったレーザー光線が反射してスキャナに直接戻ってくるような角度でスキャンした場合、この正反射によりスキャナは読み取れなくなります。
 - これを回避するには、光線が正反射しないような角度でバーコードをスキャンしてください。ただし、正しく読み取るためにスキャナは散乱した反射光線を収集する必要があるため、あまりに鋭角な角度ではスキャンしないでください。練習することで、適切な作業範囲をすばやく確認できます。
- 大きなシンボルの場合は、デバイスを離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合は、デバイスを近づけてください。



注: スキャン手順は、アプリケーションとデバイスの構成によって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が記載されている手順とは異なる場合があります。

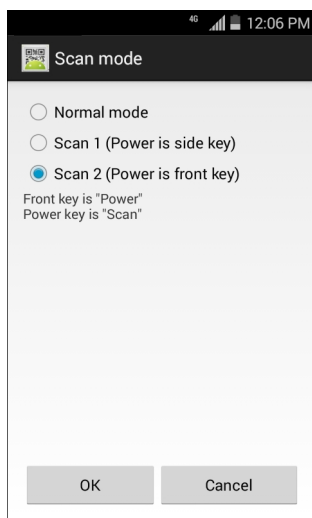
スキャンモード




注: スキャンモードは、2D イメージャが搭載された TC55 でのみ使用できます。

スキャンモードアプリケーションを使用して、スキャンに使用する TC55 のボタンを設定します。

図 100: スキャンモードアプリケーション



- **[Normal mode] (標準モード)** - デフォルトの設定。以下の機能を設定します。
 - スキャン キーを押してスキャンを有効にします。
 - 電源キーを押して、TC55 のオン/オフを切り替えます。
- **スキャン 1 (電源: 側面キー)** - 以下の機能を設定します。
 - スキャン キーを押して、TC55 のオン/オフを切り替えます。
 - 電源キーを押してスキャンを有効にします。
- **スキャン 2 (電源: 前面キー)** - 以下の機能を設定します。
 - スキャン キーまたは電源キーを押してスキャンを有効にします。
 - 電源キーを押して、TC55 をウェイクアップします。
 -  を押して TC55 をオフにします。

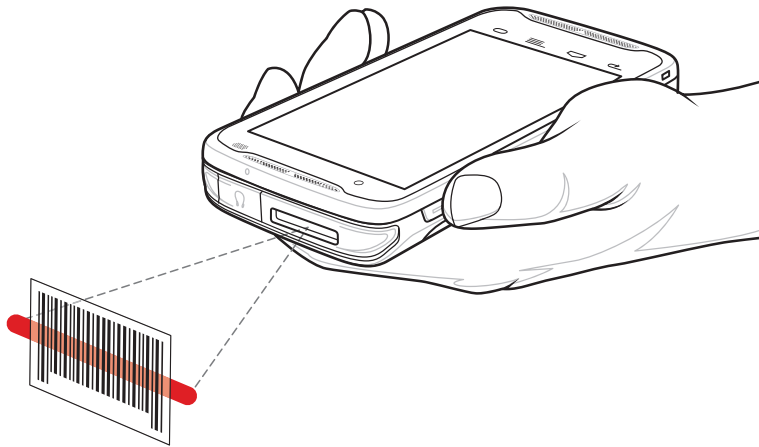
リニア イメージャによるバーコードの読み取り

バーコードデータを収集するには、次の手順に従います。

手順

- 1 アプリケーションが TC55 で開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
- 2 TC55 の先端をバーコードの方に向けます。

図 101: スキャン



- 3 プログラム可能ボタンを押し続けます。LED が赤く点灯し、データの読み取り中であることを示します。
- 4 赤い照準パターンをバーコードに合わせます。LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

図 102: 照準パターン



- 5 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

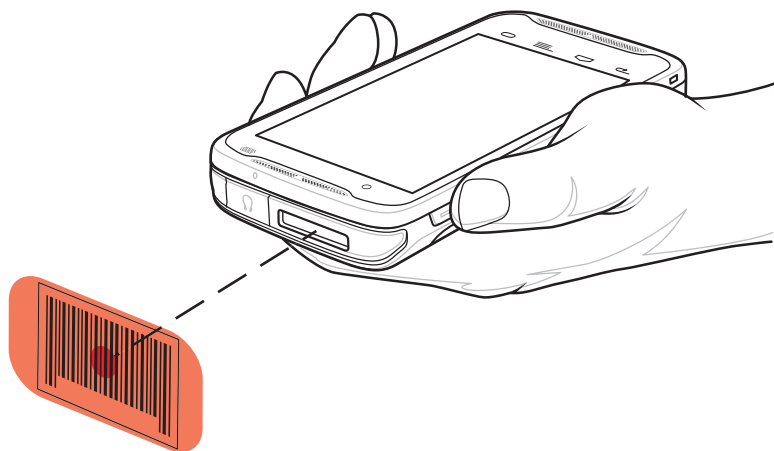
2D イメージャを使用したバーコードデータの収集

バーコードデータを収集するには、次の手順に従います。


手順

- 1 アプリケーションが TC55 で開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
- 2 TC55 の先端をバーコードの方に向けます。

図 103: スキャン



3 プログラム可能ボタンを押し続けます。

4  注: TC55 がピックリスト モードの場合、ドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で表示性能を向上するために使用されます。

図 104: 照準パターン

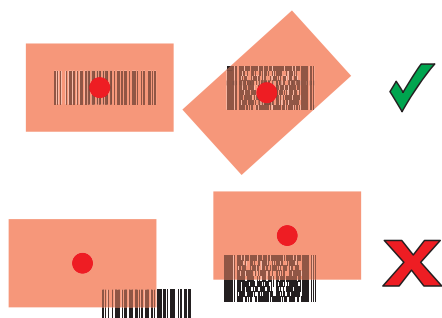
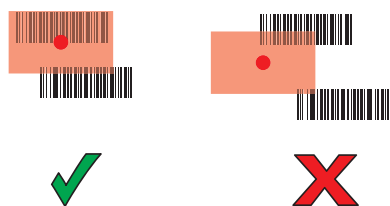


図 105: ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



5 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

内蔵カメラを使用したバーコードデータの収集

バーコードデータを収集するには、次の手順に従います。

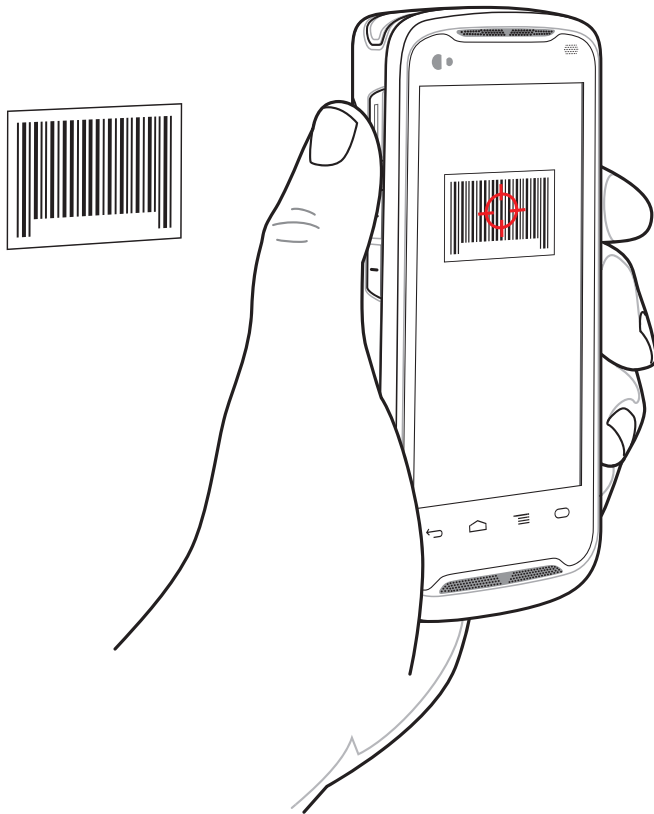



注: 暗い照明下でバーコードデータを読み取る場合、**DataWedge** アプリケーションで、**[Illumination mode] (照明モード)** をオンにします。*DataWedge* の設定に関する詳細については、『**TC55 Integrator Guide**』(英語) を参照してください。

手順

- 1 アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
- 2 カメラをバーコードに向けます。
- 3 プログラム可能ボタンを押し続けます。デフォルトで、プレビュー ウィンドウが画面に表示されます。読み取り発光ダイオード (LED) が赤く点灯し、データ収集中であることが示されます。

図 106: プレビュー ウィンドウを備えたアプリケーション



- 4  **注:** ピックリスト モードが有効になっているときに、バーコードが画面の赤い照準の中央に来るように TC55 を移動します。
バーコードが画面に表示されるまで TC55 を移動します。
- 5 読み取り LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り、デバイスが振動して、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します (デフォルト設定の場合)。
- 6 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

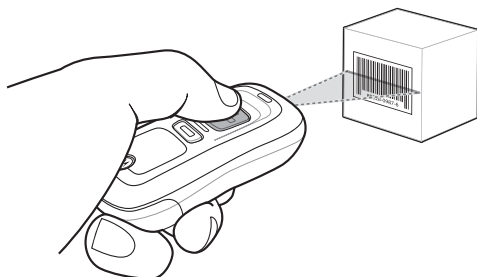
CS3070 Bluetooth スキャナを使用したバーコード データの収集

前提条件: CS3070 をデバイスとペアリングします。詳細については、[CS3070 とのペアリング \(ページ 152\)](#) を参照してください。

手順

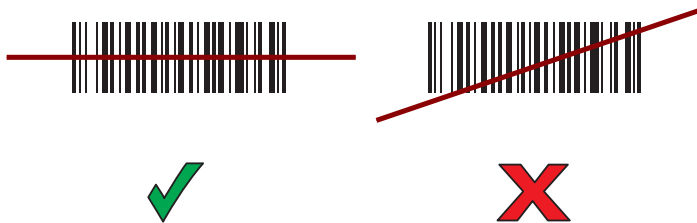
- 1 アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
- 2 スキャナをバーコードに向けます。
- 3 スキャン (+) ボタンを押します。

図 107: CS3070 スキャニング



- 4 スキャン ラインがシンボルのすべてのバーとスペースを横切るようにします。

図 108: リニア スキャナの照準パターン



- 5 正しく読み取れた場合は、ビープ音が鳴って LED が緑色に点灯します。
- 6 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

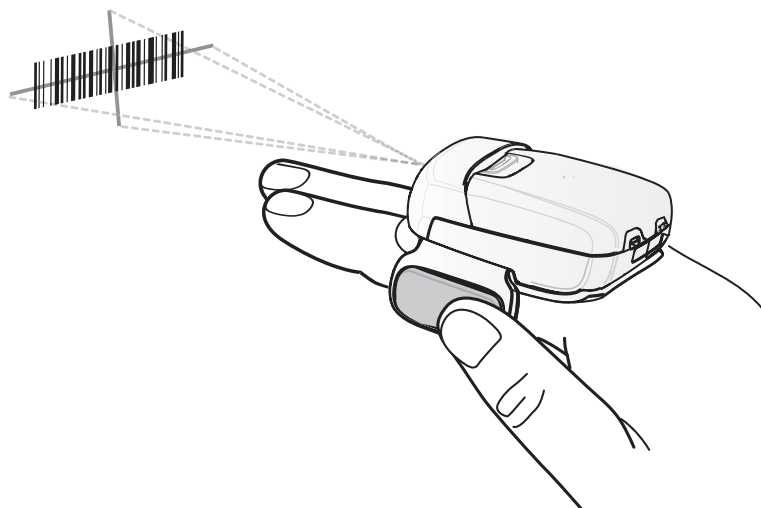
RS507 ハンズフリー イメージャによるバーコードの読み取り

前提条件: RS507 を TC55 とペアリングします。詳細については、[RS507 ハンズフリー イメージャのペアリング \(ページ 154\)](#)を参照してください。

手順

- 1 アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
- 2 RS507 をバーコードに向けます。

図 109: RS507 によるバーコード スキャニング



3 トリガを押し続けます。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で表示性能を向上するために使用されます。

RS507 LED が緑色に点灯してピープ音が鳴り、バーコードが正常に読み取られたことを示します。RS507 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで RS507 はバーコードを読み取りません。

図 110: 照準パターン

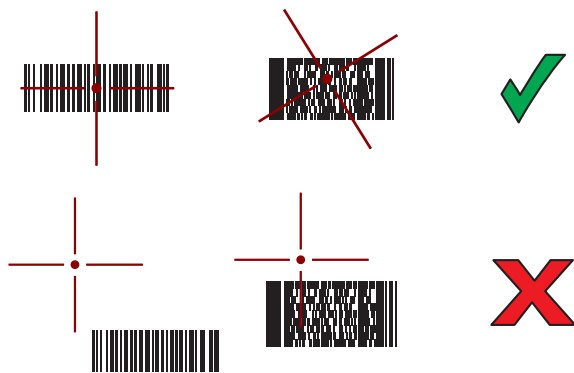


図 111: ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



4 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。





での DataWedge

DataWedge は、コードを作成せずに、アプリケーションに高度なバーコード スキャン機能を追加するユーティリティです。これはバックグラウンドで実行され、組み込み型のバーコード スキャナへのインタフェースを処理します。収集されたバーコード データはキーストロークに変換され、キーパッドで入力したかのように、目的のアプリケーションに送信されます。

DataWedge の設定の詳細については、『*TC55 Integrator Guide*』を参照してください。





DataWedge の有効化

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3  をタッチします。
- 4 **[Settings] (設定)** をタッチします。
- 5 **[DataWedge enabled] (DataWedge の有効化)** チェックボックスをタッチします。青色のチェックマークがチェックボックスに表示されます。これは、DataWedge が有効になったことを示します。
- 6  を押しますタッチします。

DataWedge の無効化

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3  をタッチします。
- 4 **[Settings] (設定)** をタッチします。
- 5 **[DataWedge enabled] (DataWedge の有効化)** チェックボックスをタッチします。チェックボックスから青色のチェックマークが消えます。これは、DataWedge が無効になったことを示します。
- 6  を押しますタッチします。

第 6 章

無線

このセクションでは、次の無線機能について説明します。

- 無線ワイドエリア ネットワーク (WWAN)
- 無線 LAN (WLAN)
- Bluetooth
- Near Field Communications (NFC)

無線ワイドエリア ネットワーク

携帯電話ネットワーク経由でデータにアクセスするには、無線ワイドエリア ネットワーク (WWAN) を使用します。このセクションでは、次について説明します。

- データ接続の共有
- データ ローミングの無効化
- データ使用量の監視
- 2G ネットワークへの接続の制限
- SIM カードのロック
- Verizon ネットワーク モード
- Verizon システム選択
- アクセス ポイント名 (APN) の編集

モバイル データ接続の共有




[tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット) 設定を使用すると、データ接続を共有できます。TC55 のモバイル データ接続を USB のテザリングまたは Bluetooth のテザリング経由で 1 台のコンピュータと共有できます。ポータブル Wi-Fi ホットスポットにすることにより、最大 8 台のデバイスと同時にデータ接続を共有できます。TC55 がデータ接続を共有している間、画面の上部にアイコンが表示され、通知リストに、関連メッセージが表示されます。

USB テザリング



注: USB テザリングは、Mac OS を実行するコンピュータではサポートされていません。使用中のコンピュータで Windows 7 または最近のバージョンの Linux (Ubuntu など) を実行している場合は、特別な準備は必要なく、次の手順に従ってください。Windows 7 より前のバージョンの Windows や、他のオペレーティングシステムを使用している場合は、USB 経由でネットワーク接続を確立できるようにコンピュータを準備する必要があることがあります。

手順

- 1 USB ケーブルを使用して、TC55 をホスト コンピュータに接続します。
画面の上部に USB アイコンが表示され、**[Connected as a media device] (メディア デバイスとして接続されました)** または **[Connected as a camera] (カメラとして接続されました)** という通知が画面の上部に表示されます。
- 2  をタッチします。
- 3  または  をタッチします。
- 4 **[More ...] (詳細)** をタッチします。
- 5 **[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット)** をタッチします。
- 6 **[USB tethering] (USB テザリング)** をオンにします。
これで、ホスト コンピュータは TC55 のデータ接続を共有するようになりました。




事後処置: 共有を停止するには、**[USB tethering] (USB テザリング)** をオフにするか、USB ケーブルを取り外します。

Bluetooth のテザリング

Bluetooth のテザリングを使用して、ホスト コンピュータとデータ接続を共有します。

前提条件: Bluetooth を使用してネットワーク接続を取得するようにホスト コンピュータを設定します。詳細については、ホスト コンピュータのマニュアルを参照してください。

手順


- 1 TC55 をホスト コンピュータとペアリングします。
- 2  をタッチします。
- 3  または  をタッチします。
- 4 **[More ...] (詳細)** をタッチします。
- 5 **[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット)** をタッチします。
- 6 **[Bluetooth tethering] (Bluetooth のテザリング)** をオンにします。
これで、ホスト コンピュータは TC55 のデータ接続を共有するようになりました。



事後処置: データ接続の共有を停止するには、**[Bluetooth tethering] (Bluetooth のテザリング)** をオフにします。

ポータブル Wi-Fi ホットスポット

前提条件: Wi-Fi ホットスポットを設定します。

手順

- 1  をタッチします。

- 2  または  をタッチします。
- 3 **[More ...] (詳細)** をタッチします。
- 4 **[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット)** をタッチします。
- 5 **[Portable Wi-Fi hotspot] (ポータブル Wi-Fi ホットスポット)** をオンにします。
しばらくすると、TC55 が Wi-Fi ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストを開始し、最大 8 台のコンピュータまたはその他のデバイスに接続できるようになります。

事後処置: データ接続の共有を停止するには、**[Portable Wi-Fi hotspot] (ポータブル Wi-Fi ホットスポット)** をオフにします。

Wi-Fi ホットスポットの設定

手順




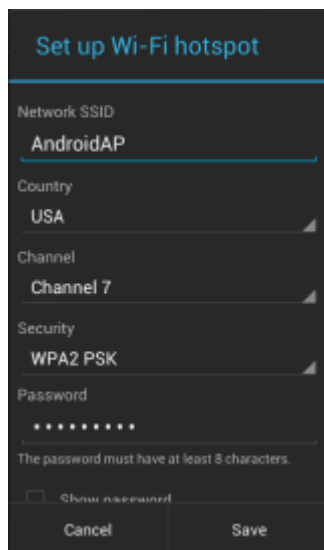
- 1  をタッチします。
- 2   をタッチします。
- 3 **[More ...] (詳細)** をタッチします。
- 4 **[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット)** をタッチします。

図 112: **[Wi-Fi Hotspot] (Wi-Fi ホットスポット)** ダイアログ ボックスの設定



- 5 **[Network SSID] (ネットワーク SSID)** テキスト フィールドで、ネットワーク名を編集します。
- 6 **[Country] (国)** オプションをタッチして、ドロップダウン リストから居住国を選択します。
- 7 **[Channel] (チャネル)** オプションをタッチして、ドロップダウン リストからチャネル番号を選択します。
- 8 **[Security] (セキュリティ)** オプションをタッチして、ドロップダウン リストからセキュリティの方法を選択します。
 - オープン
 - **[WPA2 PSK]**
- 9 **[Password] (パスワード)** テキスト フィールドに、パスワードを入力します。



注: **[Security] (セキュリティ)** オプションで **[Open] (オープン)** を選択した場合、パスワードは要求されません。

- 10 **[保存]** をタッチします。

データ使用量

データ使用量とは、所定の期間内に TC55 によってアップロードまたはダウンロードされたデータの量を指します。無線通信のプランに応じて、データ使用量がプランの制限を超えると、追加料金が請求される場

合があります。データ使用量を監視するには、 または  >  **[Data usage] (データ使用量)** に移動します。



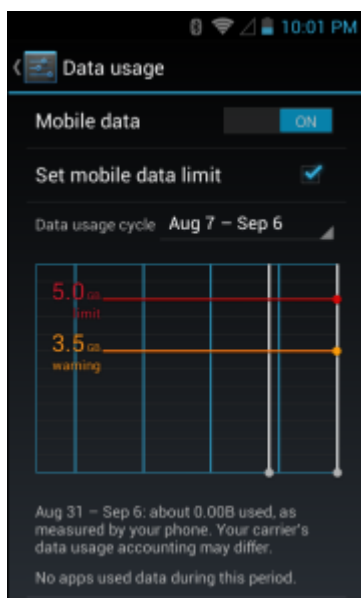
注意: データ使用量設定画面に表示される使用量は、ご使用のデバイスにより測定されたものです。ご使用のキャリアのデータ使用量のアカウントリングは異なる場合があります。使用量がキャリアのプランのデータ制限を超えた場合、大幅に料金が超過する可能性があります。ここで説明する機能は、使用量の追跡には役立ちますが、追加料金が発生しないことを保証するものではありません。


データ使用量設定では、以下のことが可能です。

- 警告を受信するデータ使用量レベルを設定する。
- データ使用量の制限を設定する。
- アプリごとにデータ使用量を表示または制限する。
- モバイル ホットスポットを識別し、追加料金が発生する可能性があるバックグラウンドのダウンロードを制限する。

デフォルトでは、データ使用量設定画面を開くとモバイル データ、つまりデータ ネットワークや、キャリアが提供するネットワーク用の設定が表示されます。

図 113: [Data Usage] (データ使用量) 画面



Wi-Fi データ使用量設定を別のタブで表示するには、 > **[Show Wi-Fi usage] (Wi-Fi 使用量の表示)** の順にタッチします。


オン/オフ スイッチのすぐ下にある、データ使用量サイクルに注意してください。タッチすると、別のサイクルを選択できます。このデータ範囲は、グラフがデータ使用量を表示する期間です。

グラフにある白い縦線は、データ使用量サイクル内の期間を示します。この範囲により、グラフのすぐ下に表示されている使用量が決定します。期間を変更するには、線をドラッグします。

データ使用量の警告の設定

オレンジ色の線の右側を、警告が出されるレベルまでドラッグします。データ使用量がこのレベルに達すると警告を受けます。





自動同期の設定

また、自動同期を利用せずに、データが必要なときのみ、手動でアプリを同期して、データ使用量を抑えることもできます。自動同期をオフまたはオンにするには、 > **[Auto-sync data] (データの自動同期)** の順にタッチします。

ローミング中のデータの無効化

キャリアのネットワークがカバーするエリアを離れたとき、デバイスが他のキャリアのモバイル ネットワーク経由でデータを転送しないようにするには、次の手順に従います。サービス プランにデータ ローミングが含まれていない場合に経費を制御するのに役立ちます。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3 **[More ...] (詳細)** をタッチします。
- 4 **[Mobile networks] (モバイル ネットワーク)** をタッチします。
- 5 **[Data roaming] (データ ローミング)** をオフにします。
- 6  をタッチします。





2G ネットワークへのデータ接続の制限



注: AT&T SIM カード使用時には利用できません。

2G ネットワーク (GPRS または EDGE) へのデータ接続を制限することにより、バッテリーの寿命を延ばすことができます。2G ネットワークに接続している場合、ユーザーは、より高速なモバイルまたはその他の無線ネットワークに接続するまで、写真やビデオの送信、アップロード、またはダウンロードなど大量のデータを転送する操作を見合わせるすることができます。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3 **[More ...] (詳細)** をタッチします。
- 4 **[Mobile networks] (モバイル ネットワーク)** をタッチします。
- 5 **[GSM 2G/3G selection] (GSM 2G/3G の選択)** をタッチします。
- 6 **[2G only] (2G のみ)** をタッチします。
- 7  をタッチします。

SIM カードのロック

SIM カードをロックすると、デバイスの電源をオンにするたびに PIN の入力が必要になります。正しい PIN が入力されない場合は、かけられるのは緊急電話のみです。

手順





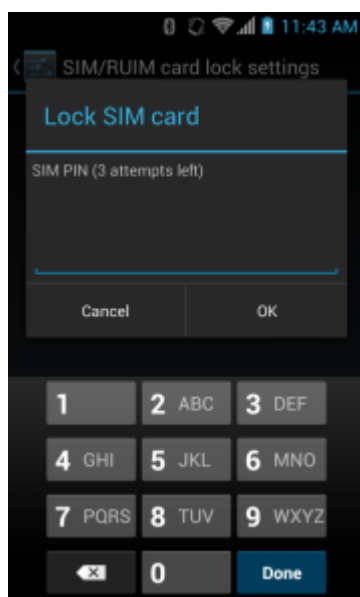
- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Security] (セキュリティ) をタッチします。
- 4 [Set up SIM/RUIM card lock] (SIM/RUIM カードのロックの設定) をタッチします。
- 5 [Lock SIM card] (SIM カードのロック) をタッチします。

図 114: SIM カードをロックする PIN の入力



- 6 カードと関連づけられている PIN を入力します。[OK] をタッチします。
- 7 デバイスをリセットします。



Verizon ネットワーク モード




注: TC55CH 構成のみ。

ネットワーク動作モードを変更するために使用します。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 [More ...] (詳細) をタッチします。
- 4 [Mobile networks] (モバイル ネットワーク) をタッチします。
- 5 [Network mode] (ネットワーク モード) をタッチします。

- 6 **[Preferred network mode] (優先されるネットワーク モード)** ダイアログ ボックスでデフォルトとして設定するモードを選択します。オプションは、**[LTE]** (LTE のみの TC55CH)、**[CDMA + LTE/EvDo]** (LTE のみの TC55CH)、**[EvDo only] (EvDo のみ)**、**[CDMA w/o EvDo] (EvDo なしの CDMA)**、または **[CDMA/EvDo auto] (CDMA/EvDo 自動)** です。
- 7  をタッチします。




Verizon システム選択



注: TC55CH 構成のみ。

[System select] (システム選択) を使用して、CDMA ローミング モードを変更します。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 **[More ...] (詳細)** をタッチします。
- 4 **[Mobile networks] (モバイル ネットワーク)** をタッチします。
- 5 **[System select] (システム選択)** をタッチします。
- 6 **[System select] (システム選択)** ダイアログ ボックスで、モードを選択します。以下のオプションがあります。
 - **[Home only] (ホームのみ)** - ホーム ネットワークからローミングしません。
 - **[Automatic] (自動)** - 自動ローミングを許可します。
- 7  をタッチします。





アクセス ポイント名の編集




注: TC55 では、多数のサービス プロバイダのアクセス ポイント名 (APN) データが事前に設定されています。その他すべてのサービス プロバイダの APN 情報は、ワイヤレス サービス プロバイダから取得する必要があります。

ネットワークでデータを使用するには、APN 情報を設定する必要があります。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  をタッチします。
- 3 **[More ...] (詳細)** をタッチします。
- 4 **[Mobile networks] (モバイル ネットワーク)** をタッチします。
- 5 **[Access Point Names] (アクセス ポイント名)** をタッチします。
- 6  をタッチします。
- 7 **[New APN] (新規 APN)** をタッチします。
- 8 各 APN 設定をタッチして、ワイヤレス サービス プロバイダから取得した適切な情報を入力します。
- 9 完了したら、 をタッチします。
- 10 **[保存]** をタッチします。
- 11 新しい APN 名の横にあるラジオ ボタンをタッチすると、その名前の使用を開始することができます。

12  をタッチします。

無線ローカルエリア ネットワーク

無線ローカルエリア ネットワーク (WLAN) を使用すると、TC55 で屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN で TC55 を使用するには、WLAN を実行するために必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれます) を施設に設定する必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャと TC55 の両方を正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセス ポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

選択した WLAN セキュリティ方式を適用するようにインフラストラクチャを設定したら、**[Wireless & networks] (無線とネットワーク)** 設定を使用して、そのセキュリティ方式に適合するように TC55 を設定してください。

TC55 は、次の WLAN セキュリティ オプションをサポートします。

- オープン
- Wireless Equivalent Privacy (WEP)
- Wi-Fi Protected Access (WPA)/WPA2 Personal (PSK)
- Extensible Authentication Protocol (EAP)
 - Protected Extensible Authentication Protocol (PEAP) - Microsoft Challenge-Handshake Authentication Protocol version 2 (MSCHAPv2) と Generic Token Card (GTC) 認証が使用可能です。
 - EAP-Transport Layer Security (TLS)
 - EAP-TTLS - Password Authentication Protocol (PAP)、MSCHAP、および MSCHAPv2 認証が使用可能です。

ステータス バーには、Wi-Fi ネットワークが利用できるかを示すアイコンと、Wi-Fi の状態を示すアイコンが表示されます。詳細については、[ステータス バー \(ページ 49\)](#) を参照してください。



注: 使用しないときは Wi-Fi をオフにすると、バッテリーの消耗を避けられます。

Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続

手順




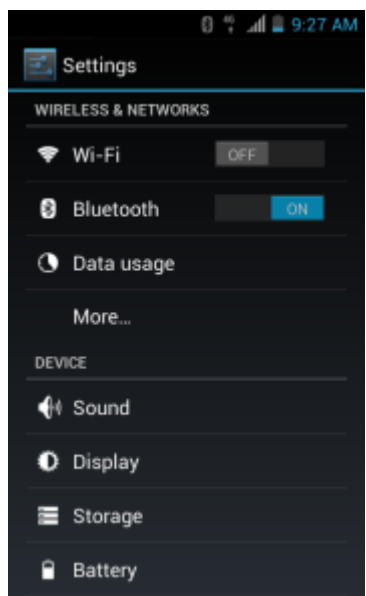
- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。

図 115: [Settings] (設定) 画面




- 3 Wi-Fi のスイッチを **[ON] (オン)** の位置にスライドさせます。
- 4  **[Wi-Fi]** をタッチします。TC55 はエリア内の WLAN を検索して一覧表示します。

図 116: [Wi-Fi] 画面



- 5 リスト内をスクロールして、使用する WLAN ネットワークを選択します。
- 6 オープン ネットワークの場合は、プロフィールを一度タッチするか、または押し続けてから **[Connect to network] (ネットワークに接続)** を選択します。また、セキュア ネットワークの場合は、要求されるパスワードまたはその他の資格情報を入力してから、**[Connect] (接続)** をタッチします。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

TC55 は、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) プロトコルを使用してネットワークからネットワークアドレスなどの必要な情報を取得します。固定インターネットプロトコル (IP) アドレスで TC55 を設定するには、[静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定 \(ページ 143\)](#) を参照してください。

- 7 Wi-Fi の設定フィールドに、**[Connected] (接続済み)** が表示され、TC55 が WLAN に接続されていることが示されます。

Wi-Fi ネットワークの設定

手順





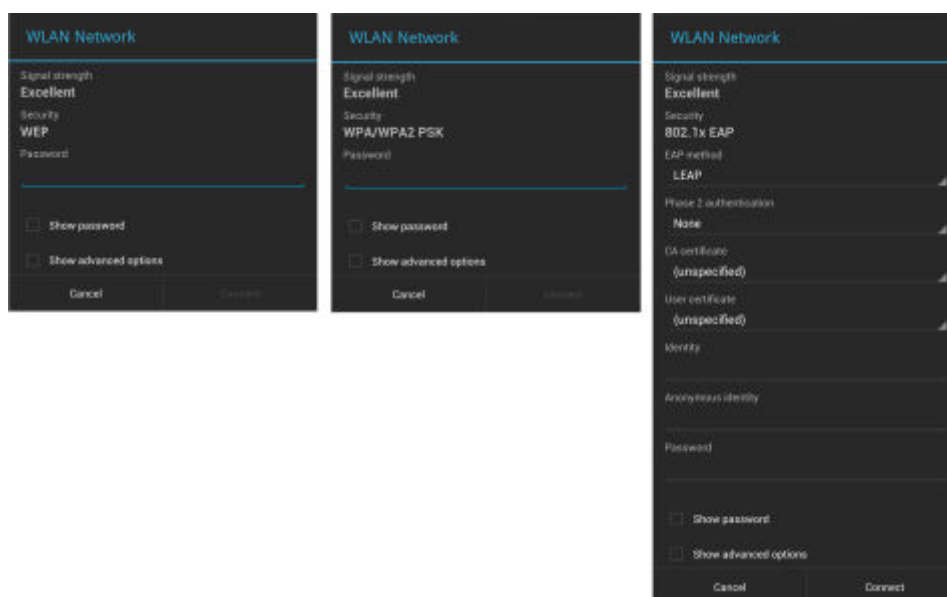
- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  **[Wi-Fi]** をタッチします。
- 4 スイッチを**オン**の位置にスライドします。
- 5 TC55 はエリア内の WLAN を検索して画面に一覧表示します。
- 6 リスト内をスクロールして、使用する WLAN ネットワークを選択します。
- 7 必要なネットワークをタッチします。ネットワーク セキュリティが **[Open] (オープン)** の場合、TC55 は自動的にネットワークに接続します。その他すべてのネットワーク セキュリティについては、ダイアログボックスが表示されます。


図 117: **[WLAN Network Security] (WLAN ネットワーク セキュリティ) ダイアログ ボックス**



注: デフォルトで、ネットワーク プロキシは **[None] (なし)** に設定され、IP 設定は **[DHCP]** に設定されます。プロキシ サーバーへの接続の設定については、[プロキシサーバーの設定 \(ページ 142\)](#)、静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定については、[静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定 \(ページ 143\)](#) を参照してください。

- 8 ネットワーク セキュリティが **[WEP]** または **[WPA/WPA2 PSK]** の場合、必要なパスワードを入力し、**[Connect] (接続)** をタッチします。
- 9 ネットワーク セキュリティが **[802.1x EAP]** の場合、以下の情報を入力し、**[Connect] (接続)** をタッチします。
 - **[EAP method] (EAP 方式)** ドロップダウン リストをタッチして、**[PEAP]**、**[TLS]** または **[TTLS]** を選択します。
 - **[Phase 2 authentication] (フェーズ 2 認証)** ドロップダウン リストをタッチし、認証方法を選択します。






- 必要に応じて、[CA certificate] (CA 証明書) をタッチし、認証局 (CA) 証明書を選択します。注: 証明書は [Security] (セキュリティ) 設定を使用してインストールします。
- 必要に応じて、[User certificate] (ユーザー証明書) をタッチし、ユーザー証明書を選択します。注: ユーザー証明書は、[Location] (場所) および [Security] (セキュリティ) 設定を使用してインストールします。
- 必要に応じて、[Identity] (ID) テキスト ボックスにユーザー名の認証情報を入力します。
- 必要に応じて、[Anonymous identity] (匿名 ID) テキスト ボックスに匿名 ID ユーザー名を入力します。
- 必要に応じて、[Password] (パスワード) テキスト ボックスに指定された ID のパスワードを入力します。

10  をタッチします。

手動での Wi-Fi ネットワークの追加

ネットワークがその名前 (SSID) をブロードキャストしない場合、またはエリア外にいるときに Wi-Fi ネットワークを追加するには、手動で Wi-Fi ネットワークを追加します。


手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Wi-Fi] をタッチします。
- 4 Wi-Fi のスイッチを [On] (オン) の位置にスライドさせます。
- 5 画面の右下隅にある [+] をタッチします。
- 6  注: デフォルトで、ネットワーク プロキシは [None] (なし) に設定され、IP 設定は [DHCP] に設定されます。プロキシサーバーへの接続の設定については、[プロキシサーバーの設定 \(ページ 142\)](#)、静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定については、[静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定 \(ページ 143\)](#) を参照してください。

[Network SSID] (ネットワーク SSID) テキスト ボックスで、Wi-Fi ネットワーク名を入力します。

- 7 [Security] (セキュリティ) ドロップダウン リストで、セキュリティの種類を選択します。以下のオプションを選択できます。
 - [None] (なし)
 - WEP[WEP]
 - [WPA/WPA2 PSK]
 - [802.1x EAP]
- 8 ネットワーク キュリティが [None] (なし) の場合、[Save] (保存) をタッチします。
- 9 ネットワーク セキュリティが [WEP] または [WPA/WPA2 PSK] の場合、必要なパスワードを入力し、[Save] (保存) をタッチします。
- 10 ネットワーク セキュリティが [802.1x EAP] の場合、以下の情報を入力し、[Save] (保存) をタッチします。
 - [EAP method] (EAP 方式) ドロップダウン リストをタッチして、[PEAP]、[TLS] または [TTLS] を選択します。
 - [Phase 2 authentication] (フェーズ 2 認証) ドロップダウン リストをタッチし、認証方法を選択します。
 - 必要に応じて、[CA certificate] (CA 証明書) をタッチし、認証局 (CA) 証明書を選択します。注: 証明書は [Security] (セキュリティ) 設定を使用してインストールします。

- 必要に応じて、[User certificate] (ユーザー証明書) をタッチし、ユーザー証明書を選択します。注: ユーザー証明書は、[Security] (セキュリティ) 設定を使用してインストールします。
- 必要に応じて、[Identity] (ID) テキスト ボックスにユーザー名の認証情報を入力します。
- 必要に応じて、[Anonymous identity] (匿名 ID) テキスト ボックスに匿名 ID ユーザー名を入力します。
- 必要に応じて、[Password] (パスワード) テキスト ボックスに指定された ID のパスワードを入力します。

11  をタッチします。

プロキシ サーバーの設定

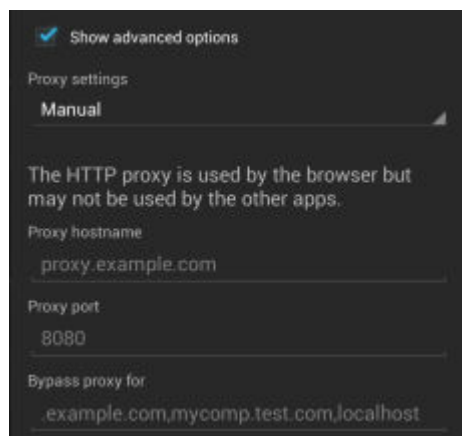
プロキシ サーバーは、他のサーバーのリソースを探しているクライアントからの要求に対して仲介役として動作するサーバーです。クライアントは、プロキシ サーバーに接続し、別のサーバーから利用できる、ファイル、接続、Web ページ、またはその他のリソースなどのサービスを要求します。プロキシ サーバーは、フィルタリングのルールに従って、要求を評価します。たとえば、IP アドレスまたはプロトコルによってトラフィックをフィルタできます。フィルタにより要求が検証された場合、プロキシは、該当サーバーに接続し、クライアントに代わってサービスを要求することにより、リソースを提供します。

企業の顧客にとって、社内にセキュリティ保護されたコンピューティング環境を設定できることは重要であり、プロキシ設定はそのための不可欠な要素です。プロキシ設定は安全防壁として機能し、インターネットとイントラネットの間のすべてのトラフィックは、プロキシサーバーによって監視されます。通常、これは、イントラネット内の企業ファイアウォールでセキュリティを実施するために不可欠な要素です。

手順

- 1 [Network] (ネットワーク) ダイアログ ボックスで、任意のネットワークをタッチします。
- 2 [Show advanced options] (高度なオプションの表示) チェックボックスをタッチします。
- 3 [Proxy settings] (プロキシ設定) をタッチして、[Manual] (手動) を選択します。

図 118: プロキシ設定



- 4 [Proxy hostname] (プロキシ ホスト名) テキスト ボックスにプロキシ サーバーのアドレスを入力します。
- 5 [Proxy port] (プロキシ ポート) テキスト ボックスにプロキシ サーバーのポート番号を入力します。



注: [Bypass proxy for] (プロキシのバイパス) フィールドにプロキシ アドレスを入力する際は、アドレスとアドレスの間にスペースや改行を使用しないでください。

- 6 [Bypass proxy for] (プロキシのバイパス) テキスト ボックスに、プロキシ サーバーを経由する必要がない Web サイトのアドレスを入力します。アドレスとアドレスの間には区切り記号「|」を使用します。
- 7 [Connect] (接続) をタッチします。

8 を押します .

静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定


デフォルトでは、デバイスは、無線ネットワークに接続されたときに、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用してインターネット プロトコル (IP) アドレスを割り当てるように設定されます。静的 IP アドレスを使用してネットワークに接続するようにデバイスを設定するには、次の手順に従います。

手順

- 1 [Network] (ネットワーク) ダイアログ ボックスで、任意のネットワークをタッチします。
- 2 [Show advanced options] (高度なオプションの表示) チェックボックスをタッチします。
- 3 [IP settings] (IP 設定) をタッチして、[Static] (静的) を選択します。

図 119: 静的 IP 設定





- 4 [IP address] (IP アドレス) テキスト ボックスにデバイスの IP アドレスを入力します。
- 5 必要に応じて、[Gateway] (ゲートウェイ) テキスト ボックスにデバイスのゲートウェイ アドレスを入力します。
- 6 必要に応じて、[Network prefix length] (ネットワーク プリフィックスの長さ) テキスト ボックスにプリフィックスの長さを入力します。
- 7 必要に応じて、[DNS 1] テキスト ボックスにドメイン ネーム システム (DNS) アドレスを入力します。
- 8 必要に応じて、[DNS 2] テキスト ボックスに DNS アドレスを入力します。
- 9 [Connect] (接続) をタッチします。
- 10 を押します .

Wi-Fi の詳細設定



注: Wi-Fi の詳細設定は、特定の無線ネットワークを対象としたものではなく、デバイスを対象にしています。

追加の Wi-Fi 設定を行うには、[Advanced] (詳細) 設定を使用します。詳細設定を表示するには、[Wi-Fi] 画面で、 または  > [Advanced] (詳細) をタッチします。

• [General] (全般)

- [Network notification] (ネットワーク通知) - 有効にすると、オープン ネットワークが使用可能なときにそのことをユーザーに通知します。
- [Keep Wi-Fi on during sleep] (スリープ中に Wi-Fi を有効にする) - Wi-Fi 無線をオフにするかどうか、およびオフにする状況を設定するためのメニューを開きます。

- + **[Always (increases data usage)] (常時 (データ使用量の増加))** - デバイスがサスペンドモードになったときも無線をオンのままにします。
- + **[Only when plugged in] (電源接続中のみ)** - デバイスが外部電源に接続されている間は無線をオンのままにします。
- + **[Never On] (常時オフ)** - デバイスがサスペンドモードになっているときは無線をオフにします (デフォルト)。
- **[Install Certificates] (証明書のインストール)** - タッチして、証明書をインストールします(Android バージョン 4.4.3 以上でのみ利用できます)。
- **[Wi-Fi optimization] (Wi-Fi の最適化)** - タッチすると、Wi-Fi がオンのときにバッテリー使用量を削減できます (デフォルト - 無効) (Android バージョン 4.4.3 以上でのみ利用できます)。
- **[MAC address] (MAC アドレス)** - Wi-Fi ネットワークに接続しているときにデバイスのメディア アクセス制御 (MAC) アドレスを表示します。
- **[IP address] (IP アドレス)** - Wi-Fi ネットワークに接続されているときにデバイスの IP アドレスを表示します(Android バージョン 4.1.2 でのみ利用できます)
- **[Regulatory] (規制) (Android バージョン 4.4.3 以上でのみ利用できます)**
 - **[Enable 802.11d] (802.11d の有効化)** - デフォルトで有効になっています。デバイスは、国コードを含む規制情報を AP から取得します。AP から取得した国コードを表示します。
 - **[Enable 802.11d Strict mode] (802.11d 厳密モードの有効化)** - 取得した国が、AP によってブロードキャストされた国と一致する場合のみ、デバイスは接続を行います。
 - **[Country selection] (国の選択)** - 802.11d が有効なときに取得された国コードを表示します。802.11d が有効でないときは、現在選択されている国コードを表示します。
 - **[Region code] (リージョンコード)** - 現在のリージョンコードを表示します。
- **[Band and Channel Selection] (帯域とチャネルの選択) (Android バージョン 4.4.3 以上でのみ利用できます)**
 - **[Wi-Fi frequency band] (Wi-Fi 周波数帯)** - 周波数帯を選択するのに使用します。オプション: **[Auto] (自動)** (デフォルト)、**[5 GHz only] (5GHz 専用)**、および **[2.4 GHz only] (2.4GHz 専用)**。
 - **[Available channels (2.4 GHz)] (使用可能なチャネル (2.4GHz))** - 特定のチャネルを選択するのに使用します。タッチして、**[Available channels] (使用可能なチャネル)** メニューを表示します。特定のチャネルを選択します。[OK] をタッチします。
 - **[Available channels (5 GHz)] (使用可能なチャネル (5GHz))** - 特定のチャネルを選択するのに使用します。タッチして、**[Available channels] (使用可能なチャネル)** メニューを表示します。特定のチャネルを選択します。[OK] をタッチします。
- **[Logging] (ロギング) (Android バージョン 4.4.3 以上でのみ利用できます)**
 - **[Advanced Logging] (詳細ロギング)** - システム ログを継続的にファイルに収集し、Wi-Fi 関連の問題のデバッグと解決に役立てます。デフォルトで表示されます。[Advanced Logging] (詳細ロギング) ダイアログ ボックスで、**[Enable Logging] (ログの有効化)** を選択します。必要な場合は、ログ ディレクトリの場所を変更します。有効になっている場合は、以下のログが収集されます。



注:

TC55 に microSD カードが取り付けられている必要があります。

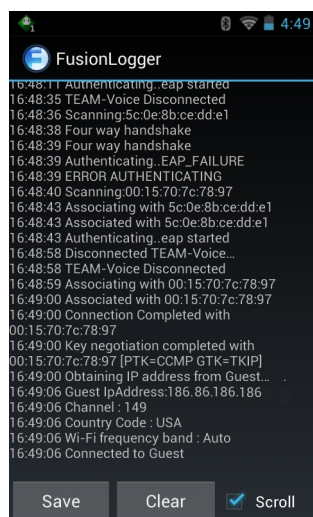
TC55 では、すべてのログ ファイルは、/storage/sdcard0/fusionlogs に保存されます。

ログの記録を開始する前に、以前のログを消去するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。

詳細ロギングを停止すると、tcpdump 読み取りファイルおよび fusion-sysinfo.log のみが生成されます。

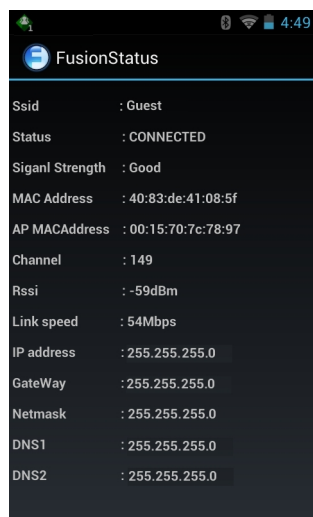
- + タイムスタンプとカーネルメッセージを含む Android logcat 出力が記録されるファイル:
fusion-wlan.log
- + ネットワークスタックとドライバの間のパケットの tcpdump 中間収集が記録されるファイル:
fusion-pktcap.pcap
- + Fusion のバージョン、Wi-Fi ステータスマシンログ、および他のフレームワーク情報が記録されるファイル: fusion-sysinfo.log
- **[Wireless logs] (無線ログ)** - Wi-Fi ログファイルを読み取るのに使用します。
- + **[Fusion Logger] (Fusion ロガー)** - タッチして、**[Fusion Logger] (Fusion ロガー)** アプリケーションを開きます。このアプリケーションは、高レベルの WLAN イベントの履歴を保持するため、接続のステータスを理解するのに役立ちます。

図 120: [Fusion Logger] (Fusion ロガー) 画面



- + **[Fusion Status] (Fusion ステータス)** - タッチして、WLAN 状態のライブステータスを表示します。また、デバイスおよび接続されたプロファイルの情報を提供します。

図 121: [Fusion Status] (Fusion ステータス) 画面




- **[About] (バージョン情報)** (Android バージョン 4.4.3 以上でのみ利用できます)
 - **[Version] (バージョン)** - 現在の Fusion 情報を表示します。

WLAN の設定



注: Android バージョン 4.1.2 でのみ利用できます。






追加の WLAN 設定を行うには、[WLAN Configuration] (WLAN の設定) 設定を使用します。[Wi-Fi] 画面で、 > [WLAN Configuration] (WLAN の設定) をタッチして設定を表示します。

- [Country Override] (国のオーバーライド) - オンにすると 802.11d が無効になります。メニューから運用する国を選択します。
- レート選択
 - [Auto Mode (a/b/g/n)] (自動モード (a/b/g/n)) - 利用可能なすべてのデータ転送速度を使用します (デフォルト)。
 - [11a/b/g Only] (11a/b/g のみ) - 802.11 a/b/g のみを使用します。
 - [11n mode Only] (11n モードのみ) - 802.11n のみを使用します。
- 帯域の選択
 - [Auto (2.4GHz and 5GHz)] (自動 (2.4GHz および 5GHz)) - 2.4GHz と 5GHz 両方の帯域を使用します (デフォルト)。
 - [2.4Ghz Only] (2.4Ghz のみ) - 2.4GHz 帯域のみを使用します。
 - [5Ghz Only] (5Ghz のみ) - 5GHz 帯域のみを使用します。
- [Enable Power Saving] (節電を有効にする) - 有効にすると、WLAN 機能が使用されていないときに、WLAN 無線通信がスリープモードになります。

Wi-Fi ネットワークの変更

ユーザーは、Wi-Fi リストにあるネットワークの設定とパスワードを変更できます。





手順



- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Wi-Fi] をタッチします。
- 4 Wi-Fi のスイッチを [On] (オン) の位置にスライドさせます。
- 5 ネットワーク名をタッチし、その状態を維持しながら、[Modify network] (ネットワークの変更) をタッチします。
- 6 ネットワーク設定を変更し、[Save] (保存) をタッチします。
- 7  をタッチします。

WPS を使用した Wi-Fi ネットワークへの接続

Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用すると、ユーザーは Wi-Fi Protected Access を設定して、長いパスフレーズを入力せずに既存のネットワークに新しいデバイスを簡単に追加できます。

手順






- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Wi-Fi] をタッチします。

- 4 Wi-Fi のスイッチを **[On] (オン)** の位置にスライドさせます。
- 5  をタッチします。
- 6 ワイヤレス ルーターで、WPS ボタンを押します。
TC55 がワイヤレス ルーターに接続します。
- 7  をタッチします。

Wi-Fi ネットワークの削除

認識または接続されているネットワークを削除するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  **[Wi-Fi]** をタッチします。
- 4 **[Wi-Fi networks] (Wi-Fi ネットワーク)** リストで、ネットワークの名前をタッチし、その状態を維持します。
- 5 メニューで、**[Forget network] (ネットワークの削除)** をタッチします。
- 6  をタッチします。

Bluetooth

Bluetooth 対応デバイス は、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS) 無線周波数 (RF) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信を行えます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/32.8 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載したデバイスは、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル デバイスといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続を確立したり、検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップシーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、エンタープライズ デバイスはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

デバイスの Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 10m (32.8 フィート) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖さ

れたオフィス空間)によって左右されるため、パワー クラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。



注: 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

[Security]

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしたデバイスの共通個人識別番号 (PIN) を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用できます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の 1 つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。および PIN コードをデバイスに保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Bluetooth プロファイル

TC55 では、次の Bluetooth サービスがサポートされます。

- 一般アクセス プロファイル (GAP) - デバイスの検出と認証に使用します。
- サービス検索プロトコル (SDAP) - 既知のサービスと特殊なサービス、および一般サービスを検索します。
- シリアル ポート プロファイル (SPP) - 仮想シリアル ポートをセットアップして、2 つの Bluetooth 対応デバイスを接続します。たとえば、TC55 をプリンタに接続します。
- ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル (HID) - Bluetooth キーボード、ポインティング デバイス、ゲーミング デバイス、およびリモート監視デバイスを TC55 に接続します。
- オブジェクト プッシュ プロファイル (OPP) - TC55 がプッシュ サーバーとの間でオブジェクトをプッシュまたはプルできるようにします。
- ハンズフリー プロファイル (HFP) - Bluetooth ヘッドセットのようなハンズフリー デバイスを使用して、TC55 で発信と着信を実行できるようにします。
- 高品質オーディオ配信プロファイル (A2DP) - TC55 がワイヤレス ヘッドセットまたはワイヤレス ステレオスピーカに、ステレオ品質のオーディオをストリーミングできるようにします。
- Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP) - TC55 がテレビやハイファイ機器などを制御できるようにします。
- General Object Exchange Profile (GOEP) - 他のデータ プロファイルに対して基盤を提供します。OBEX に基づいており、OBEX と呼ばれることもあります。

- ハンズフリー プロファイル (HFP) - 自動車のハンズフリー キットを使用して、車内の携帯電話と通信できるようにします。
- パーソナルエリア ネットワーク (PAN) - Bluetooth リンク経由で送信を行うときに、レイヤー 3 プロトコル上で Bluetooth ネットワーク カプセル化プロトコルを使用できるようにします。
- General Audio/Video Distribution Profile (GAVDP) - A2DP および VDP に対して基盤を提供します。
- PhoneBook Access Profile (PBAP) - 車載キットと携帯電話の間で Phone Book オブジェクトを交換できるようにし、その結果、車載キットで、着信通話の発信者の名前を表示し、Phone Book をダウンロードしてユーザーが車載ディスプレイから通話を開始できるようにします。

Bluetooth の電源の状態

Bluetooth 無線はデフォルトではオフです。

- **[Suspend] (サスペンド)** - TC55 がサスペンド モードに移行すると、Bluetooth 無線はオンのままとなります。
- **[Airplane Mode] (航空機モード)** - TC55 を [Airplane Mode] (航空機モード) に設定すると、Bluetooth 無線がオフになります。機内モードが無効になっている場合、Bluetooth 無線は前の状態に戻ります。機内モードのとき、必要に応じて Bluetooth 無線を元の状態に戻すことができます。

Bluetooth 無線の電源 – Android

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスはデバイスを検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。



注: 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。





Bluetooth の有効化

手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3 Bluetooth スイッチを**オン**の位置にスライドします。  もステータス バーに表示されます。
- 4  を押します。

Bluetooth の無効化

手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3 Bluetooth スイッチを**オフ**の位置にスライドします。
- 4  を押します。

Bluetooth デバイスを検出する

TC55 は、検出されたデバイスとペアリングされていなくても、そのデバイスから情報を受信できます。ただし、ペアリングしておけば、Bluetooth 無線をオンにした時点で TC55 とペアリングされたデバイスは自動的に情報を交換します。通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

手順





- 1 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
- 2 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
- 3 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
- 4  をタッチします。
- 5  または  をタッチします。
- 6  [Bluetooth] をタッチします。
- 7 [SCAN FOR DEVICES] (デバイスのスキャン) をタッチします。通信圏内の検出可能 Bluetooth デバイスの検索が開始され、[AVAILABLE DEVICES] (利用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
- 8 リストをスクロールし、デバイスを選択します。[Bluetooth pairing request] (Bluetooth ペアリングの依頼) ダイアログ ボックスが表示されます。

図 122: Bluetooth のペアリング - PIN の入力

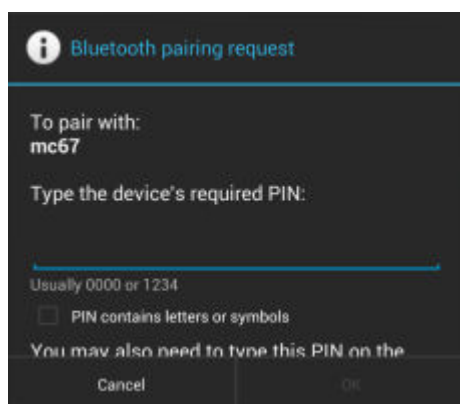
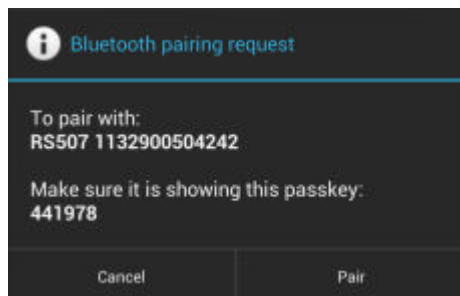


図 123: Bluetooth のペアリング - シンプル ペアリング









- 9 テキスト ボックスに PIN を入力して、[OK] をタッチします。接続先デバイスに同じ PIN を入力します。
- 10 シンプル ペアリングの場合は、両方のデバイスで [ペア] をタッチします。
- 11 Bluetooth デバイスが [Bluetooth devices] (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

Bluetooth の名前の変更

TC55 ではデフォルトで汎用の Bluetooth 名が使用され、他のデバイスに接続されるとそのデバイスに表示されます。





手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Bluetooth] をタッチします。
- 4 Bluetooth の電源がオンになっていない場合は、スイッチを**オン**にします。
- 5  をタッチします。
- 6 [Rename device] (デバイスの名前変更) をタッチします。
- 7 名前を入力して、[Done] (完了) をタッチします。
- 8  をタッチします。

Bluetooth デバイスへの接続

ペアリングが完了したら、Bluetooth デバイスに接続します。







手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Bluetooth] をタッチします。
- 4 Bluetooth の電源がオンになっていない場合は、スイッチを**オン**にします。
- 5 [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス) リストで、メニューが表示されるまで、接続されていない Bluetooth デバイスをタッチし、その状態をしばらく維持します。
- 6 [Connect] (接続) をタッチします。接続されると、そのデバイスがリスト内に接続済みとして表示されます。

Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択

一部の Bluetooth デバイスには複数のプロファイルが含まれています。プロファイルを選択するには、次の手順に従います。







手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Bluetooth] をタッチします。
- 4 [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の横にある  をタッチします。
- 5 [PROFILES] (プロファイル) の下で、プロファイルをオンまたはオフにして、デバイスがプロファイルを使用できるようにします。
- 6  を押します。

Bluetooth デバイスのペアリング解除

Bluetooth デバイスのペアリングを解除してすべてのペアリング情報を消去するには、次の手順に従います。

手順

- 1  をタッチします。
- 2  または  をタッチします。
- 3  [Bluetooth] をタッチします。
- 4 [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の横にある  をタッチします。
- 5 [Unpair] (ペアリング解除) をタッチします。
- 6  をタッチします。

CS3070 とのペアリング

手順

- 1 CS3070 のスキャン ボタン (+) を押してスキャナをウェイクアップします。
- 2 Bluetooth ボタン (丸いボタン) を 5 秒間押し続けます。ビープ音が鳴って Bluetooth ボタンが速く点滅します。これは、スキャナがホストによって検出可能な状態にあることを示します。







注:

HID は CS3070 のデフォルトのプロファイルです。変更されている場合は、下のバーコードをスキャンします。

図 124: Bluetooth キーボード エミュレーション (HID) バーコード



- 3  をタッチします。
- 4  または  をタッチします。
- 5  [Bluetooth] をタッチします。
- 6 スイッチを **オン** の位置にスライドします。
- 7 CS3070 が [Available Devices] (利用可能なデバイス) リストに表示され、モデル名とシリアル番号で示されます。
- 8 リストから CS3070 を選択します。
ダイアログ ボックスに CS3070 に入力する PIN が表示されます。
- 9 CS3070 で、数値バーコードを使用して PIN をスキャンします。[PIN 入力のための CS3070 数値バーコード \(ページ 153\)](#) を確認して、**Enter** をスキャンします。スキャナでビープ音が鳴り、デバイスとのペアリングが完了したことを示し、デバイスでは [Connected] (接続済み) が CS3070 デバイス名の下に表示されます。

PIN 入力のための CS3070 数値バーコード

Bluetooth 接続には、PIN 入力用の以下のバーコードを使用します。



SSI を使用した RS507 ハンズフリー イメージャのペアリング

RS507 のハンズフリー イメージャをデバイスで使用して、バーコードデータを収集できます。

手順



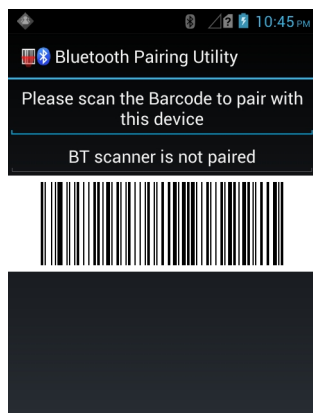

- 1 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
- 2 RS507 にバッテリーを取り付けます。
- 3 TC55 で  をタッチします。
- 4  をタッチします。

図 125: Bluetooth ペアリング ユーティリティ



- 5 RS507 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。
RS507 で、高いビープ音と低いビープ音が交互に鳴ります。スキャン LED が緑色に点滅し、RS507 が TC55 との接続を確立しようとしていることを示します。接続が確立されると、スキャン LED が消灯し、RS507 で、低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。
- 6 TC55 で  をタッチします。

RS507 ハンズフリー イメージャのペアリング



RS507 のハンズフリー イメージャをデバイスで使用して、バーコードデータを収集できます。

手順

- 1 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
- 2 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
- 3 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
- 4 RS507 をヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードに設定します。RS507 がすでに HID モードである場合は、手順 5 に進みます。
 - a バッテリーを RS507 から取り出します。
 - b 復元キーを押し続けます。
 - c バッテリーを RS507 に取り付けます。
 - d チャープ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。
 - e 以下のバーコードをスキャンして、RS507 を HID モードに設定します。

図 126: RS507 Bluetooth HID バーコード



- 5  をタッチします。
- 6  または  をタッチします。
- 7  [Bluetooth] をタッチします。
- 8 [SCAN FOR DEVICES] (デバイスのスキャン) をタッチします。エリア内に検出できる Bluetooth デバイスがあるか検索が開始され、[AVAILABLE DEVICES] (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
- 9 リストをスクロールし、RS507 を選択します。
デバイスは RS507 に接続し、デバイス名の下に [Connected] (接続済み) と表示されます。Bluetooth デバイスが [Bluetooth devices] (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

Near Field Communications (NFC)

NFC/HF RFID は、リーダーと非接触型スマート カード間の安全なトランザクションを可能にする短距離無線接続技術です。この技術は、HF 13.56MHz の免許不要の帯域を利用し、ISO/IEC 14443 type A/B (近接) および ISO/IEC 15693 (周辺) 標準に基づいています。TC55n では次の動作モードがサポートされています。

- リーダー モード
- ピアツーピア通信
- カードエミュレーション モード

NFC を使用して、TC55 で次のことを実行できます。

- 別の NFC デバイスとのデータの交換。
- サポート対象の医用センサーからの情報の読み取り。
- プリンタやヘッドセットなどのサポート対象の Bluetooth デバイスのペアリング。
- 非接触型チケット、ID カードおよび ePassport などの非接触型カードの読み取り。
- SmartPoster やチケットなどの非接触型カードのほか、自動販売機などの NFC インタフェース搭載デバイスに対する情報の読み取りと書き込み。
- 支払い、チケット、SmartPoster などの非接触型カードをエミュレートします (UICC カードエミュレーションはすべてのバージョンの Android で利用できます。ホストカードエミュレーションは Android バージョン 4.4.3 でのみ利用できます)。

TC55 NFC アンテナは、アンテナのアイコンで示されているように、バッテリー カバーの下部に配置されています。

NFC を使用した情報の共有

複数のデバイスを背中合わせにして、画面に表示されている Web ページ、ビデオ、または他のコンテンツを送信することができます。

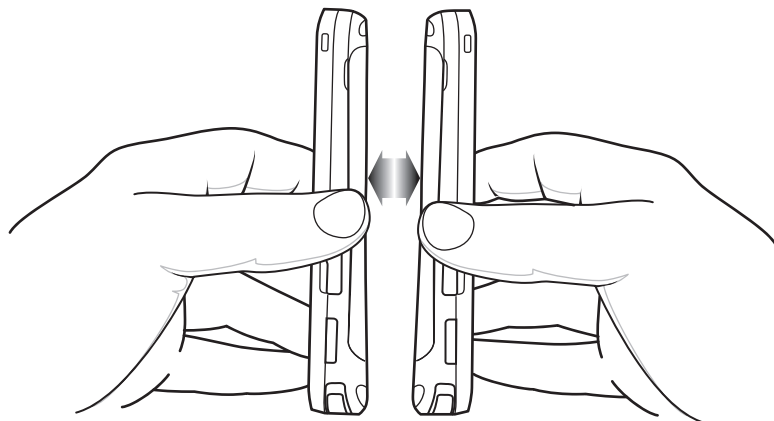
複数のデバイスを背中合わせにして、画面に表示されている Web ページ、連絡先カード、画像、YouTube のリンクまたは位置情報などのコンテンツを送信することができます。

前提条件: 両方のデバイスがロックされていないこと、NFC をサポートしていること、および NFC と Android Beam の両方がオンになっていることを確認してください。

手順

- 1 Web ページ、ビデオ、写真、または連絡先を表示する画面を開きます。
- 2 TC55 の背面を接続先デバイスの背面に向けて近づけます。

図 127: NFC を使用したデータの共有



デバイスが接続された時点で、サウンドが再生され、画面に表示されている画像のサイズが縮小され、**[Touch to beam] (タッチして送信)** というメッセージが表示されます。

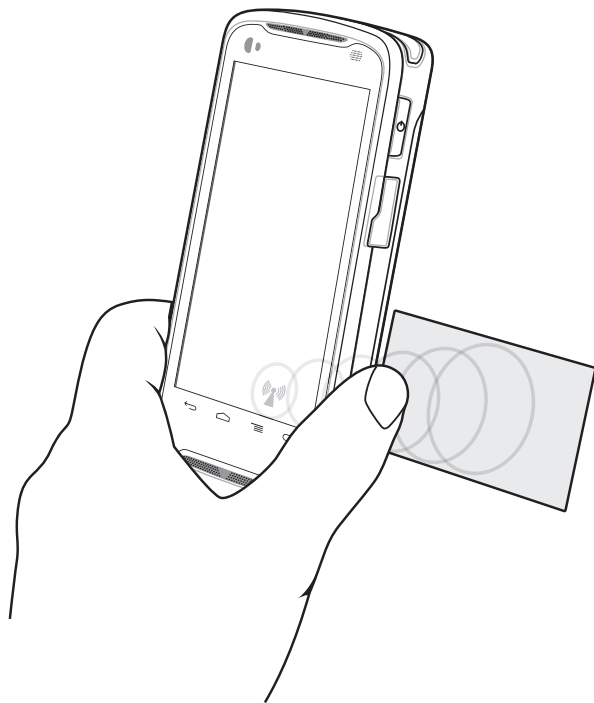
- 3 画面のどこかにタッチします。
送信が開始されます。

NFC を使用した通信

手順

- 1 NFC 対応アプリケーションを起動します。
- 2 次に示すように、TC55 を持ちます。バッテリー カバーのアンテナを覆わないでください。

図 128: NFC チップ、タグ、またはカードとの通信



- 3 データ転送が完了する (通常、アプリケーションによってそのことが示されます) まで、TC55 を NFC チップ、タグ、またはカードの近くに移動します。

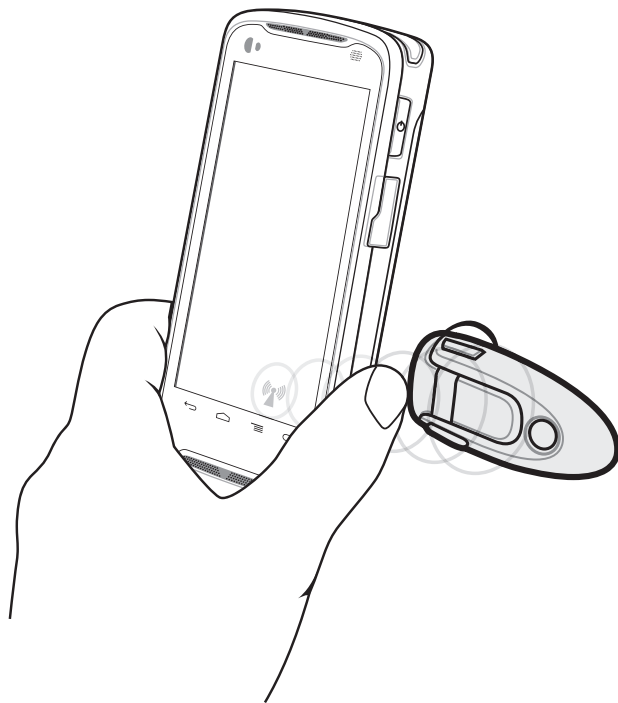
NFC 対応 Bluetooth デバイスとのペアリング

前提条件: NFC 対応 Bluetooth デバイスの電源が投入され、検出可能モードになっていることを確認してください。デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

手順

- 1 TC55 を図のように持ちます。バッテリー カバーのアンテナを覆わないでください。

図 129: NFC 対応デバイスとのペアリング



2 TC55 をデバイスの近くに移動します。デバイスが、ペアリングが成功したことを示します。

エンタープライズ NFC の設定



注: Android バージョン 4.4.3 でのみ利用できます。

[Enterprise NFC Settings] (エンタープライズ NFC 設定) は、NFC 無線の詳細設定を提供します。

NFC を設定するには、[Settings] (設定) > [More ..] (詳細..) > [Enterprise NFC Settings] (エンタープライズ NFC 設定) をタッチします。

図 130: [Wireless & Networks] (無線およびネットワーク) 画面

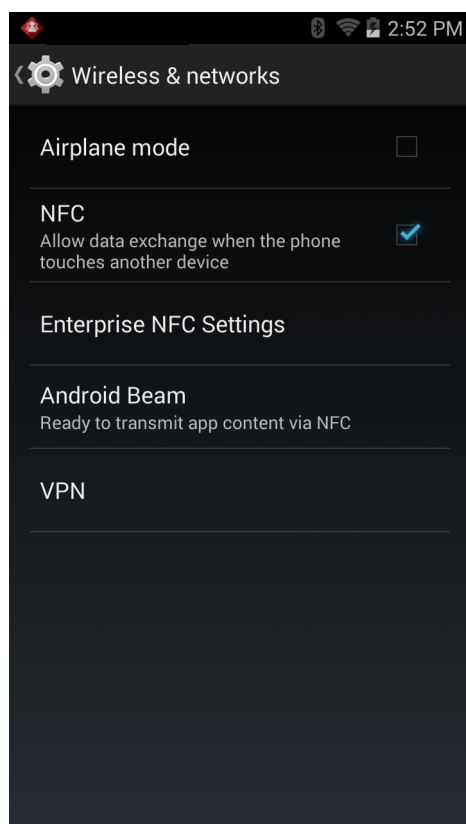
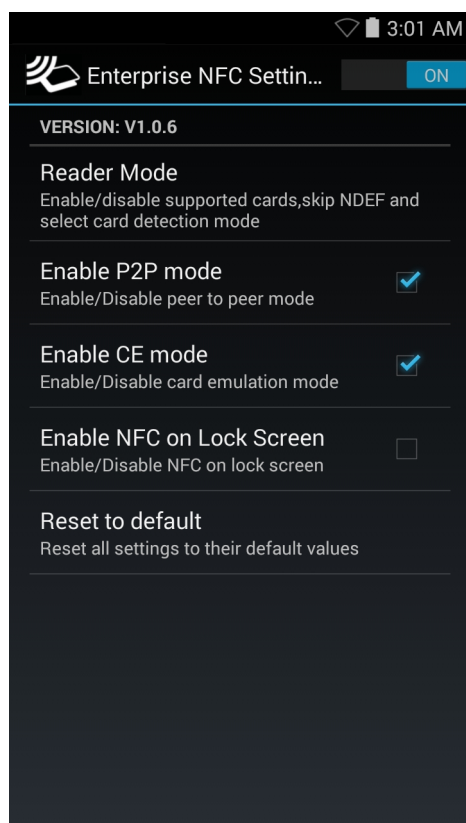


図 131: [Enterprise NFC Settings] (エンタープライズ NFC 設定) 画面

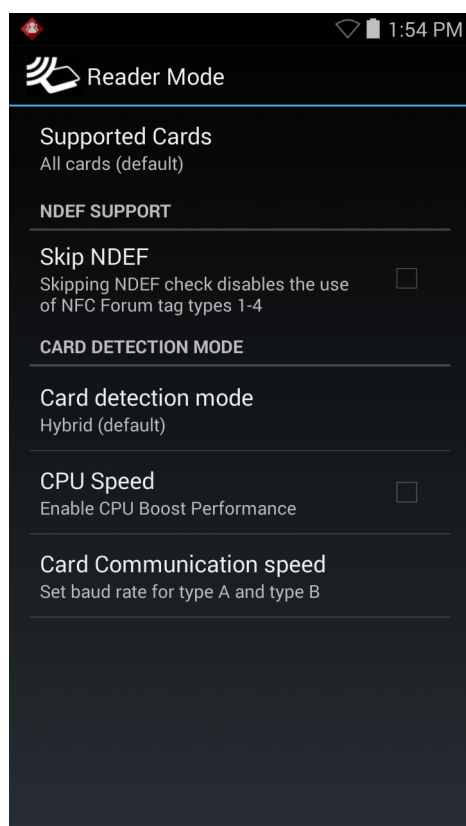


- **[Reader Mode] (リーダー モード)** - タッチして、[Reader Mode] (リーダー モード) 設定画面を開きます。
- **[Enable P2P mode] (P2P モードの有効化)** - ピアツーピア モードを有効または無効にします。デフォルト: 有効。
- **[Card Emulation Mode] (カードエミュレーション モード)** - カードエミュレーション モードを有効または無効にします。デフォルト - 無効。
- **[Enable CE mode] (CE モードの有効化)** - タッチして、カードエミュレーション モードを有効または無効にします。デフォルト - 無効。
- **[Enable NFC on Lock Screen] (ロック画面の NFC の有効化)** - ロック画面の NFC を有効または無効にします。
- **[Reset to Default] (デフォルトにリセット)** - すべての NFC 設定を工場出荷時の設定にリセットします。

リーダー モード

[Reader Mode] (リーダー モード) 設定を使用して、NFC 無線を設定します。

図 132: リーダー モードの設定



- **[Supported Cards] (サポート対象のカード)** - タッチして、サポートする NFC カードのタイプを選択します。オプションは、[All Cards] (すべてのカード) (デフォルト)、[Type A] (タイプ A)、[Type B] (タイプ B)、[Type F] (タイプ F) または [Type V] (タイプ V) です。
- **[NDEF Support] (NDEF サポート)**
 - **[Skip NDEF] (NDEF のスキップ)** - NFC Forum タグ タイプ 1 ~ 4 の使用を有効または無効にします。デフォルト - 無効。
- **[Card Detection Mode] (カード検出モード)**
 - **[Card Detection Mode] (カード検出モード)** - タッチして、カード検出モードを選択します。オプションは、[Low power] (低出力)、[Standard] (標準) または [Hybrid] (混合) (デフォルト) です。

- **[CPU Speed] (CPU 速度)** – タッチして、少量データを読み取りながら、NFC トランザクションのパフォーマンスを強化します。デフォルト: **[Disabled] (無効)**。
- **[Card Communication speed] (カードの通信速度)** – タッチして、タイプ A とタイプ B カードのボーレートを設定します。オプションは、**106kbps** (タイプ A のデフォルト)、**212kbps**、**424kbps**、または **[No restrictions] (制限なし)** (タイプ B のデフォルト) です。

第7章

アクセサリ

この章では、デバイスのアクセサリの使用方法について説明します。

TC55 のアクセサリ

次の表に、TC55 で使用できるアクセサリを示します。

表 10: TC55 のアクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
5 スロット充電専用クレードル	CRDUNIV-55-5000R	最大 5 台の TC55 デバイスを充電できます。追加の電源が必要です。
5 スロット充電専用クレードル ベース	CRDUNIV-XX-5000R	最大 5 台の TC55 デバイスを充電できます。充電用カップと追加の電源が必要です。
車載用クレードル	CRD-TC55-VCD1-01	TC55 が車載可能になります。
充電器		
電源 (DC 12V、4.16A)	PWRS-14000-148R	5 スロット充電専用クレードルに電力を供給します。
電源 (DC 5V、1.2A)	PWRS-124306-01R	TC55 に電力を供給します。
ケーブル		
高耐久性充電ケーブル	CBL-TC55-CHG1-01	TC55 に電力を供給します。
マイクロ USB ケーブル	25-MCXUSB-01R	ホスト コンピュータとの USB 通信を実行します。
車用充電ケーブル	VCA400-01R	自動車のシガー ライターを使用して車載用クレードルで TC55 を充電します。
US AC 電源コード (3 ワイヤ)	50-16000-221R	電源に電力を供給します。
内部 AC 電源コード	-	電源に電力を供給します。別途ご購入ください。
その他		
予備の 2,940mAh リチウムイオンバッテリー	BTRY-TC55-29MA1-01	交換用 2,940mAh バッテリ

次ページに続く ...

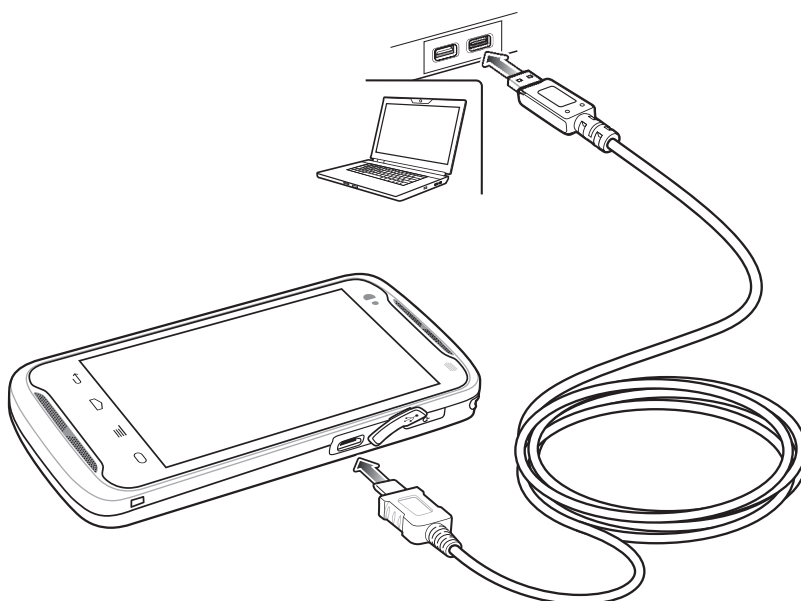
アクセサリ	部品番号	説明
予備の 4,410mAh リチウムイオン バッテリ	BTRY-TC55-44MA1-01	交換用 4,410mAh バッテリ
2,940mAh バッテリ カバー	KT-TC55-29BTYD1-01	2,940mAh バッテリ用の交換用バッテリ カバー
4,410mAh バッテリ カバー	KT-TC55-44BTYD1-01	4,410mAh バッテリ用の交換用バッテリ カバー
充電キャップ	CUPTC55XX-1000R	マルチ スロット充電専用クレードル ベースに取り付け、TC55 用の充電スロットを用意します。
ブランクのスロット カバー	CUPUNICVR-5000R	5 スロット充電専用クレードルに装着して、キャップが不要なときにスロットをカバーします (5 個組)。
保護ブーツ (青/黒)	SG-TC55-BOOT1-01	TC55 の保護を強化します。
保護ブーツ (灰色/黒)	SG-TC55-BOOT2-01	TC55 の保護を強化します。
保護ブーツ用スタイラス	KT-TC55-STYLUS1-01	テザー付きの保護ブーツ用単一スタイラス。
	KT-TC55-STYLUS1-03	テザー付きの保護ブーツ用スタイラス (3 個パック)。
ハンドストラップ	SG-TC55-HSTRPH-01	保護ブーツに取り付け
ホルスター	SG-TC55-HLSTR1-01	ベルトに取り付け、TC55 の置き場を確保します。

マイクロ USB ケーブル

ホスト コンピュータとの USB 通信を実行するには、Micro USB ケーブルを使用します。

Micro USB ケーブルによって TC55 がホスト コンピュータと接続されている場合、TC55 はホスト コンピュータ上でリムーバブル ディスクとして表示されます。詳細については、『*TC55 Integrator Guide*』(英語)を参照してください。

図 133: Micro USB ケーブルの使用方法





注: TC55 を充電する方法として好ましいのは、高耐久性充電ケーブルを使用することです。また、Micro USB ケーブルを使用して TC55 を充電することもできますが、バッテリーをフル充電するまでの時間が長くなります。

高耐久性充電ケーブル

TC55 を充電するには、高耐久性充電ケーブルを使用します。

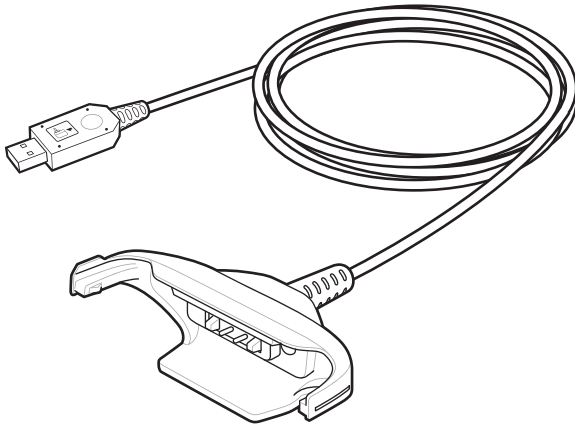


注:

高耐久性充電ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに接続しないでください。高耐久性充電ケーブルを使って、ホスト コンピュータから TC55 に充電することはできません。

高耐久性充電ケーブルは、Zebra の電源、p/n PWRS-124306-01R と組み合わせて使用してください。

図 134: 高耐久性充電ケーブル



高耐久性充電ケーブルのセットアップ

図 135: TC55 への高耐久性充電ケーブルの接続

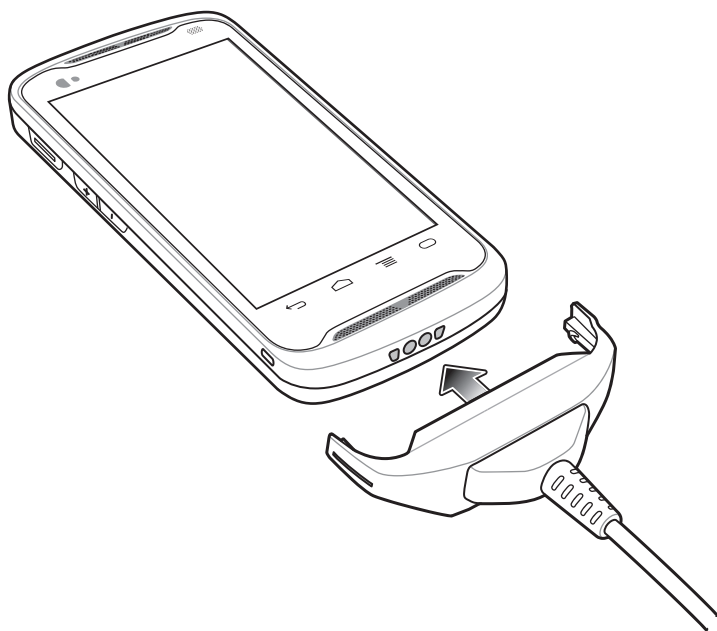
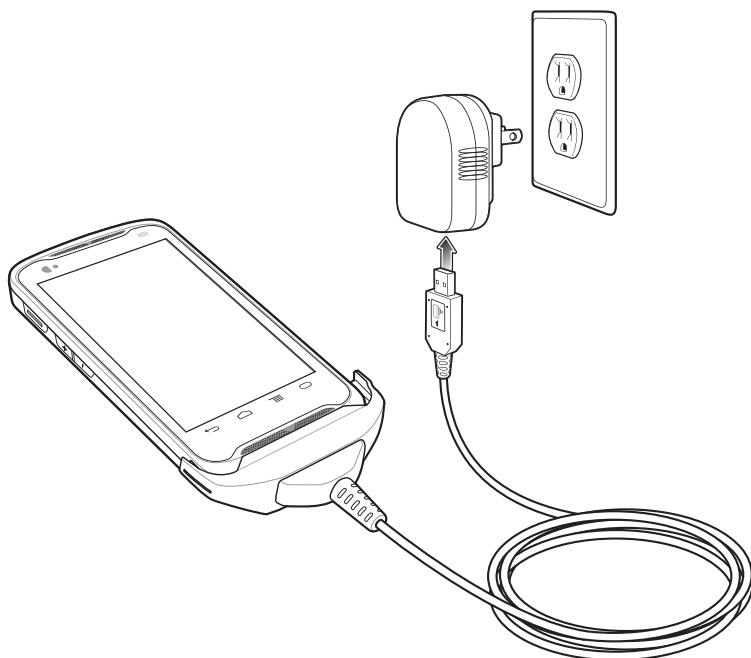
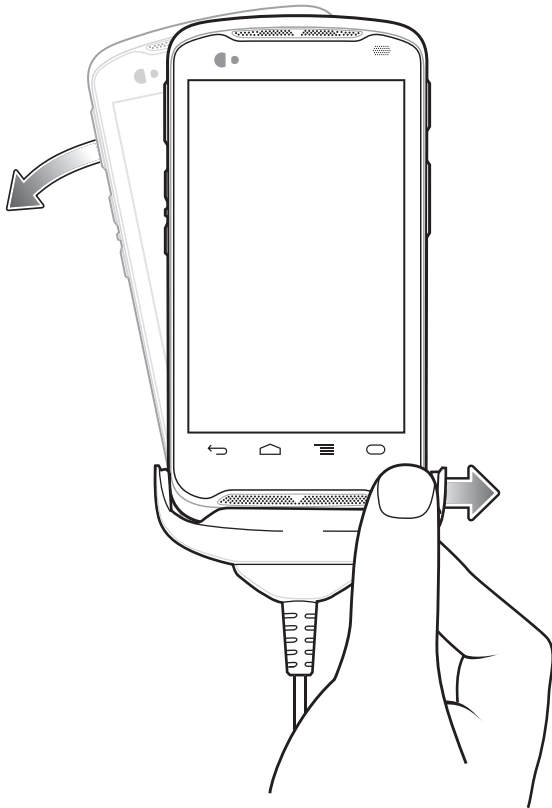


図 136: 電源への接続



高耐久性充電ケーブルの取り外し

図 137: 高耐久性充電ケーブルの取り外し



5 スロット充電専用クレードル

5 スロット充電専用クレードルには、次のような機能があります。

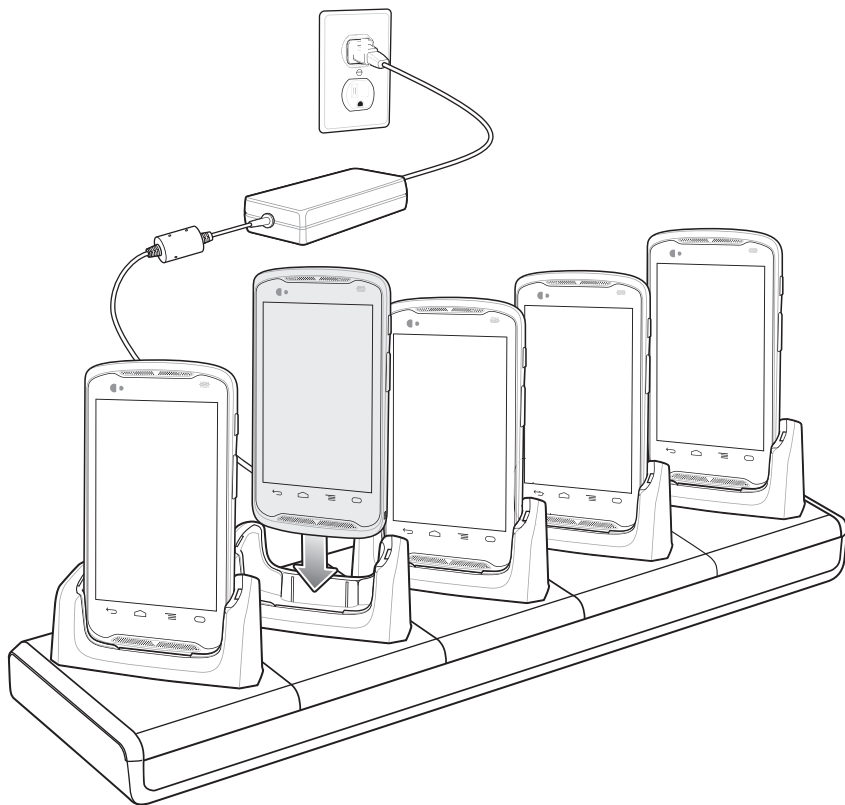
- TC55 の動作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- 最大 5 台の TC55 を同時に充電します。
- クレードル ベースとオプションのカップで構成されます。

セットアップと設定の方法については、『*TC55 Integrator Guide*』(英語)を参照してください。

TC55 の充電

TC55 を充電するには、空いているスロットに TC55 を挿入します。

図 138: 5 スロット充電専用クレードル



TC55 の LED に、バッテリー充電の状態が表示されます。充電の状態の表示については、バッテリー充電 LED の状態を参照してください。2,940mAh バッテリーの充電には約 3 時間かかり、4,410mAh バッテリーの充電には約 4.5 時間かかります。

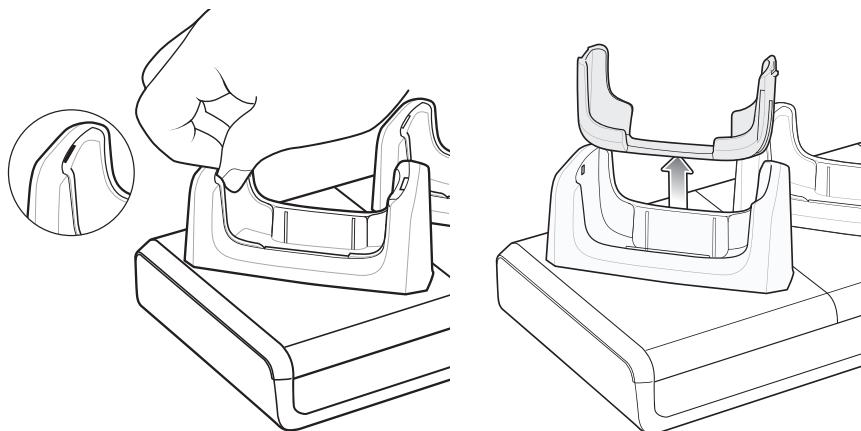
充電 LED に、各バッテリーの充電状態が表示されます。充電の状態の表示については、[充電 LED のステータス \(ページ 30\)](#) を参照してください。

バッテリーの充電は、0 ～ 40°C の温度で行ってください。安全な動作を保証し、バッテリーの長期的な寿命を最適化するために、充電は充電器によって精密に制御されています。温度の制御を実現するため、充電器がバッテリーの充電を交互に有効にしたり無効にしたりして、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、充電器の LED にエラーが表示されます。

TC55 とブーツのクレードルへの挿入

クレードルの各カップには挿入物があり、TC55 を保護ブーツとともに挿入する前にその挿入物を取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、TC55 をカップに挿入します。

図 139: カップの挿入物の取り外し



車載用充電クレードル



警告: 車両のダッシュボードへの電子デバイスの取り付けが一切禁止されている国もあります。車載キットを取り付ける前に、各地域の法規則で取り付けが許可されている場所を確認してください。

車載用器具は、埃や油の付いていない平らな面に取り付けてください。ガラス クリーナーときれいな木綿布で取り付け面を清掃します。フロントガラスなど、車内の平らな面に、付属品の取り付け用ディスクを使用して車載用器具を取り付けます。

TC55 は、自らがクレードルに挿入されたときに、そのことを検出できます。[Dock settings] (ドック設定) を使用して、TC55 がクレードル内にある場合の設定を行います。詳細については、『*TC55 Integrator Guide*』(英語) を参照してください。

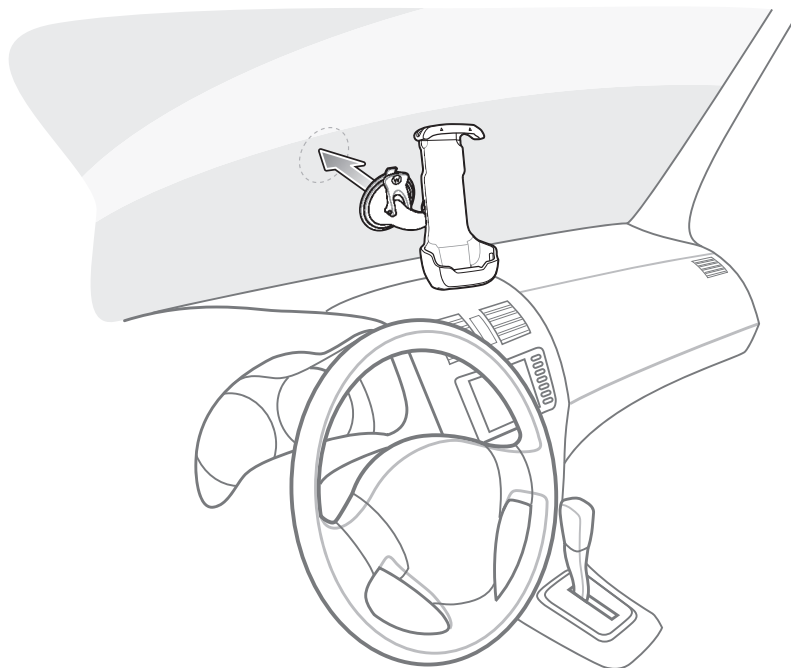
TC55 は、保護ブーツを使用してもなくてもクレードル内に配置することができます。

車載用クレードルのフロントガラスへの取り付け

手順

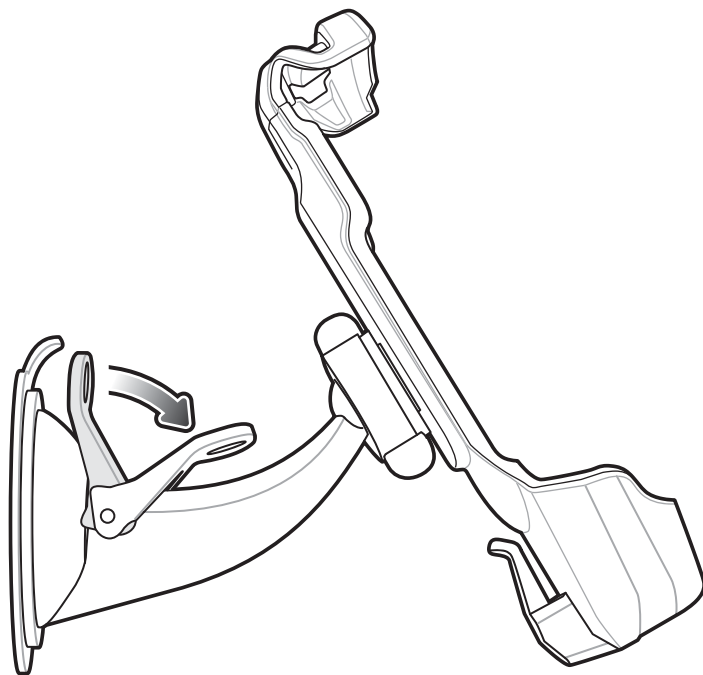
- 1 吸着カップ取り付け具を、吸着レバーが上を向くようにして、取り付け領域に固定します。

図 140: フロントガラスへの取り付け



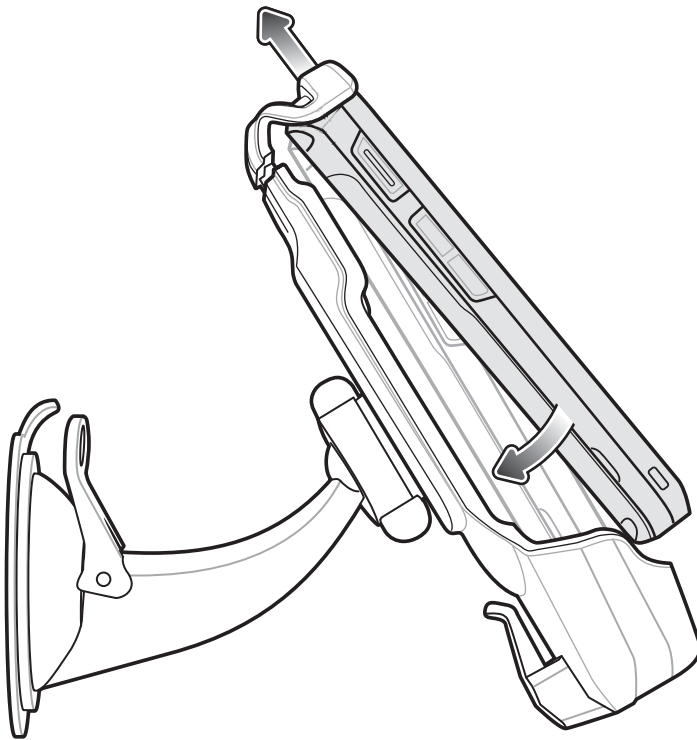
- 2 レバーを下に動かし、吸着カップと取り付け面の間を真空にします。

図 141: フロントガラスに対するレベルの移動



- 3 次の手順に進む前に、吸着力が十分に強力であることを確認します。
- 4 TC55 の上部を最初にクレードルに入れ、押し上げます。
- 5 下部を回転させるようにしてクレードルに入れ、クレードルの下部に装着します。

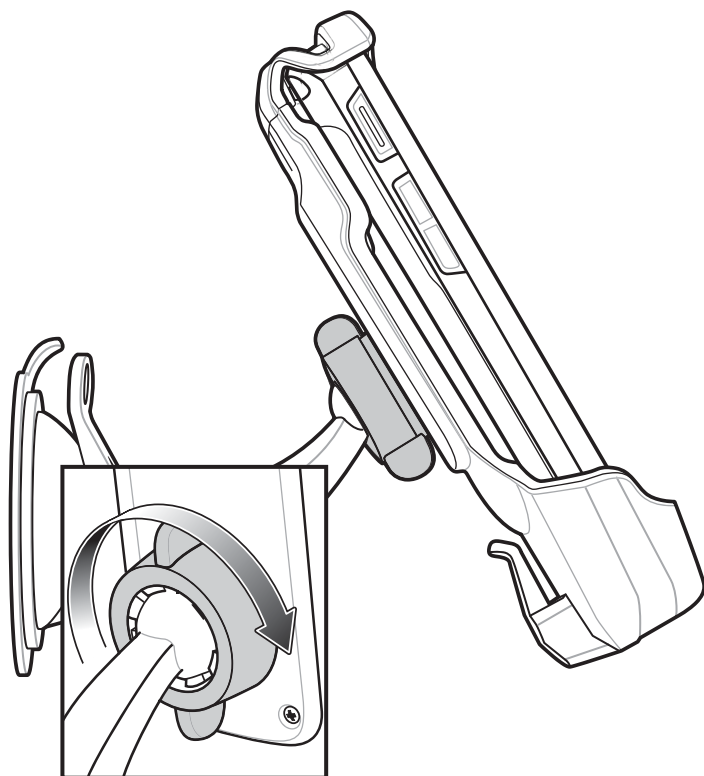
図 142: TC55 の車載用充電クレードルへの挿入



注: TC55 を車載用クレードルに取り付けると、挿入されたことが自動的に検出され、デフォルトで自動車モードになります。

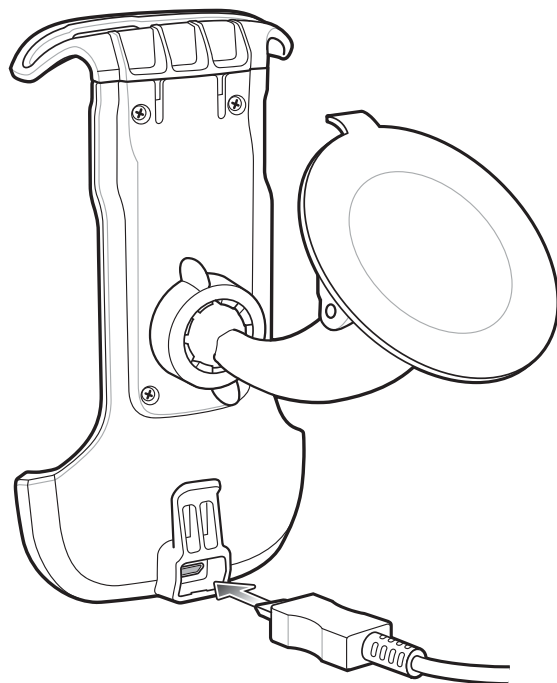
- 6 TC55 を見やすい位置に置きます。
- 7 クレードルが固定されるまでナットを締めます。

図 143: ナットを締める



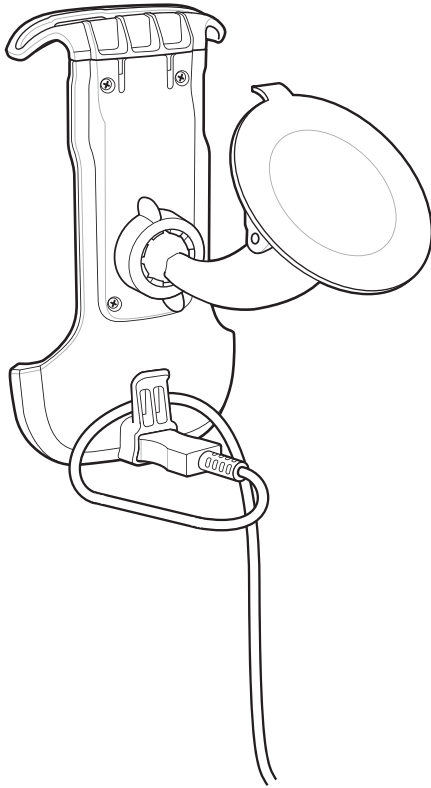
- 8 車両に乗っている間に TC55 を充電するには、車載用充電ケーブル (p/n VCA400-01R) の Micro USB コネクタを車載用充電クレードルの電源入力コネクタに接続します。

図 144: 車載用自動充電ケーブルの車載用充電クレードルへの接続



- 9 ケーブル保持部を使用して、ケーブルを固定します。

図 145: ケーブルの保持



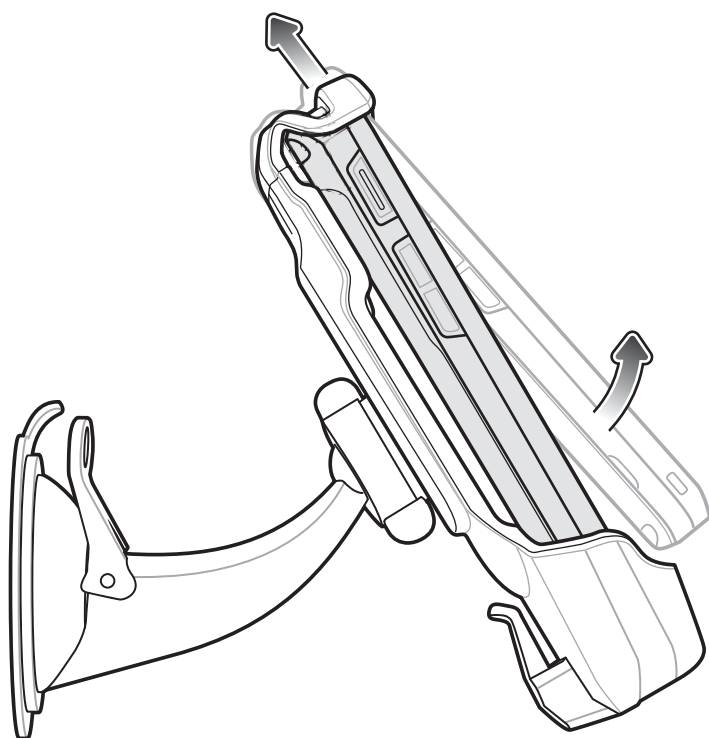
- 10 もう一方の端を車両の電源出力に接続します。LED インジケータが緑色に点滅して、TC55 が充電中であることを示します。

車載用クレードルからのデバイスの取り外し

手順

- 1 TC55 を持ち上げます。

図 146: 車載用クレードルからの TC55 の取り外し

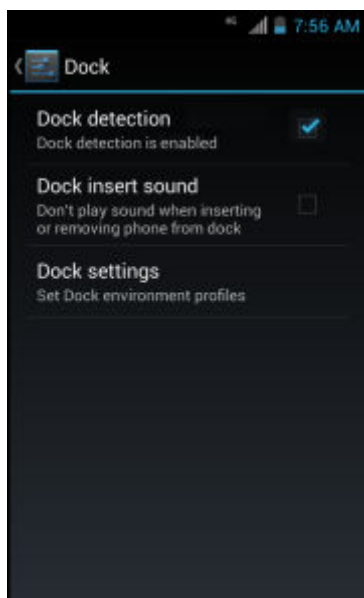


2 TC55 の底面をクレードルから取り外します。

ドック設定

ドック設定を使用して、TC55 を車載用クレードルに挿入したときに、特定のデバイス設定を行います。

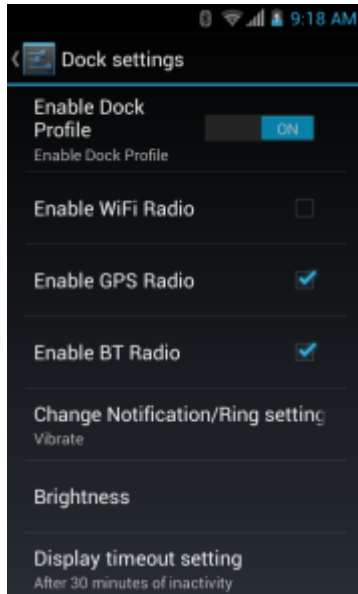
図 147: [Dock] (ドック) 画面



- **[Dock detection] (ドックの検出)** - オンにすると、TC55 を車載用クレードルに搭載したときに TC55 の検出が有効になります。デフォルトで有効になっています。

- **[Dock insert sound] (ドックの挿入音)** - オンにすると、TC55 を車載用クレードルに搭載したとき、または取り外したときに音が鳴ります。
- **[Dock settings] (ドック設定)** - TC55 をクレードルに搭載したときにタッチして、TC55 の設定を変更します。

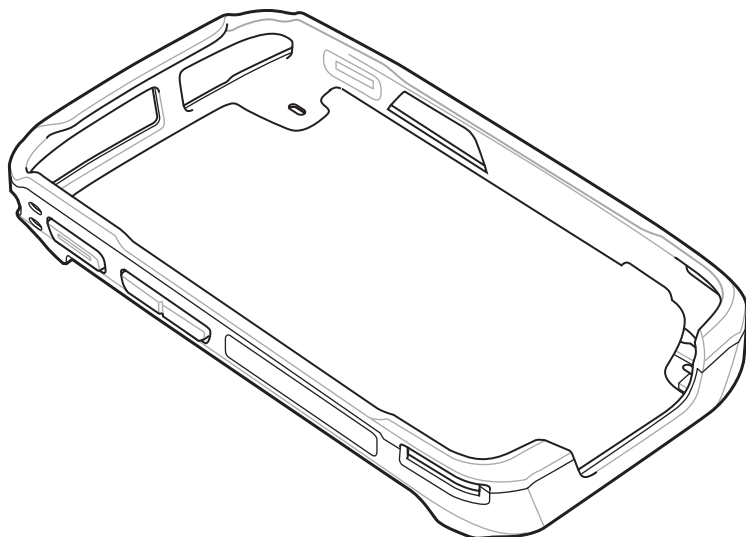
図 148: [Dock settings] (ドック設定) 画面



- **[Enable Dock Profile] (ドック プロファイルを有効にする)** - TC55 が車載用クレードルに搭載されているときに、スイッチをスライドして、ドック設定を有効または無効にします。
- **[Enable Wi-Fi Radio] (WiFi 無線通信を有効にする)** - TC55 が車載用クレードルに搭載されているときに、WiFi 無線通信を有効または無効にします。
- **[Enable GPS Radio] (GPS 無線通信を有効にする)** - TC55 が車載用クレードルに搭載されているときに、GPS 無線通信を有効または無効にします。
- **[Enable BT Radio] (BT 無線通信を有効にする)** - TC55 が車載用クレードルに搭載されているときに、Bluetooth 無線通信を有効または無効にします。
- **[Change Notification/Ring setting] (通知/着信音設定を変更する)** - TC55 が車載用クレードルに搭載されているときに行われる通知を選択します。オプション: **[Play Sound] (サウンドの再生)** または **[Vibrate] (マナーモード)**。
- **[Brightness] (輝度)** - TC55 が車載用クレードルに搭載されているときに、画面の輝度を設定します。
- **[Display timeout setting] (表示タイムアウト設定)** - TC55 が車載用クレードルに搭載されているときに、画面がオフになるまでの時間を設定します。
- **[Touchscreen mode] (タッチスクリーンモード)** - TC55 が車載用クレードルに搭載されているときに、タッチスクリーンモードを選択します。オプション: **[Finger/Gloved] (指/グローブ)** または **[Finger/Stylus] (指/スタイラス)**。
- **[Launch an installed application] (インストールされているアプリケーションの起動)** - TC55 が車載用クレードルに挿入されたときに起動するアプリケーションを選択します。

保護ブーツの取り付け

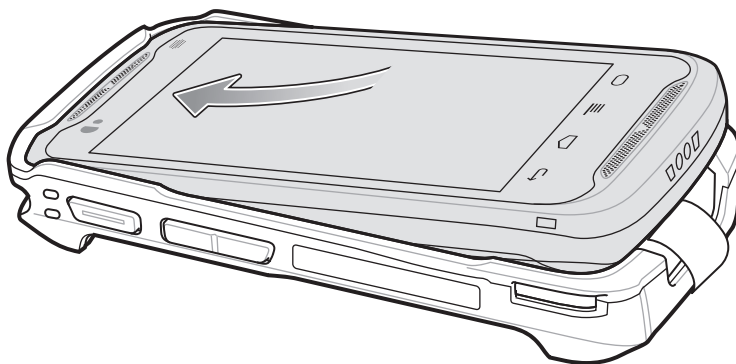
図 149: 保護ブーツ



手順

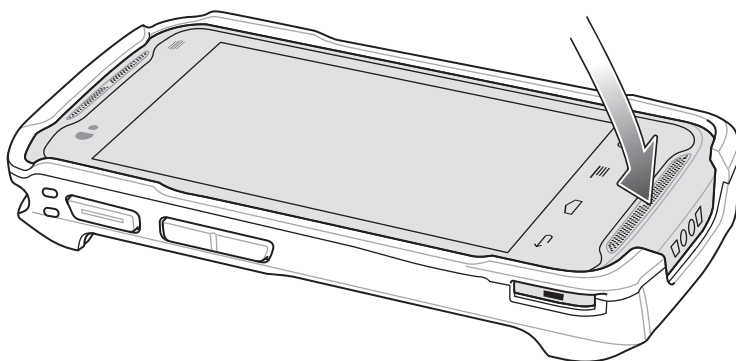
- 1 TC55 の上部を保護ブーツに挿入します。

図 150: TC55 の上部をブーツに挿入



- 2 TC55 の下部を押し下げて保護ブーツに入れます。

図 151: TC55 の下部を保護ブーツに挿入



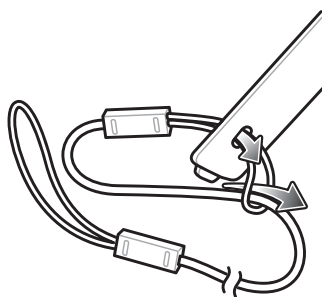
- 3 保護ブーツが TC55 に正しく取り付けられていることを確認します。

保護ブーツへのスタイラスの取り付け

手順

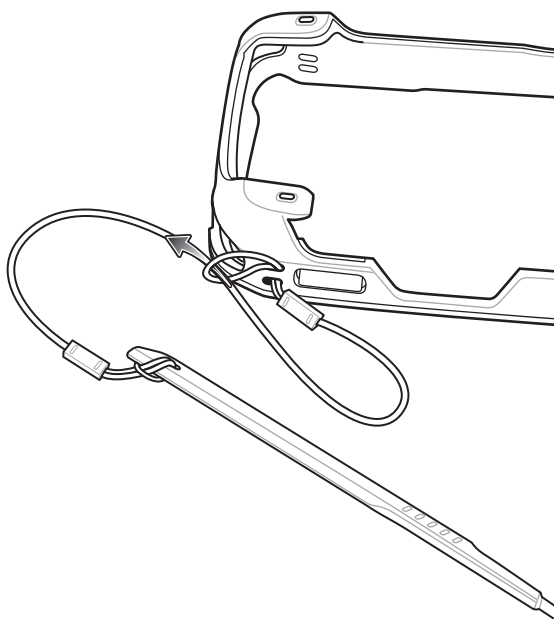
- 1 ストラップの片方の端をスタイラスの穴に通します。

図 152: スタイラスにストラップを通す



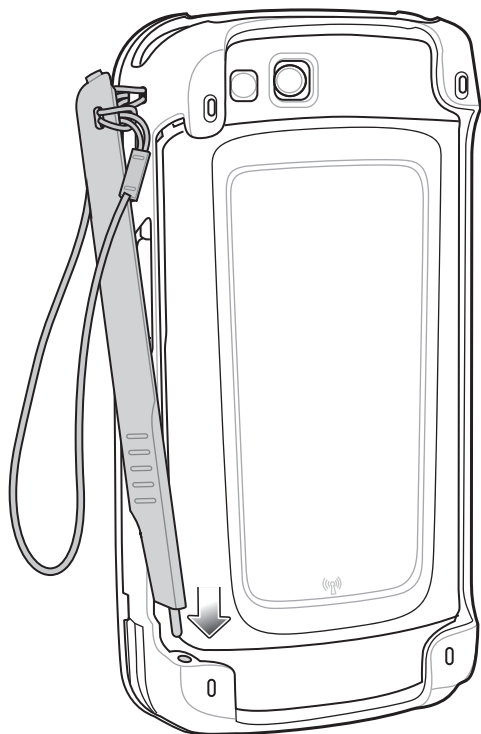
- 2 ストラップのもう一方の端を最初のループに通します。
- 3 ストラップをピンと張ります。
- 4 ループに通していない方のストラップの端を保護ブーツのストラップ用の穴に通します。

図 153: スタイラスをストラップのループに通す



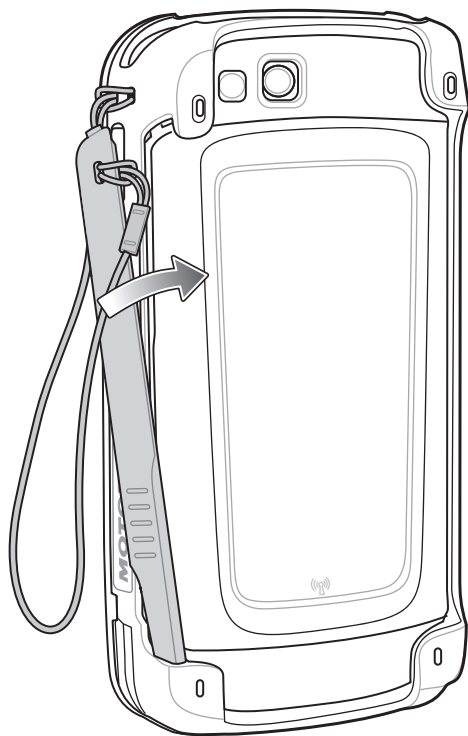
- 5 スタイラスをストラップのループに通します。
- 6 ストラップをピンと張ります。
- 7 スタイラスの先をブーツの取り付け穴に差し込みます。

図 154: スタイラスの先をブーツの取り付け穴に差し込む



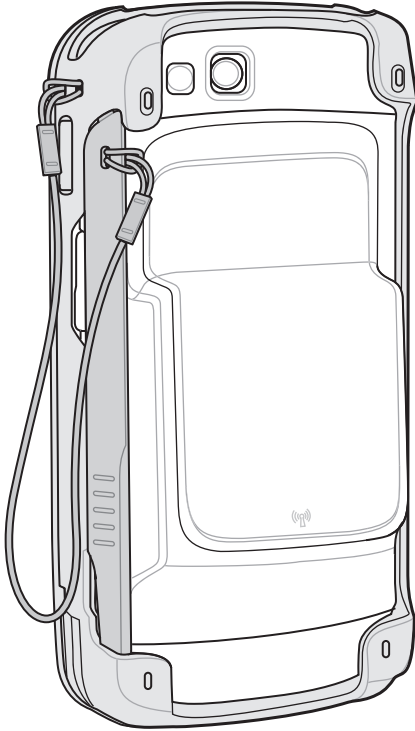
8 スタイラスを回転させてブーツの中に入れます。

図 155: スタイラスを所定の場所に固定



9 スタイラスの上部をブーツにカチッとはめます。

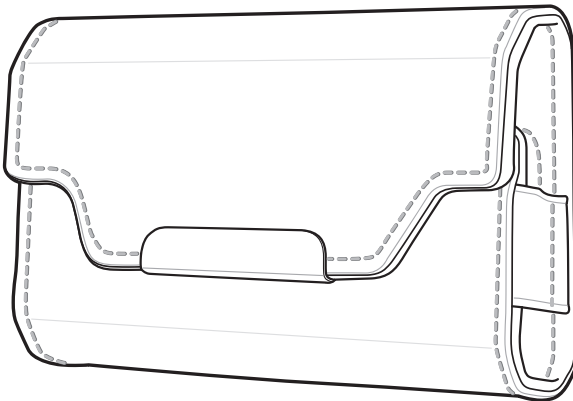
図 156: 保護ブーツに収納されたスタイラス



ホルスター

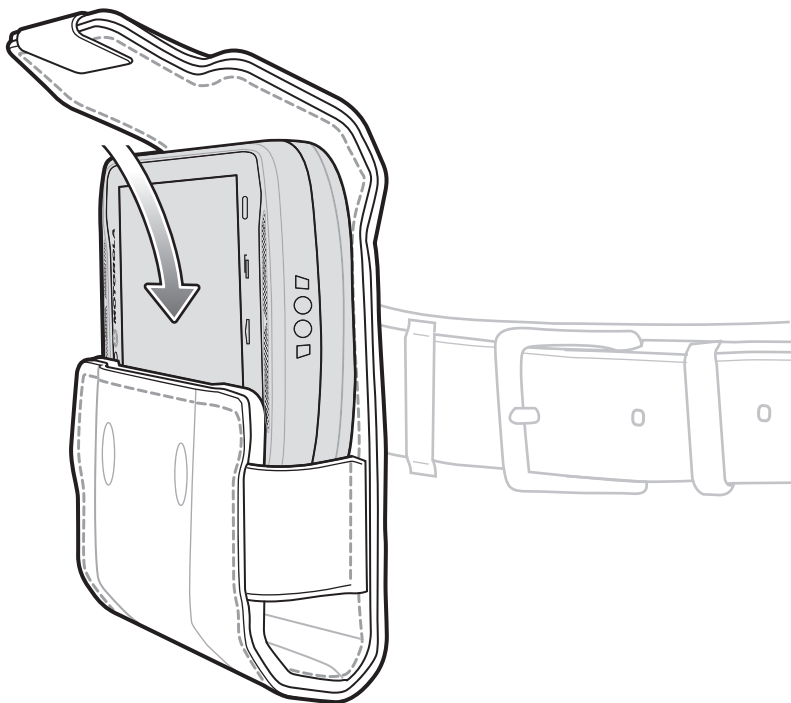
作業中に TC55 を安全に携帯するためにホルスターを使用します。

図 157: ホルスター



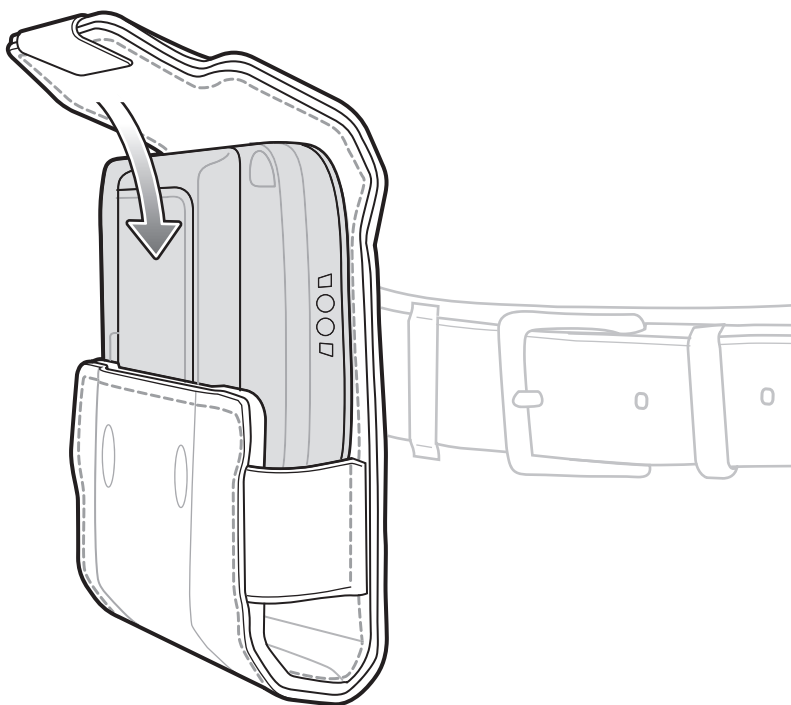
TC55 と 2,490mAh バッテリーを、画面を内側または外側に向けてホルスターに収納します。

図 158: TC55 と 2,490mAh バッテリーをホルスターに収納



TC55 と 4,410mAh バッテリーを、画面を内側に向けてホルスターに収納します。

図 159: TC55 と 4,410mAh バッテリーをホルスターに収納

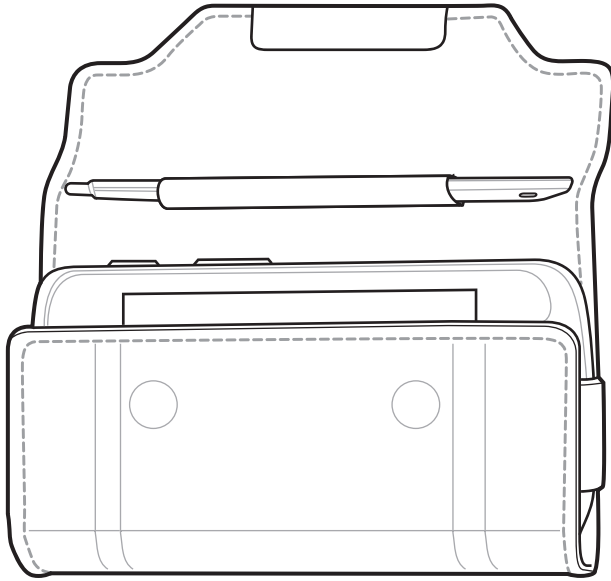


ホルスターには、オプションのスタイラスを入れるスリーブがあります。



注: TC55 と保護ブーツがホルスターに入っているときはスタイラスをホルスターに入れないでください。

図 160: ホルスターに入っているスタイラス



第 8 章

メンテナンスとトラブルシューティング

この章では、デバイスのクリーニングと保管方法、および操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

TC55 の保守

トラブルを避けるため、TC55 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- TC55 の画面を引っかかないでください。TC55 を操作するときは、指、手袋、または承認されたスタイラス、あるいは静電容量方式タッチスクリーンでの使用を目的としたペンを使用してください。TC55 の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。
- TC55 のタッチスクリーンはガラス製です。TC55 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- TC55 を極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、TC55 の保管や利用を避けてください。
- TC55 をクリーニングする場合は、レンズ用の柔らかい布を使用してください。TC55 のディスプレイが汚れた場合は、柔らかい布を薄めたイソプロピルアルコールで湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、このガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- モバイル デバイスのバッテリーを充電する場合、バッテリーと充電器の温度を 0°C ~ +45°C (32°F ~ 113°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、グローバル カスタマ サポート センターにお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として利用する機器は、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみに接続することができます。

- IEEE1725 の 10.2.1 の要件に従った承認済みバッテリーを認証するため、すべてのバッテリーに、ホログラムを添付しています。認証ホログラムを確認せずにバッテリーを取り付けしないでください。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリーターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に適切に従って廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーが破損した恐れがある場合は、グローバルカスタマサポートセンターに検査を依頼してください。

クリーニング方法



注意:

必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Zebra に詳細をお問い合わせください。



警告: 高温の油やその他の可燃性の液体に製品に触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。

使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピルアルコール、中性食器洗剤の組み合わせ、またはそのいずれかでのみ構成されている必要があります。

有害成分

化学薬品の中には、デバイスの樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイスに接触しないような配慮が必要なものがあります。このような化学薬品として、アンモニア溶液、アミンまたはアンモニアの化合物、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアルコール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、および TB-リゾフォルムがあります。

クリーニング方法

デバイスに液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェットティッシュを使用してください。布やウェットティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずにゆっくりと表面を拭きます。ディスプレイの周辺などに液体がたまらないように注意してください。デバイスは、自然乾燥させてから使用してください。

クリーニングの際の注意事項

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、デバイスの筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用してデバイスを扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してからデバイスを扱ってください。デバイスを扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、上記の有害成分を含有する製品を使用していた場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてからデバイスを扱うようにしてください。

必要なクリーニング材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。クリーニングは必要に応じて行えますが、パフォーマンスを最適に保つために、埃の多い環境で使用了場合は、カメラ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

TC55 のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で、ボタンを含む筐体を拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

カメラとスキャナ ウィンドウ

レンズ用ティッシュ ペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にカメラとスキャナ ウィンドウを拭いてください。

コネクタのクリーニング

コネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

手順

- 1 モバイル コンピュータからメイン バッテリを取り外します。
- 2 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
- 3 綿棒のコットン部で、コネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
- 4 これを 3 回以上繰り返します。
- 5 アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
- 6 乾いた綿棒で、ステップ 4～6 を繰り返します。



注意: ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

- 7 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
- 8 コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

手順

- 1 クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
- 2 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
- 3 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
- 4 コネクタの前面も、綿棒で拭く必要があります。



注意: ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

- 5 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
- 6 綿棒のコットンの屑をすべて取り除きます。
- 7 クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
- 8 アルコールが蒸発するまで 10 ～ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

トラブルシューティング

次の表は、発生する可能性がある典型的な問題と問題を解決するための対処方法を示します。

TC55 のトラブルシューティング

表 11: TC55 のトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
電源ボタンを押しても、TC55 がオンにならない。	バッテリーが完全に放電されている。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
	バッテリーが適切に取り付けられていない。	バッテリーを適切に取り付けます。「バッテリーの取り付け」を参照してください。
	電源ボタンを押す時間が十分ではない。	LED が点灯するまで電源ボタンを押したままにします。
	TC55 が応答しない。	ハードリセットを行います。「TC55 のリセット」を参照してください。

次ページに続く ...

問題	原因	対処方法
ユーザーが電源ボタンを押したときに、TC55 がオンにならないが、バッテリー充電アイコンが画面に表示される。	バッテリーの充電レベルが非常に低い。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
TC55 を高耐久性充電ケーブルに接続した後、バッテリー充電アイコンが画面に表示される。	バッテリーが放電状態であるが、現在充電中である。	電源ボタンを押したままにして、TC55 の電源をオンにします。
充電中は、LED が赤色でゆっくり点滅している。	TC55 の電力が非常に不足している状態。	TC55 を数分間充電します。LED は緑色の点滅状態に変化し、その後、電源ボタンを押すと、TC55 がオンになります。LED が引き続き赤色で点滅している場合は、電源との接続を確認します。接続部を取り外し、再接続します。
バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでも TC55 が動作しない場合は、ハードウェア リセットを行います。
	バッテリーの充電中に、TC55 が電源から取り外された。	TC55 をクレードルに挿入するか、充電ケーブルに接続します。2,940mAh バッテリーの充電には約 3 時間かかり、4,410mAh バッテリーの充電には約 4.5 時間かかります。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
ホスト コンピュータとのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、TC55 を USB ケーブルから取り外したか、ホスト コンピュータから切断した。	通信ケーブルを再度取り付けて、再送信します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
Wi-Fi でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	Wi-Fi 無線がオンになっていない。	Wi-Fi 無線をオンにします。
	アクセス ポイントの範囲から外れている。	アクセス ポイントの近くに移動してください。
Bluetooth でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	Bluetooth 無線がオンになっていない。	Bluetooth 無線をオンにします。
	別の Bluetooth デバイスの範囲から外れている。	他のデバイスの 10m (32.8 フィート) 以内に移動します。

次ページに続く ...

問題	原因	対処方法
WAN でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	セルラ サービスの状態が悪い場所にいる。	サービスの状態が良い場所に移動します。
	APN が正しく設定されていない。	APN 設定情報については、システム管理者にお問い合わせください。
	SIM カードが正しく装着されていない。	SIM カードを取り外して、取り付け直します。 SIM カードの取り付け (ページ 22) を参照してください。
	データ プランがアクティブではない。	サービス プロバイダにお問い合わせ頂き、データ プランを有効にします。
音が鳴らない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調整します。
TC55 がオフになっている。	TC55 が非アクティブになっている。	ディスプレイは一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。この時間を、15 秒、30 秒、1 分、2 分、5 分、10 分、または 30 分に設定します。
	バッテリーが完全に放電している。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	気温が -10°C ~ +60°C (+14°F ~ +140°F) の範囲にある場所に、デバイスを移動します。
ストレージのメモリが不十分であることを示すメッセージが表示される。	TC55 にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが TC55 にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。  または  >  [Apps] (アプリケーション) > [Downloaded] (ダウンロード済み) を選択します。使用していないプログラムを選択して、[Uninstall] (アンインストール) をタッチします。
バーコードの読み取り時に、TC55 が読み取れない。	DataWedge が有効になっていない。	DataWedge を有効にして、適切に設定します。詳細については、『 <i>TC55 Integrator Guide</i> 』(英語) を参照してください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	TC55 とバーコードとの距離が適切ではない。	TC55 を正しいスキャン範囲に置きます。
	TC55 が特定のバーコードタイプを読み取れるようにプログラムされていない。	スキャンするバーコードに対応するように、TC55 を設定します。DataWedge の設定については、『 <i>TC55 Integrator Guide</i> 』(英語) を参照してください。

次ページに続く ...

問題	原因	対処方法
	TC55 がビーブ音を鳴らすように設定されていない。	正しく読み取ったときに TC55 がビーブ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにビーブ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
TC55 が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10m (30 フィート) 以内にデバイスを近づけます。
	近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	検出するには、近くの Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

第9章

技術仕様

以降のセクションでは、デバイスの技術仕様について説明します。

TC55 技術仕様

次の表に、TC55 の設計動作環境とハードウェアの技術仕様を示します。

表 12: TC55 技術仕様

項目	説明
物理特性	
寸法	高さ: 137mm (5.4 インチ)
	幅: 69mm (2.7 インチ)
	奥行き (2,940mAh バッテリ使用の場合): 15.9mm (0.63 インチ)
	奥行き (4,410mAh バッテリ使用の場合): 22.5mm (0.89 インチ)
重量	TC55 (リニア イメージャ、2,940mAh バッテリ搭載): 225g (7.9 オンス)
	TC55 (リニア イメージャ、4,410mAh バッテリ搭載): 255g (9.0 オンス)
	TC55 (2D イメージャ、2,940mAh バッテリ搭載): 230g (8.1 オンス)
	TC55 (2D イメージャ、4,410mAh バッテリ搭載): 260g (9.2 オンス)
ディスプレイ	4.3 インチカラー WVGA; 800 x 480、700 NIT
タッチ パネル	ゴリラ ガラス® 2
バックライト	LED バックライト
バッテリー パック	充電式リチウム イオン 3.7V、2,940mAh または 4,410mAh スマート バッテリ
拡張スロット	ユーザーがアクセス可能な microSD スロット (最大 32GB)
接続性	USB 2.0 (ホスト/クライアント)
通知	LED、オーディオ、およびバイブレーション
キーパッド オプション	画面キーボードと 4 個のキャパシティブ フロント パネル キー。

[次ページに続く ...](#)

項目	説明
オーディオ	スピーカ、デュアルノイズキャンセラマイクとヘッドセットコネクタ (3.5mm ジャック、マイク付き)、3 台のスピーカ、うち 2 台はフロントスピーカ、デュアルノイズキャンセラマイク、高品質スピーカフォン、3.5mm ヘッドセットジャックと Bluetooth ワイヤレスヘッドセットサポート。
性能特性	
CPU	1.5GHz デュアルコアプロセッサ
オペレーティングシステム	プロフェッショナル構成 - Android ベースの Android オープンソースプロジェクト (AOSP) 4.1.2 または 4.4.3 標準構成 - Android ベースの Android オープンソースプロジェクト (AOSP) 4.1.2、Google モバイルサービスが使用可能
メモリ	1GB RAM、8GB フラッシュ
出力 (USB)	300mA
ユーザー環境	
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C
充電温度	0° C ~ 40° C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 85% (結露なきこと)
耐落下衝撃性能	1.2m (4 フィート) の高さから複数回落下 (MIL-STD 810G 仕様に準拠) 保護ブーツ付きの場合: 動作温度範囲下で 1.2m (4 フィート) の高さからコンクリート面へ複数回落下しても動作可能。
耐転倒衝撃仕様	150 回の 0.5m (1.5 フィート) 転倒 (300 回の落下)。 保護ブーツ付きの場合: 300 回の 0.5m (1.5 フィート) 転倒 (600 回の落下)、該当する IEC 転倒仕様に準拠。
シーリング	IP67 (該当する IEC シーリング加工仕様に適合)
ワイヤレス WAN データおよび音声通信	
無線 WAN (WWAN) 通信	4G LTE、HSPA+、DC-HSPA、EDGE/GPRS/GSM
周波数帯	TC55AH: GSM/EDGE: 850/900/1800/1900MHz WCDMA: FDD2、FDD4、FDD5、FDD17 LTE Americas: LTE Band 2、LTE Band 5、LTE Band 17 TC55BH: GSM/EDGE: 850/900/1800/1900MHz WCDMA: FDD1、FDD2、FDD5、FDD8 TC55CH: CDMA/EVDO: 850/1900MHz (BC0/BC1)

次ページに続く ...

項目	説明
	LTE: Band 13
GPS	統合型、自律型、アシスト GPS (A-GPS)、GLONASS
無線 LAN データ通信	
無線 LAN (WLAN) 通信	IEEE® 802.11a/b/g/n (内蔵アンテナ) (ASOP 4.1.2) IEEE® 802.11a/b/g/n/d/h/i/k/d/r (内蔵アンテナ) (ASOP 4.4.3)
サポートされるデータ速度	802.11b: 1、2、5.5、11Mbps 802.11a/g: 6、9、12、18、24、36、48、54Mbps 802.11n: 6.5、13、19.5、26、39、52、58.5、65Mbps 802.11n データ レートでは速すぎる可能性あり
動作チャンネル	チャンネル 36 ~ 165 (5180 ~ 5825MHz)、チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz)。実際の動作チャンネル/周波数は、各地の規制および承認機関により異なります。
[Security]	セキュリティ モード: 従来式、WPA、および WPA2 暗号化: WEP (40 および 128 ビット)、TKIP、および AES 認証方式: TLS、TTLS (MS-CHAP)、TTLS (MS-CHAP v2)、TTLS (PAP)、PEAP (MS-CHAP v2)、PEAP (GTC)
通信方式	直接スペクトラム拡散方式 (DSSS) および直交周波数分割多重方式 (OFDM)
無線 PAN データ/音声通信	
Bluetooth	Class II、v 4.0、内蔵アンテナ (ASOP 4.1.2) Class II、v 4.0 Low Energy、内蔵アンテナ (ASOP 4.4.3)
データ収集	
リニア イメージャ (SE-655)	1D バーコードの読み取り。
2D イメージャ (SE-4710)	1D および 2D バーコードを収集します。
カメラ	バーコード スキャンおよびイメージ読み取り用: 8 MP オートフォーカス カメラ。1D および 2D のバーコード、写真、ビデオ、署名、および文書のキャプチャ。
CS3070 Bluetooth スキャナ (オプション)	1D バーコードの読み取り。
RS507 ハンズフリー イメージャ (オプション)	1D および 2D バーコードを収集します。
センサー	
モーション センサー	スクリーンの向きの動的変更および電源管理を可能にする、3 軸式加速度計を利用した運動センサー機能を装備。
周辺光センサー	電力効率を最大化するために、必要とされるディスプレイ バックライトの自動調整。

次ページに続く ...

項目	説明
近接センサー	音声通話中にユーザーがハンドセットを手に置いたことを自動的に検出し、ディスプレイ出力とタッチ入力を無効化。
電子コンパス	独立 - GPS に依存しない。
イメージャ (SE655) 仕様	
スキャン繰り返しレート	公称 50 スキャン/秒
スキャン角度	53.3° ± 3°
回転	±25°
ピッチ	±65°
スキュー	±50°
周辺光	蛍光灯: 450 フィートカンデラ (4845 ルクス) 高効率蛍光灯: 450 フィートカンデラ (4845 ルクス) 白熱灯: 450 フィートカンデラ (4845 ルクス) 水銀灯: 450 フィートカンデラ (4845 ルクス) ナトリウム灯: 450 フィートカンデラ (4845 ルクス) 直射日光: 900 フィートカンデラ (9690 ルクス)
読み取り可能コード	
1D	Chinese 2 of 5、Codabar、Code 11、Code 128、Code 39、Code 93、Coupon Code、Discrete 2 of 5、EAN-8、EAN-13、GS1 DataBar、GS1 DataBar 14、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked、GS1 DataBar Limited、Interleaved 2 of 5、ISBT 128、Korean 2 of 5、Matrix 2 of 5、MSI、TLC39、Trioptic 39、UCC/EAN 128、UPCA、UPCE、UPCE1、UPC/EAN Supplementals、Webcode
2D (カメラまたは 2D イメージャ)	Australian Postal、Aztec、Canadian Postal、Composite AB、Composite C、Data Matrix、Dutch Postal、Japanese Postal、Linked Aztec、Maxi Code、Micro PDF-417、microQR、PDF-417、QR Code、US Planet、UK Postal、US Postnet、USPS 4-state (US4CB)